



会報

社団法人
兵庫県電業協会



30周年特別号

2013.1.No.32

目次

1 あいさつ	
(1) 会長挨拶	1
(2) 兵庫県知事挨拶	2
(3) 神戸市長挨拶	3
(4) 兵庫県まちづくり部長挨拶	4
(5) 山口顧問(兵庫県議会議員)挨拶	5
(6) 高田顧問(元神戸市会議員)挨拶	6
(7) 一般社団法人日本電設工業協会会長挨拶	7
2 協会設立30周年記念特集	
(1) 特別寄稿「協会設立30周年に寄せて」	10
(2) 30周年記念事業	12
● 記念講演会	12
● 記念祝典	13
(3) 協会30年の足跡	16
● 30年の歩み	16
● 歴代役員一覧	26
● 歴代常設委員会歴代正副委員長	30
● 写真でふり返る30年	31
3 施設紹介	
(1) 兵庫県立美術館王子分館西館	34
(2) デザイン・クリエイティブセンター神戸	39
4 技術報告(「スマートHEMS」を本格展開:パナソニック(株))	43
5 会議	
(1) 通常総会	46
(2) 理事会・委員会	49
6 事業報告1(総務委員会関係)	
(1) 県との行政懇談会	52
(2) 地区懇談会	61
(3) 行政機関への協会活動PR	63
(4) 永年勤続優良従業員表彰	64
7 事業報告2(技術・安全委員会関係)	
(1) 技術講習会	65
(2) 施設見学会	66
(3) 1級電気工事施工管理技術検定受験対策講習会	67
(4) 安全衛生推進大会	69
(5) こども110番の車パトロール事業、事業所防犯責任者設置事業 ..	72
(6) 暴力団追放対策講習会	73
8 事業報告3(経営委員会関係)	
(1) インターンシップの受け入れ	74
(2) 高校生ものづくりコンテスト審査員の派遣	78
(3) 経営講演会	79
(4) 県管理道路河川等公共施設愛護活動	80
(5) コウノトリ翔る但馬まるごと感動市への参加	81
(6) JECA FAIR2012 第60回電設工業展	82
9 3委員会の25年度の主な取り組み	83
10 部会・同好会活動	
(1) 青年部会のページ(青年部会員名簿)	84
(2) 新生のじぎく会だより	88
11 一般社団法人日本電設工業協会の動き	89
12 兵庫県の入札・契約制度	90
13 協会の動き	
(1) 受賞おめでとうございます	92
(2) 会務日誌	93
(3) 協会役員名簿	97
(4) 会員(正会員・賛助会員)名簿	98
14 編集後記	110

表紙写真「中突堤」(兵庫県神戸市)

中突堤(なかつてい)は、神戸港を代表する波止場の一つです。突堤の付け根には鉄塔の美女と称される神戸ポーターがあり人気のスポットです。

新年ご挨拶

社団法人 兵庫県電業協会

会 長 平 井 伸 幸



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかな初春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

会員の皆様、兵庫県を始め関係官庁、自治体の皆様には格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

東北地方の震災、大津波、原子力発電所の未曾有の重大事故から早や2年を迎えようとしています。関係者の大変なご努力にも拘わらず復興は遅々として進まず、いまだに生活再建の目途がつかないなど、政府をはじめ国民すべてが、今一層の支援をしていかねばなりません。

原子力発電所に関しては、その存続自体が問題とのことで、新たな電力の供給、とりわけ自然エネルギーの利用が脚光を浴びていますが、天候の変化など安定した供給にまだまだ問題があるようで、化石燃料に依存する体質が当分続きそうです。

さて、当協会は昨年設立30周年を迎え、また、本年4月には一般社団法人として再出発することを予定しています。先輩諸氏のご努力で育てていただいた協会を次の世代に確実に引き継ぐ時期になってきました。

公共工事を始め建設工事自体の規模の大幅な縮小と新規入職者の減少は会員各社にとってその存続を左右する大問題となっております。入札契約制度におけるインセンティブとしての社会貢献活動の新たなメニューの開発をはじめ、協会として会員の受注機会の拡大に寄与していきたいと思えます。また、入札参加条件についても協会員にとってより参加し易くなるような働きをしてまいりたいと考えております。

工業系高校生をはじめ業界に新しい力を呼び込むためのインターンシップの充実や全国規模の電設工業展見学会の拡充など持てる力を活用し、業界の認知度と魅力の発信を積極的に行っていきたいと考えております。皆様の更なるご支援とご協力をお願いする次第です。

本年の会報誌は設立30周年特別号として協会の歩みを始め、その越し方を思い起こす紙面を取り入れました。新しい年が会員の皆様にとって次の大きな飛躍の年になりますよう、心からお祈りいたしまして新年のご挨拶といたします。

～兵庫から 未来を拓く～

兵庫県知事

井戸敏三



初春のお喜びを申し上げます。

世界の主要国で次代のリーダーが決まり、新しい国際秩序の構築が求められています。私たち日本も新たな枠組が決まりました。成熟社会にふさわしい社会システムへの転換に向けた歩みを進めなくてはなりません。

人口減少や高齢化を悲観するのではなく、変化に対応しつつ、これまで築いてきた知恵や資源を活かして豊かな地域社会をつくる好機とすべきです。世界に開かれた歴史や文化を有し、多様な人材を輩出して日本をリードしてきた兵庫が、今こそ持てる力を十分に発揮し、未来を拓く先頭に立って歩んでいこうではありませんか。

1つには、安全安心の基盤をつくる。南海トラフ巨大地震や頻発する風水害への備えに万全を期すとともに、医療、福祉など暮らしを支える基盤を確保します。

2つには、質の高い生活をつくる。次代を担う人づくりを進めるほか、高齢者や女性の活躍を応援し、誰もが生きがいや豊かさを実感できる社会をめざします。

3つには、新時代の経済社会をつくる。最先端の科学技術基盤を活かした新産業創出、農水産物のひょうごブランド戦略の推進など、世界と競える産業をつくります。

4つには、地域の元気をつくる。交通基盤を充実しつつ、地域再生大作戦やツーリズム振興など、内外との交流の促進を通して地域の活性化を図ります。

こうした取組を自らの判断と責任で進めるため、地方分権改革を関西広域連合と一体となって推進するとともに、第2次行革プランの総点検を行い兵庫の自立をめざします。

さあ、21世紀兵庫長期ビジョンのもと、県民みんなの知恵と力、ふるさと兵庫への思いを結集し「創造と共生の舞台・兵庫」をつくりあげていきましょう。

新時代 拓く基は 県民の 知恵と資源を 生かす志

2013年 市長新年あいさつ

神戸市長

矢田 立郎



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平素より神戸市政に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、社団法人兵庫県電業協会におかれましては、昨年、設立30周年を迎えられましたこと、あらためましてお祝い申し上げます。

さらに省エネルギー機器や太陽光発電システムなど多様化する設備や新しい技術を導入することにより、業界全体で地球温暖化防止への取り組みを推進していただいておりますことに敬意を表するとともに、さらなるご発展、ご活躍を祈念しております。

さて、新しい年を迎えても急速な少子・超高齢化の進行、社会・経済のグローバル化、エネルギー構造改革の要請など市民生活を取り巻く状況は急激な変化が続くと予想されます。

神戸市では、地方自らの責任と判断で、必要な市民サービスを適切に提供していくため、一昨年に策定した「第5次神戸市基本計画」、並びに「神戸2015ビジョン」に基づき、新たな豊かさを創造する「協創」のまちの実現に向け「くらし・経済の向上」と「新たな価値・魅力の創出」に引き続き取り組んでまいります。

昨年に本格稼動したスーパーコンピュータ「京」が広く活用されることにより、新薬の開発、地震や津波の災害予測の精度向上など市民生活の向上に貢献されることを期待しております。また、ノーベル賞受賞で話題になりました山中伸弥教授の「iPS細胞」による「再生医療」など神戸市が推進しております「神戸医療産業都市」のライフサイエンス分野でもさらなる研究の加速が期待されるところです。

今年もこれらの取り組みがさらに確かなものになるよう次世代の神戸を担う人材育成に力を入れるとともに、将来の街の活力アップにつながる公共施設の計画的リニューアルにも着手したいと考えております。

厳しい社会情勢ではありますが、これらの取り組みを着実に推進するために、ご協力をお願いするとともに、貴協会のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成25年 新年ご挨拶

兵庫県まちづくり部長

松 本 啓 朗

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、兵庫県政、とりわけまちづくり行政の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

未曾有の大災害を引き起こした東日本大震災から1年10ヶ月が経とうとしていますが、兵庫県は地震発生直後から被災地の「復興まちづくり」の推進に向け積極的な支援を行ってきました。今後も、まちづくり専門家派遣をはじめとする人的支援やノウハウの提供等を行うことによって、一日も早い現地の復旧・復興に貢献してまいります。

本県においても、今世紀前半にも発生が懸念される南海トラフ巨大地震への対策を万全に講じていく必要があります。このため、「わが家の耐震改修促進事業」など民間住宅の耐震化を一層推進するとともに、避難、救助、物資輸送の大動脈となる緊急輸送路の確保のための沿道建築物耐震化など、建築物の安全・安心対策を引き続き推進してまいります。

こうした東日本大震災を踏まえた防災対策への関心の高まりや人口減少・少子高齢化の本格到来など、まちづくりを取り巻く社会状況は刻々と変化しています。昨年度改定された「21世紀兵庫長期ビジョン」における新たな将来像を踏まえ、県民の皆様へ今後のまちづくりの基本的な考え方や施策の方向性を示す「まちづくり基本方針」を改定し、今後のまちづくり行政の指針としてまいります。

地域における景観形成については、周辺の景観を損ねるほど老朽化した施設が手つかずのまま放置されるなど新たな課題が生じており、また、市町域をまたがる広域景観の形成も求められています。このため、「景観の形成等に関する条例」を改正し、良好な景観形成に向けて積極的に取り組んでまいります。

また、昨年度改定された「兵庫県住生活基本計画」に基づき、県民がそれぞれのライフスタイルやライフステージに応じた豊かな生活を享受できるよう、良好な住宅ストックの形成と既存ストックの有効な活用による総合的な住宅施策を展開し、快適な住まいづくりを推進してまいります。

全国的な傾向と同調するように、県内においても空き家が増加していますが、これは地域のコミュニティの希薄化や活力低下をもたらします。さらに空き家が長期間放置されると、雑草やゴミ等の衛生上・景観上の問題、そして火災や倒壊等の安全上の問題も生じます。こうした空き家問題の解決に向けた取組も、市町と連携を図りながら鋭意進めてまいります。

今後とも、直面する課題をしっかりと捉え、「元気で安全・安心な兵庫のまちづくり」を目指してまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとって充実した素晴らしい年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

兵庫県議会議員

山 口 信 行

(当 協 会 顧 問)



新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご家族お揃いでお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

社団法人兵庫県電業協会は昨年6月1日に30周年を迎えられました。これを記念して5月に举行された設立30周年記念祝典の席上では、多くの関係者にお会いでき、またスライド映像で綴られた協会史の紹介を受けるにつけ、改めて電気設備の専門家集団が社会に果たす役割の大きさに感慨を深くした次第です。

この4月には、一般社団法人への移行が予定されていますが、これを機に協会そして会員各位がより一層発展されていくことを心から祈念申し上げる次第であります。

さて、昨年来、日本は依然としてデフレから脱却できず、貿易収支の赤字構造の定着傾向や景気後退局面が憂慮され、さらに尖閣諸島を巡る中国との軋轢など経済・社会的に大きな困難を抱えてきました。そんな中で年末に衆議院議員選挙が举行され、新しい国政執行体制ができました。新執行体制の下、いわばこの閉塞感が力強く打ち破られていくことを大いに期待したいと思います。

私自身、自由民主党兵庫県連合会幹事長、県議会健康福祉常任委員会委員そして関西広域連合議員として大きな視点から、また住民の身近な角度からも兵庫県経済の活性化、県民生活・福祉の向上、地方分権の推進に奮闘してきました。年頭に当たり、政治の世界に身を置くものとして、より一層努力し、平成25年が輝かしく、まさしく日本の再生への動きが予感してもらえるようその使命を果たしていきたいと念じている次第であります。

そして協会顧問として、会員各位と手を携え、電設業界のますますの発展に尽力いたしたいと考えております。夢と希望と自信を持って、進もうではありませんか。

改めて兵庫県電業協会の今後に大いに期待を申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年ごあいさつ

元神戸市会議員

高 田

巖

(当協会顧問)



新年おめでとうございます。

ご家族のみなさん、従業員のみなさんともども、ご健勝にて素晴らしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、私ごとにも格段のご厚情を賜りまして、ありがとうございました。お陰さまで、つつがなく越年いたしました。

協会にとりましても、去年は創立30周年の節目の年を迎え、喜びに併せ、いよいよ社会的にも大きな期待と役割を寄せられる組織となりました。さらなるご活躍、ご発展を期待いたします。

さて、企業をとりまく環境は、全世界同時の厳しい状況が続いております。アメリカのリーマンショックに始まり、昨今のヨーロッパにおける金融不安、中国など新興国の成長鈍化、国内でも円高や、エネルギー問題などによる景気後退は止まるところが見えない状況にあります。景気後退は将来への不安も重なり、在庫投資も、設備投資も、消費経済も萎縮し、冷えきっております。

こんなときには、公共投資を期待します。景気と、雇用のため、防災など安全、安心のまちづくりに、必要とする事業の前倒し施工をお願いし、仕事量の確保、拡大にご尽力をお願いしたいと存じます。

勿論公共団体の財政も、大変厳しいことは十分承知はしておりますが、お知恵を出して頂き、県民、市民の生活を守るため、格段のお力添えをお願いいたしたく存じます。

各企業のみなさんも、大変厳しい環境下にあります。企業のご発展と、従業員みなさんの生活を守るため、尚一層のご努力をお願いいたします。

そのためにも、協会に対する期待は大であり、役割は大変重いものと存じます。スクラムを組んで、尚一層のご活躍を期待いたします。

協会、各企業、ご家族、従業員のみなさんの万福をお祈りし新年のごあいさつとします。

新年のご挨拶

一般社団法人 日本電設工業協会

会 長 山 口

学



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

兵庫県電業協会の会員の皆様には、日ごろから当協会の事業活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、昨年6月の創立30周年、本年4月に予定される一般社団法人への移行、併せて、お祝い申し上げます。

経済・産業活動や国民生活を支えるライフラインを担う電設業界は、協会活動を通じて、自然災害に対する安全対策の一層の強化を図りつつ、電力の供給事情の変化や節電ニーズに的確に対応し、現場で役立つ電設技術を提供するとともに、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用積極的に取り組み、中長期的課題である低炭素社会の実現にも貢献していくとともに、次の課題の克服に向けた活動を展開して参ります。

第一に、優秀な人材の継続的な確保と技術・技能の的確な継承を行っていくため、若者が夢と生きがいを持って活躍できるよう、能力維持・向上のための継続能力開発（CPD）に積極的に取り組むとともに、社会保険の加入促進や登録電気工事基幹技能者の処遇改善を始めとする就労環境の改善に努め、電設業界の魅力を高めて参ります。また、電設協が提供する講習会メニューを活用し各都道府県協会が開催される講習会等の支援を通じて、団体会員である各協会の取り組みをバックアップして参ります。

第二に、厳しい経営環境の中で適正な利益を確保しつつ品質の高い電気設備を供給するため、適正な価格・適正な工期での受注を確保し、健全で公正な競争市場の構築を進めることが必要です。特に需要設備の使用前検査の規制緩和に伴い、無理な工程による品質管理・安全面への影響が問題となっており、当協会を取り纏めた「自家用工作物の設置及び受電時期設定の手引」を活用し、関係機関と連携し、適正な受電時期の確保に向けた取組を強化して参ります。

第三に、顧客との直接対話を通じて電気設備工事の品質確保、技術革新への対応やライフサイクルコストの低減に的確に対応でき、また、品質とコストとの関係が透明かつ明確な「分離発注方式」の採用を強く訴えて参ります。

一方、国におかれましては、国民生活の安全と安心を支える社会資本整備の着実な推進を図るとともに、電力の安定供給の確保に向け、原発の再稼働問題、電力システム改革を始めとするエネルギー政策の基本的方向について、腰を据えた議論を展開し方向性を定めて頂くことを切に願います。

このように、電設業界は多くの課題を抱えておりますが、貴協会と当協会が手を携えて困難に立ち向かい、会員の方々に役立つ協会活動を展開して参りたいと考えております。

結びに、兵庫県電業協会の更なる発展と会員皆様方のご健勝をお祈り申し上げますとともに、4月から新たな歩み始められる貴協会の飛躍を祈念しまして、新年のご挨拶といたします。

協会設立30周年記念特集

社団法人 兵庫県電業協会設立30周年に寄せて

相談役 藤 井 宏 明



「試練を乗り越えて」

初夏を想わせる好天に恵まれた昨年5月16日の生田神社会館。30周年記念祝典会場で懐かしい会員のお顔を拝見し、上映された30年をふり返るスライドショーを鑑賞するにつけ、30年の越し方が脳裏をよぎりました。

協会発足のテーマは、業界の融和を図り、電設業界の「協調と団結」を育てていくことにありましたが、発足早々、公益法人としての事業のあり方を見極め、どうプランニングしていくかという試練に直面しました。

そしてまず公共の福祉に貢献できる事業を立ち上げようと、一般電気利用者への啓蒙活動に取り組むこととしました。電化製品の上手な利用方法の啓蒙のため、県下各地区婦人会の皆様180名を招待し、大阪の家電メーカーのショールーム、工場等の視察研修会を実施したのが初事業となりました。

その後、会員のご努力、行政のご理解のもと、公共施設の自主点検、広報誌の発行、会員向け講習会・研修会を充実するとともに、分離発注や新分野の開拓・陳情、或いは県主催のイベントへの参加など協会事業を展開させ、テーマである電設業界の協調と団結が育まれてきておりました。

そんな最中、平成7年1月17日阪神・淡路大震災が襲いました。但馬からの電話が通じない、焦りは募る、やっと昼前に判明したことは、協会事務所半壊で使用不能、協会員店社多数被災とショッキングなものでした。復興に向け、会員からは多額の義援金をいただき被災会員へお見舞いができ、また多くの会員が公共施設の被害調査、復旧対策に協力できたことを思い起こし、改めて協会の底力を感じた次第です。

この年、初めて安全推進大会を開催し、以後、全国電設工業展への高校生招待、青年部の設立、高校生インターンシップの受入等協会活動の社会貢献性が一層の高まりを見せてきましたが、そこに次の試練が襲ってきました。

いわば協会の支柱的な存在であり、手を携えて協会活動の発展を担ってきた大手会員のほとんどが一斉に退会していくという思いもしない事態が起りました。この試練への挑戦は、西村相談役の寄稿に譲ることとします。

当協会も4月1日には、「一般社団法人」に移行し新たな歴史を刻もうとしています。

30年の伝統の重みを持つ協会として、ますますの発展を大いに期待いたしますとともに会員各位、関係各位の一層のご発展を祈念申し上げます。

社団法人 兵庫県電業協会設立30周年に寄せて

相談役 西 村 善 明



「青天の霹靂」

社団法人兵庫県電業協会の設立が、一朝にしてなったものではありません。その布石は、ちょうど1年前の昭和56年6月19日に打たれました。この日、業界の発展と社会に貢献する電設業者団体を設立しようと大手業者の呼びかけに県内電設業者も呼応し、191社の会員の参加のもと、任意団体兵庫県電業協会が設立されました。そして翌年、昭和57年6月1日の法人設立許可時には、会員数は203社を数え、順調な船出に至った次第です。

時を同じくして全国でも各府県電業協会が設立され、昭和59年6月には電気工事事業者の全国団体である新生の社団法人日本電設工業協会に、団体会員として入会しました。これにより当協会は全国的な組織の一員としても意欲的に活動を始め、県内においては全県下を網羅する唯一の電設業者団体として、県当局の御指導もあり、世間に認められる協会として各方面に積極的にPRしました。その名に恥じないよう会員同志お互いに切磋琢磨して、公益事業に積極的に取り組んで来たところ です。

しかるに平成18年大手会員の集団退会問題が起り、協会は存亡の危機に立たされました。この危機をどう乗り切るか、当時の藤井会長の強力なリーダーシップのもと、県内業者141社でなんとか協会を存続させるべく緊急理事会を招集し、財政基盤の安定策を講じました。それは理事会の構成員は会費を倍増、委員会委員は1.5倍に会費を値上げするという厳しい措置でありましたが、漸くこの危機を切り抜け、その後全会員の会費見直しを進めると同時に、会員数の増強にも力を入れてきたところです。会員であることに一層のメリットが出るよう、県当局の御協力も有り、社会貢献活動を積極的に協会活動に取り入れました。会員数は、現在は143社と会員のご支持をいただいておりますが、一層の組織安定に向け目標会員数を170社と決め、平井現会長にバトンを引継ぎました。

当協会もこの4月1日には、「一般社団法人」に生まれ変わろうとしています。

今後の協会の発展と会員企業、関係各位の益々のご繁栄を祈念してペンを置きます。

30周年記念事業

協会設立30周年を記念し、第59回通常総会に引き続き記念講演会が開催され、その後18時00分から20時30分まで記念祝典が開催されました。

記念講演会

日 時 : 平成24年 5 月16日 (水) 16時30分～17時30分
場 所 : 生田神社会館 「菊の間」
講 師 : 園田学園女子大学名誉教授 田辺真人 氏
演 題 : 「平清盛と神戸」

神戸にゆかりの深い「平清盛」がNHKで放送されていることに因み、地域の歴史に造詣の深い園田学園女子大学名誉教授の「田辺真人」先生をお招きし、「平清盛と神戸」をテーマに講演をいただきました。

講演では、平清盛が保元の乱などを通じて権威を獲得していく過程や平氏の福原の荘の所在と大輪田の泊づくり、反平氏の動きと福原遷都への歴史の流れ、湊川と大輪田の泊、兵庫津との関係など地域史の中の課題にも触れながら分かりやすく、神戸の土地柄に根ざしたお話をいただき、108人にも上った出席者は興味深く、熱心に聴き入りました。



田辺講師



会場風景

記念祝典

と き 平成24年5月16日（水）18時00分～20時30分
ところ 生田神社会館 「富士」の間

祝典次第

開	会	表	彰
オープニングセレモニー		乾	杯
会長あいさつ		歓	談
来賓祝辞		アトラクション	
来賓紹介		閉	会

「富士」の間に於いて、57人に上るご来賓の臨席をいただき、会員を合わせ総勢179人にも及ぶ出席者のもと盛大に記念祝典が開催されました。

祝典は和太鼓・獅子舞のオープニングに始まり、平井会長挨拶、吉本兵庫県副知事及び協会顧問の山口兵庫県議会議員の祝辞に続き来賓の一人ひとりが紹介され、神戸市長はじめ多数の皆様からいただいた祝電披露の後、協会設立30周年の活動に対する兵庫県知事からの表彰状が吉本副知事から平井会長に授与されました。

そして元神戸市議会議員の高田顧問の乾杯により、歓談に入りました。歓談中には、学生達のジャズグループ「スイングジャズクルーズ in 神戸」による演奏、そして協会の30年の歴史をまとめたスライドショーの上映が行われ、大変和やかな中に祝典が進行し小山副会長の謝辞により閉演しました。



平井新会長挨拶



吉本副知事祝辞

平井会長挨拶

本日、協会設立30周年を迎えるにあたり、吉本兵庫県副知事をはじめ多数の来賓の皆様方に祝典に花を添えていただき誠にありがとうございます。設立・運営に多大の努力があった役員・OBにも出席いただきました。協会を代表して厚く御礼を申し上げます。

私は先ほどの総会で、図らずも第8代の会長に選ばれました。力不足ではありますが協会の発展に少しでも貢献できればと思っていますので皆様方のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

さて、昭和57年6月1日兵庫県から設立許可を受け、203社の会員により発足した当協会は、来月で満30周年を迎えます。昭和57年といえば、ホテルニュージャパン火災、日航機の羽田沖での墜落事故等が起り、一方では東北新幹線の一部開通、500円硬貨の発行など明るい話題がありましたがもう30年経ち、改めて時の流れの早さを感じている次第であります。

阪神・淡路大震災を乗り越えて協会運営が水平飛行に入っていた中の平成18年、設立当初からの会員であった全国業者47社が一斉に退会され、協会が解散の危機を迎えました。実に25%の会員と1250万円の会費が失われました。事務所の移転、経費の削減、会費値上げ等出来ることから対策を実行し、それから6年更なる経費削減、会員増強に取組み、あと一步で健全経営ができるようになりました。今一度役員・会員各位の絶大なるご協力に厚く感謝をいたすところであります。現在は147社の正会員、15社の賛助会員で運営していますが、是非とも更なる会員の加入をお願い申し上げる次第であります。このような事情から今日は手づくりの祝典ではありますが、ゆっくりとご歓談いただければ大変幸いであります。

来年4月には、一般社団法人としてリスタートを予定しています。より公益性を持った活動を実施するとともに会員にとって無くてはならない協会として発展していけるよう、さらに努力を重ねて参る所存でありますので、一層のご支援、ご協力を賜りますことをお願い申し上げ、開会の挨拶といたします。



和太鼓・獅子舞



ジャズ演奏

吉本副知事祝辞(要旨)

社団法人兵庫県電業協会設立30周年記念祝典が、盛大に開催されましたことに心からお祝い申し上げます。

平井様の会長ご就任をお祝い申し上げるとともに、勇退された西村前会長をはじめ電業協会の発展にご尽力された皆様方に厚く感謝を申し上げる次第であります。知事が公務のため急遽上京となりましたので、代わりまして私からご挨拶を申し上げます。

さて電業協会の皆様方には、県が地域振興事業を行うに当たっての様々な支援、協力や高校生のインターンシップをはじめ子供の防犯パトロール、災害時の応援協定など社会貢献の分野でも多大の尽力をいただいています。これまでのご努力に改めて感謝を申し上げるところであります。

東日本大震災から一年少しが経過し、阪神・淡路大震災を経験した県として様々な支援を行っています。当電業協会からは、昨年総会懇親会を中止してまでして多額の義援金を頂戴いただきましたが、県民から府県の中では断トツの20数億円の拠出をいただきました。そしてコミュニティを壊さない復興が進められるよう復興地域に集会所を建設していただこうとお贈りしました。復興なった時には地域を支える目に見える支援として義援金が活用されていることになるとと思っています。

一方、当地としても中央防災会議での津波災害への指摘も踏まえ、電気が止まると大変なことになる水門門扉や病院などへの対策、浸水箇所の高上げ工事、避難所の耐震補強など様々な対策に取り組んでいます。また節電努力を支援しようと、家庭の太陽光パネル設置に対する助成金や相談センターの開設、中小企業向けクリーンエネルギー設備設置に係るより低利な融資制度などの施策を行っています。

県民にとって「快適な生活」、「安全・安心の生活」は、電気が無ければ実現できません。電業協会会員各位が高い技術力を発揮し、県民生活を支えていただきますよう期待いたしております。

最後になりましたが兵庫県電業協会の益々の発展と皆様方のご健勝、企業の繁栄を祈念し、30周年のお祝いの言葉といたします。



表彰状授与



表彰状

(ご臨席いただいた関係機関・団体等)

次の関係機関・団体から関係の多数の幹部職員の方々のご臨席をいただきました。

- ・兵庫県 ・兵庫県住宅供給公社 ・神戸市 ・淡路市 ・兵庫労働局
- ・UR都市機構西日本支社 ・(一社)大阪電業協会 ・(社)滋賀県電業協会
- ・(社)奈良電業協会 ・(一社)和歌山電業協会 ・(一社)兵庫県空調衛生工業協会
- ・兵庫県電気工事工業組合 ・(社)兵庫県建設業協会 ・西日本建設業保証(株)
- ・業界報道機関 ・記念講演会講師 ・協会前顧問 ・協会元役員 ・協会相談役

協会30年の足跡

30年の歩み

年度	協会の活動	内外の動き
57年度	57. 4. 27 設立総会開催（会員総数203名） 57. 6. 1 設立許可（兵庫県指令文第17号） 57. 6. 15 発会式式典開催 57. 8 兵庫県との行政懇談会（以後、毎年開催） 57. 9 技術見学講習会 57. 10 一般電気利用者への啓蒙活動 57. 11 シンボルマーク懸賞募集 58. 1 機関紙「会報新春号」発刊	57. 4. 1 500円硬貨発行 57. 10 ソニーが世界初のＣＤプレーヤー発売 57. 10 ＮＥＣがパーソナルコンピューターＰＣ－9801を発売 57. 12 電々公社、東京・有楽町にテレホンカード使用の公衆電話を初開設 58. 1 インターネット誕生 58. 3 中国自動車道が全線開通
58年度	58. 4. 27 第1回通常総会開催 シンボルマーク優秀作品賞授与 58. 5 公共施設電気設備の自主点検事業開始 58. 11 「83ひょうご増改築フェア」に住宅の電気器具等を出展 59. 1 「会報」発刊 59. 3. 23 第2回通常総会開催	58. 4 東京ディズニーランド開園 58. 11 ＮＨＫ朝の連続テレビ小説「おしん」が歴代最高視聴率62.9%を記録 59. 1 日経平均株価が初めて10,000円の大台を突破、終値10,053円81銭 59. 1 米アップルコンピューターがマッキントッシュを発表
59年度	59. 5. 23 第3回通常総会開催 59. 6 （社）日本電設工業協会に加入 59. 7 「くにうみの祭典」に協力 59. 11 光伝送技術研修会開催 60. 1 「会報」発刊 60. 2 積算システム電算機利用研究会開催 60. 3. 22 第4回通常総会開催	59. 6 日本の平均寿命が男女とも世界一に 59. 10 オーストラリアからコアラ6頭が贈られて日本に初めて上陸 59. 11. 1 新紙幣発行「1万円札福澤諭吉」「5千円札新渡戸稲造」「千円札夏目漱石」 60. 3 ゴルバチョフがソ連共産党書記長に就任、ペレストロイカを推進 60. 3 国際科学技術博覧会「つくば'85」開催
60年度	60. 4 「電気及び機械工事共通仕様書並びに同標準図」説明会開催 60. 5. 29 第5回通常総会開催（西淡町）併せてくにうみの祭典見学会開催 61. 1 「会報」発刊 61. 1. 22 第6回通常総会及び新年賀詞交換会開催 61. 2 「現場施工・施工計画」技術講習会	60. 4 淡路くにうみの祭典開催 60. 8 日本航空123便御巣鷹山に墜落、520名の死者、乗客4人が奇跡的に生存 60. 8 ユニバーシアード神戸大会開催 60. 9 ＮＴＴがハンディタイプ携帯電話機「ショルダーフォン」を発売 60. 9 ファミコン「スーパーマリオブラザーズ」発売される 60. 9. 22 Ｇ５がプラザ合意、翌日ドルは暴落、円は1ドル200円台から100円台に高騰、バブルの引金に 60. 10 阪神タイガース日本一 61. 1 スペースシャトルのチャレンジャー号爆発事故、乗組員全員死亡

年度	協会の活動		内外の動き	
61年度	61. 5	「21世紀の建設産業ビジョン」講演会開催	61. 4	チェルノブイリ原子力発電所事故発生
	61. 5. 14	第7回通常総会開催	61. 9	急激な円高によるプラザ合意不況
	61. 11	経営戦略トップセミナー開催	61. 11	レーガン大統領とゴルバチョフ書記長、米ソが首脳会議
	61. 12	公共事業の前払い制度知事要望	61. 11	貝原県政スタート
	62. 1	「会報」発刊	61. 12	山陰線余部鉄橋列車転落事故
	62. 1. 21	第8回通常総会及び新年賀詞交歓会開催	62. 1. 30	日経平均株価が終値で初めて2万円突破
	62. 3	兵庫県建設業暴力追放協議会が設立され団体会員として加入		
62年度	62. 5. 26	第9回通常総会・講演会及び5周年記念祝典開催	62. 4. 1	国鉄分割・民営化、J Rグループ7社が発足
	62. 10	「尼崎市職員建築設備講座（電気設備コース）」開催	62. 7	俳優・石原裕次郎が死去
	62. 11	技術講習会「建築における電気設備の省エネ手法について」開催	62. 10. 19	ニューヨーク株式市場が大暴落（ブラックマンデー）世界同時株安
	63. 1	「会報」発刊	63. 3	青函トンネル開通
	63. 1. 20	第10回通常総会及び新年賀詞交歓会開催	63. 3	東京ドームが完成
63年度	63. 5. 17	第11回通常総会開催	63. 4	瀬戸大橋開通
	63. 9	技術講習会「電気設備業専門C A Dシステム研修会」開催	63. 4	北神急行電鉄開通
	63. 11	「電気工事士法、電気工事業法の改正について」説明会開催	63. 4	舞鶴道県内全線開通
	64. 1	「会報第8号」発刊	63. 4	ひょうご'88北摂・丹波の祭典（ホロンピア）開催
	1. 1. 20	第12回通常総会及び新年名刺交換会開催	63. 12. 7	日経平均株価が終値ではじめて3万円台を突破
	1. 1	災害対策緊急連絡網発行	64. 1. 7	昭和天皇崩御、昭和から平成へ
	1. 1	第一種電気工事士資格講習会主管開催		
平成元年	1. 5	電気設備業案内誌を大学等24校（電気科）に配布	1. 4. 1	消費税（3%）スタート
	1. 5. 23	第13回通常総会開催	1. 4	“経営の神様”と呼ばれた松下幸之助が死去
	1. 7	公営住宅建設予算の確保を建設省等へ要望	1. 6	北京で天安門事件が起きる
	1. 11	第一種電気工事士資格講習会11回開催	1. 6	歌手・美空ひばりが死去
	1. 11	技術講習会「200V配線の現状と将来的展望」開催	1. 11	ベルリンの壁崩壊
	2. 1	「会報第9号」発刊（9号から冊子形式で発刊）	1. 12. 29	日経平均株価が史上最高値の38,915円を記録
	2. 1. 22	第14回通常総会及び新年名刺交換会開催		
2年	2. 4	技術系高校等28校へのPR活動実施	2. 4. 1	三井銀行と太陽神戸銀行合併、「太陽神戸三井銀行」誕生
	2. 5. 25	第15回通常総会開催		

年度	協会の活動	内外の動き
2 年	2. 6 '90電設工業展見学会を実施 2. 7 分離発注について県設備課長と懇談 2.11 技術講習会「地域冷暖房設備について」開催 3. 1 「会報第10号」発刊 3. 1.21 第16回通常総会及び新年名刺交換会開催	2.10 東西ドイツ統一 2.10 セガ国産初のカラー液晶携帯型ゲーム機発売 2.11 任天堂製造ゲーム機スーパーファミコン発売
3 年	3. 5.28 第17回通常総会開催 3. 7.20 定款変更認可（3月総会開催規定を1月開催に変更） 3.11 技術研修会・キリンビール尼崎工場見学会開催 4. 1 「会報第11号」発刊 4. 1.21 第18回通常総会・新年名刺交換会開催	3. 5 信楽高原鉄道列車衝突事故 3. 6 雲仙普賢岳の噴火 3.12 ゴルバチョフソ連大統領辞任、ソビエト連邦の崩壊 4. 3 東海道新幹線のぞみ運行開始
4 年	4. 5.27 第19回通常総会及び設立10周年記念祝典を開催 4. 9 県設備課設置10周年記念講演会参加 4.10 技術、災害・労務対策講習会開催（石油コンビナート等総合防災訓練見学） 5. 1 災害対策緊急連絡網発行 5. 1 「会報第12号」発刊 5. 1.21 第20回通常総会及び新年名刺交換会開催	4. 4 太陽神戸三井銀行がさくら銀行に 4. 7 東証株価が反落、バブル景気の終焉 4. 8 作家 松本清張が死去 4. 9 毛利衛氏がスペースシャトルで宇宙飛行 100歳を迎えたきんさん、ぎんさんブーム 5. 1 女優 オードリー・ヘップバーンが死去
5 年	5. 5.25 平成5年春の褒章授賞式 理事（前会長）日野光郎 黄綬褒章受賞 5. 5.27 第21回通常総会開催 5.10.14 技術講習会「H f 蛍光灯設備の税制優遇及び新省エネルギー法について」開催 6. 1 「会報第13号」発刊 6. 1.21 第22回通常総会及び新年名刺交換会開催 6. 3 独占禁止法研修会参加	5. 5 Jリーグが開幕 5. 7 北海道南西沖地震、奥尻島壊滅的被害 5. 7 第40回衆議院議員総選挙・自由民主党、日本社会党が敗北。55年体制の終結、非自民非共産の細川護熙内閣成立 5.11 欧州連合（E U）が発足 N T T ドコモ携帯電話「デジタル・ムーバ」のサービス開始 米が大凶作
6 年	6. 5.25 第23回通常総会開催 6. 7 「但馬理想の都の祭典」協賛施設見学会開催 7. 1.17 阪神・淡路大震災発生、協会事務局入居建物は使用不能、理事（東洋電気工事㈱）所有の建物を無料借用、1月31日に仮事務所で業務開始。 仮事務所：神戸市西区森友	6. 4 但馬・理想の都の祭典開催 6. 5 第45回全国植樹祭開催 6. 5 但馬空港開港 6. 6 自社さ連立政権の村山内閣発足 6. 6 松本サリン事件発生 6. 7 猛暑 全国各地で水不足 6. 9 関西国際空港開港 6.12 智頭線開業

年度	協会の活動	内外の動き
6 年	(元の事務所で業務再開：7. 5. 16) ・会員社屋被害 全壊・全焼 23社 半壊・半焼 11社 一部損壊 13社 ・義援金等の状況 会員より 62件 1,980,000円 他府県電業協会等からの見舞金 5件 3,020,109円 計 5,000,109円 ・被災会員への見舞い 3,240,000円 残高は、災害対策引当預金として積み立て ・県から公共施設の緊急・応急対策の依頼、県施設の被害状況を調査・報告 ・7. 1. 20開催予定の第24回通常総会は流会、書面表決により7年度事業計画、収支予算が成立	7. 1 WTO発足 7. 3 地下鉄サリン事件
7 年	7. 5 「会報第14号」発刊 7. 5. 24 第25回通常総会開催 7. 8 初めて安全推進大会を開催、20社を安全衛生優良工事表彰 併せて、臨時総会開催（役員選任の件） 7. 9 技術講習会「建築電気設備の耐震設計・施工の要点」開催 8. 1 「会報第15号」発刊 8. 1 阪神・淡路大震災総合フォーラムに参加 8. 1. 26 第26回通常総会及び新年名刺交換会開催	7. 4 青島幸男東京都知事、横山ノック大阪府知事誕生 7. 5 地方分権推進法施行 7. 5 オウム真理教 麻原教祖逮捕 7. 8 第二次世界大戦終戦50年 Windows95発売 超円高、円が1ドル=79.75円を記録 8. 3 神戸電鉄公園都市線全線開通
8 年	8. 5. 22 第27回通常総会開催 8. 7 安全推進大会開催、18社を表彰 8. 9 技術講習会「共同住宅の新特定基準」開催 8. 11 兵庫県住宅供給公社へ分離発注要望活動 9. 1 「会報第16号」発刊 9. 1. 24 第28回通常総会及び新年名刺交換会開催	8. 7 大腸菌O157が発生 8. 8 「男はつらいよ」俳優 渥美清 死去 8. 9 民主党結成 8. 10 第41回衆議院議員総選挙、小選挙区比例代表並立制に 8. 10 オリックスブルーウェーブ日本一 9. 1 ナホトカ号重油流出事故 9. 3 JR東西線開業
9 年	9. 5. 28 第29回通常総会及び設立15周年記念祝典開催 9. 6 会員企業若手従業員座談会開催 9. 7 安全推進大会開催、26社を表彰 9. 10 光ファイバーケーブル接続技術講習会開催	9. 4. 1 消費税5%にアップ サッカー日本代表がW杯初出場を決める 9. 7 香港がイギリスから中国に返還される 9. 8 播磨科学公園都市まちびらき

年度	協会の活動	内外の動き
9 年	10. 1. 17 阪神・淡路大震災犠牲者追悼式出席 10. 1 「会報第17号」 発刊 10. 1. 28 第30回通常総会及び新年名刺交換会開催	9. 10 大型放射光施設「Spring-8」 供用開始 9. 11. 1 山一証券廃業 10. 1 長野オリンピック
10年	10. 5. 27 第31回通常総会開催 10. 5 電設工業展への工業系高校生招待開始（3 校・174名） 10. 6. 8 (株)日本電設工業協会通常総会・50周年記念行事参加 10. 6. 30 定款一部変更認可 (外部監事制度の導入、監事 2 名→3 名) 10. 7 安全推進大会開催、33社を表彰 10. 10 災害対策緊急連絡網を現行形式に改定 10. 11. 13 青年部会設立総会開催 11. 1 「会報第18号」 発刊 11. 1. 26 第32回通常総会及び新年名刺交換会開催 11. 2 県市町建築設備主務者会議で分離発注を要望	10. 4 明石海峡大橋開通、神戸淡路鳴門自動車道全線開通 10. 9 映画監督 黒澤明 死去 Windows98発売 11. 1 単一通貨ユーロ登場
11年	11. 5. 18 青年部会第 1 回総会開催 11. 5. 26 第33回通常総会・懇親会開催 11. 7 安全推進大会を開催、22社を表彰 11. 9. 1 協会ホームページ開設 11. 10 光ファイバーケーブル接続技術講習会開催（講師会社から修了証授与） 11. 12 技術研修会「阪神淡路大震災による震災被害の実態から学ぶ電気・機械設備」開催 12. 1 「会報第19号」 発刊 12. 1. 26 第34回通常総会及び新年名刺交換会開催	11. 4 多紀郡の 4 町が合併、篠山市が誕生 「平成の大合併」 第 1 号 11. 4 みなと銀行発足 11. 8 国旗国歌法成立 11. 9 東海村原子力施設で臨海事故発生 11. 12 マカオがポルトガルから中国に返還される 「だんご 3 兄弟」が C D 歴代新記録となる約290万枚の大ヒット 12. 3 淡路花博「ジャパンフローラ2000」開催
12年	12. 5. 16 第35回通常総会開催 12. 5. 24 青年部会第 2 回総会開催 12. 6 電設工業展への高校生招待（3 校・212名参加） 12. 7 安全推進大会を開催、25社を表彰 12. 10 3 県の電業協会へ鳥取県西部地震のお見舞い 12. 11 工業系高校生のインターンシップを開始（会員企業10社で20名を 3 日間受入れ） 13. 1 「会報第20号」 発刊 13. 1. 24 第36回通常総会及び新年名刺交換会開催	12. 4 介護保険制度が始まる 12. 5 播但連絡道路全線開通 12. 7 九州・沖縄サミット 13. 1. 1 21世紀が始まる 13. 1 中央省庁再編 13. 3 ユニバーサルスタジオ・ジャパン開園

年度	協会の活動	内外の動き
13年	13. 5. 24 第37回通常総会開催 13. 5. 30 青年部会第 3 回総会開催 13. 7 安全推進大会開催、20社を表彰 13. 8 兵庫県知事表敬訪問 13. 10 インターンシップを実施 (会員企業10社で20名を受入れ) 14. 1 「会報第21号」発刊 14. 1. 23 第38回通常総会及び新年名刺交換会 開催 14. 2 L A N 工事講習会開催 (受講者 135名 修了証交付)	13. 4 さくら銀行と住友銀行合併、三井住 友銀行に 13. 7 神戸市営地下鉄海岸線開通 13. 8 明石花火大会歩道橋事故 13. 8 井戸県政スタート 13. 9 アメリカ同時多発テロ事件発生 13. 10 米英がアフガニスタン攻撃 13. 11 i P o d 発売
14年	14. 4. 25 青年部会第 4 回総会開催 14. 5. 22 第39回通常総会開催 総会にあわせ設立20周年記念事業を 実施 14. 6 電設工業展への高校生招待 (3 校・152名参加) 14. 7 安全衛生推進大会、21社を表彰 14. 7 「ものづくりコンテスト」への審査 員派遣開始 14. 8 ～10 インターンシップを実施 (会員企業13社で30名を受入れ) 14. 9 「20周年記念史」発刊 14. 11 入札・契約制度講習会開催 15. 1 「会報第22号」発刊 15. 1. 21 第40回通常総会開催及び新年名刺交 換会開催	14. 4 県立美術館「芸術の館」、人と防災 未来センター開館 14. 5 沖縄返還30周年 14. 6 ワールドカップ日本／韓国大会 14. 9 初の日朝首脳会議、10月に拉致被害 者 5 人が日本へ帰国 15. 2 スペースシャトル・コロンビア号地 球帰還時に空中分解 15. 3 イラク戦争、サダム・フセイン政権 崩壊
15年	15. 4. 17 青年部会第 5 回総会開催 15. 4 ～ 5 地区懇談会開始 (県下 6 地区96会員 参加) 15. 5. 28 第41回通常総会開催 15. 7 安全衛生推進大会、23社を表彰 15. 9 C A L S ／ E C (電子入札) 講習会 開催 15. 10 ～11 インターンシップを実施 (会員企業 15社で30名を受入れ) 16. 1 「会報第23号」発刊 16. 1. 23 第42回通常総会開催及び新年名刺交 換会開催 16. 2 新エネルギー・セミナー開催	15. 4 六本木ヒルズオープン 15. 4 日経平均株価がバブル崩壊後の最安 値7,603.76円を記録 15. 4 S A R S がアジアを中心に世界的に 流行、新感染症に指定される 15. 9 阪神タイガース18年ぶりにセリーグ 優勝 S M A P のシングル「世界に一つだ けの花」が大ヒット
16年	16. 4. 22 青年部会第 6 回総会開催 16. 5. 19 第43回通常総会開催 16. 5 電設工業展への高校生招待 (3 校・157名) 16. 6 ゴルフ同好会「のじぎく会」誕生	16. 4 県立 3 大学の統合により兵庫県立大 学が誕生 16. 8 アテネオリンピック日本金メダル16 個の快挙 16. 10 マリナーズイチローが年間最多安打

年度	協会の活動	内外の動き
16年	(第1回発足記念コンペ、東条ゴルフクラブ) 16. 7 安全衛生推進大会、33社を表彰 16. 8～10 インターンシップを実施(会員企業15社で30名を受入れ) 16. 9 災害対策等緊急体制及び連絡網の整備 17. 1 「会報第24号」発刊 17. 1. 20 第44回通常総会開催及び新年名刺交換会開催	262の新記録を樹立 16. 10 台風23号により県内で大きな被害 16. 11 新札発行。千円札は野口英世、5千円札は樋口一葉、1万円札は福沢諭吉(デザイン変更) 16. 12 オリックスと近鉄が合併、オリックスバッファローズ誕生 16. 12 スマトラ島沖地震 死者・行方不明者約30万人 17. 2 中部国際空港開港
17年	17. 4 賛助会員制度を導入(4月9社、10月12社入会) 17. 4. 22 青年部会第7回総会 17. 5. 18 第45回通常総会開催 17. 7. 1 県入札・契約制度で社会貢献活動等を反映させる取組始まる (災害応急対策業務について、協会会員全てに加点措置) 17. 7 安全衛生推進大会開催、25社を表彰 17. 8～11 インターンシップを実施(18社で40名を受入れ) 17. 10 暴力団追放対策講習会の開催開始 18. 1 「会報第25号」発刊 18. 1. 19 第46回通常総会開催及び新年名刺交換会開催 18. 2 施設見学会(防災科学技術研究所・兵庫耐震工学研究センター等3施設を見学)	17. 4 J R 福知山線脱線事故発生 死者107人 17. 9 第44回衆議院議員総選挙(いわゆる郵政選挙) 自民党圧勝 17. 10 兵庫県立芸術文化センター開設 17. 11 構造計算書偽造問題が発覚 プロゴルファー宮里藍が20歳6か月で史上最年少賞金女王 日本の人口が戦後初めて減少 18. 2 神戸空港開港 18. 3 第1回ワールド・ベースボール・クラシック、日本が優勝
18年	18. 4. 26 青年部会第8回総会 18. 5. 23 第47回通常総会開催 18. 5 電設工業展への高校生招待(2校・80名) 18. 7 安全衛生推進大会、15社を表彰 18. 8～11 インターンシップを実施(会員企業24社で49名を受入れ) 18. 12. 1 県と「災害時における機能復旧対策業務応援に関する協定」締結 19. 1 「会報第26号」発刊 19. 1. 19 第48回通常総会開催及び新年名刺交換会開催 19. 2 経営講演会の開催開始 (テーマ:「今こそ意識改革を」 「工事成績評定について」)	18. 5. 1 会社法が施行 18. 6 村上ファンド代表村上世彰逮捕(村上ファンド事件) 18. 9 第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」第6回全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」開催 18. 10 日本で携帯電話のナンバーポータビリティが開始 19. 1 丹波市で1億2千万年以上前の恐竜化石発掘
19年	19. 4 1級電気工事施工管理技術検定受験対策講習会協会単独開催を開始(4～5月学科、10月実地)	19. 5 プロゴルファー石川遼、ゴルフメジャー大会で15歳8カ月の世界最年少優勝

年度	協会の活動	内外の動き
19年	19. 4. 24 青年部会第 9 回総会 19. 5. 16 第49回通常総会開催 19. 7 新生のじぎく会スタート 19. 8 ～11 インターンシップを実施（会員企業16社で32名を受入れ） 19. 9 経営講演会（テーマ：「現場代理人のためのコストダウン実践」、「工事検査指摘事項」） 19. 9 技術講習会（テーマ：電気工事費の積算） 19. 10 施設見学会（グローリー機器㈱等を見学） 20. 1 「会報第27号」発刊 20. 1. 22 第50回通常総会開催及び新年名刺交換会開催 20. 3 「こども110番の車」パトロール事業発足	19. 7 46年ぶり自然界でコウノトリの巣立ち 19. 10 日本郵政公社が解散、郵政民営化団塊世代の大量定年退職がはじまる（2007年問題） 20. 1 中国製冷凍餃子中毒事件発生
20年	20. 4. 22 青年部会第10回総会 20. 5. 19 第51回通常総会開催 20. 5 電設工業展への高校生招待（2校・77名） 20. 5 ～ 7 「県管理道路河川等公共施設愛護活動」への取組開始 20. 7. 9 技術講習会（テーマ：第1回「電気設備工事施工図の書き方」、第2回「高圧受変電設備の計画・設計・施工」） 20. 7 安全衛生推進大会、16社を表彰 20. 7 ～10 インターンシップを実施（会員企業23社で45名受入れ） 20. 10 施設見学会（ダイキン工業堺製作所を見学） 20. 11 エコアクション21認証・登録説明会開催 20. 11 但馬まるごと感動市ボランティア活動への参加開始 21. 1 「会報第28号」発刊 21. 1. 21 第52回通常総会開催及び新年名刺交換会開催 総会で20年度創設された永年勤続優良従業員表彰初めて実施 9 名を表彰	20. 4 「全国菓子大博覧会・兵庫」開催 20. 5 中国で四川大地震 20. 6 秋葉原通り魔殺人事件 20. 7 ソフトバンクモバイルが i Phone 3 G 発売 20. 9 リーマンショック 20. 10 株価大暴落日経平均株価が26年ぶりに7000円を割る 21. 1 バラク・オバマ黒人初の米国大統領に就任 21. 3 第2回ワールド・ベースボール・クラシック、日本が2大会連続優勝
21年	21. 4. 22 青年部会第11回総会 21. 6. 12 第53回通常総会開催 21. 7 ～10 インターンシップを実施（会員企業22社で44名受入れ） 21. 7 安全衛生推進大会、15社を表彰	21. 5 裁判員制度がスタート 21. 6 歌手のマイケル・ジャクソンが死去 21. 8 第45回衆議院議員総選挙で民主党が大勝 21. 11 俳優の森繁久彌が死去

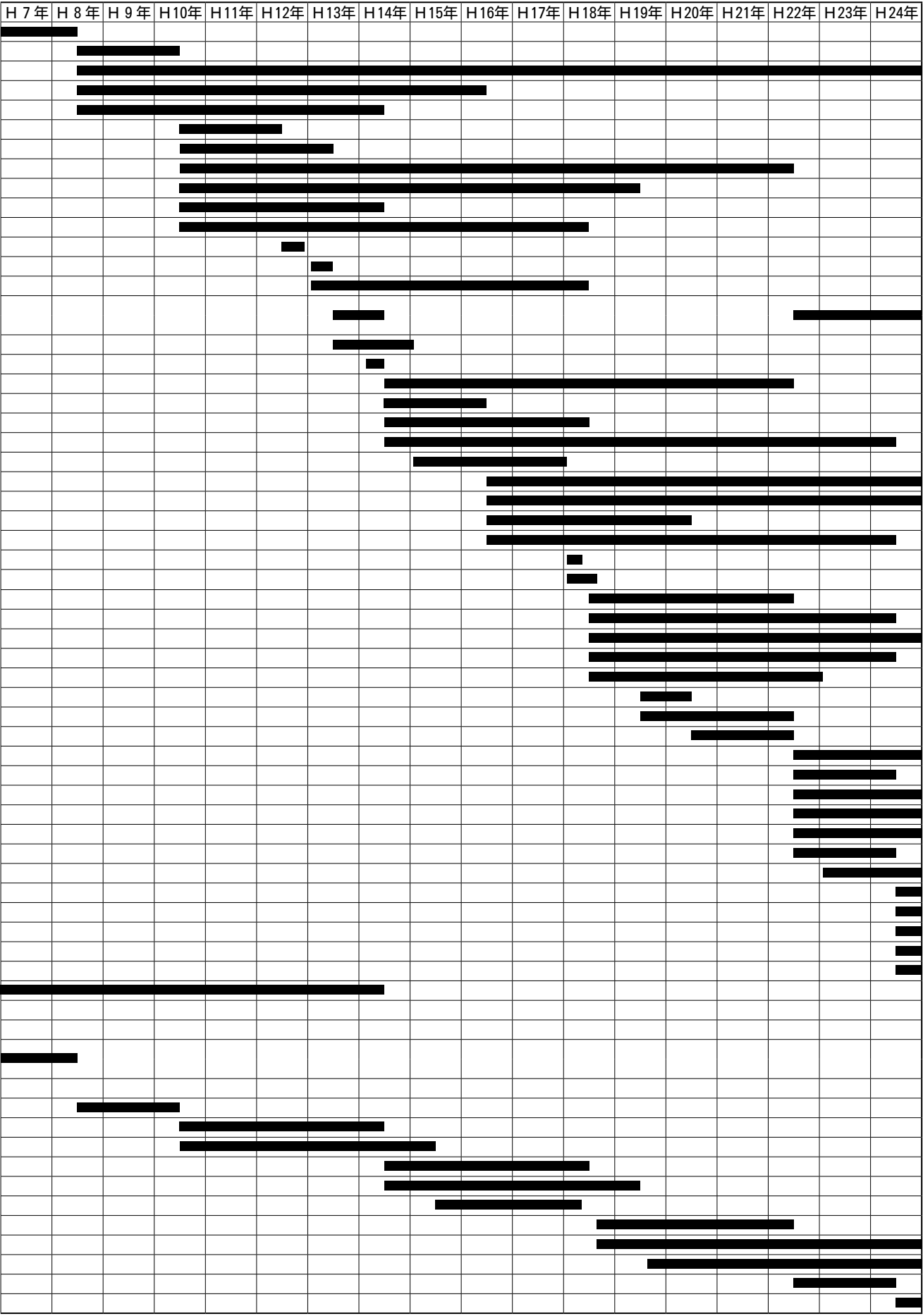
年度	協会の活動		内外の動き	
21年	21. 7	技術講習会（テーマ：第1回「現場管理業務の要点」、第2回「電気設備工事・施工計画」）	21. 12	石川遼がゴルフツアー史上最年少の賞金王に 世界各国で新型インフルエンザが大流行
	21. 9	経営講演会（テーマ：「激変する経営環境と中小企業の経営対策」、「公共工事の工事検査」）	22. 1	ハイチ大地震
	21. 9	エコアクション21関係企業グリーン化プログラム全体説明会		
	21. 10. 26	近畿6電業協会（兵庫・滋賀・京都・奈良・和歌山・福井）が「災害時等における相互応援協定」締結		
	21. 10	施設見学会（音羽電機工業雷テクノロジーセンター等を見学）		
	22. 1	「会報第29号」発刊		
	22. 1. 19	第54回通常総会開催及び新年名刺交換会開催 永年勤続優良従業員9名を表彰		
22年	22. 4. 20	青年部会第12回総会	22. 6	はやぶさが小惑星イトカワから地球へ帰還
	22. 5. 25	第55回通常総会開催	22. 8	日本実質GDPドルベースで中国に抜かれ世界第3位へ
	22. 5	エコアクション21関係企業グリーン化プログラム全体説明会	22. 9	尖閣諸島中国漁船衝突事件発生
	22. 5	電設工業展への高校生招待（3校・84名）	22. 12	関西広域連合発足
	22. 7	安全衛生推進大会、18社を表彰	22. 12	チュニジア大規模反政府運動、ベンアリ政権崩壊（ジャスミン革命）
	22. 7	技術講習会（テーマ：第1回「積算業務の基礎と実務」、第2回「施工図の見方・書き方」）	23. 2	大相撲八百長問題発覚、3月場所が開催中止
	22. 8～11	インターンシップを実施（会員企業24社で51名受入れ）	23. 2	エジプトムバラク政権崩壊（アラブの春）
	22. 9	経営講演会（テーマ：「臆病者の経営学」、「建設業法の概要」）	23. 3. 11	東日本大地震が発生
	22. 10	ふれあいの祭典「北摂フェスティバル」にボランティア参加	23. 3	九州新幹線延長開業、山陽新幹線大阪まで相互乗り入れ開始
	23. 1	「会報第30号」発刊		
	23. 1. 12	第56回通常総会開催及び新年名刺交換会開催 永年勤続優良従業員7名を表彰		
23年	23. 4. 12	県知事訪問、東日本大震災に対する義援金100万円寄贈、知事から協会に感謝状	23. 4	兵庫県立ものづくり大学校開校
	23. 4. 19	青年部会第13回総会	23. 5	ウサマ・ビン・ラーディンがアメリカ軍により殺害される
	23. 5. 25	第57回通常総会開催（懇親会中止、開催経費を義援金へ）	23. 7	女子ワールドカップドイツ大会、なでしこジャパンが優勝
	23. 7	安全衛生推進大会、17社を表彰	23. 7	地上アナログ放送終了。地デジへ完全移行（被災3県は24. 3末まで延期）
	23. 7	技術講習会（テーマ：第1回「電気設備機器の耐震設計・施工」、第2	23. 10	リビア カダフィ大佐死去
			23. 10	国連の推計で世界人口が70億人に

年度	協会の活動	内外の動き
23年	回「東日本大震災による関西電力の対応と今夏の電力需給状況」 23. 8 ～11 インターンシップを実施（会員企業24社で44名を受入れ） 23. 9 経営講演会（テーマ：「電気工事業界の動向と危機管理」、「東日本大震災と県有施設の設備設計」） 23.10 施設見学会（C E F南あわじウインドファーム風力発電施設等を見学） 24. 1 「会報第31号」 発刊 24. 1.16 第58回通常総会開催及び新年名刺交換会開催 永年勤続優良従業員10名を表彰	23.10.31 外国為替市場で1ドル＝75円31銭の戦後最高値を記録 23.12 北朝鮮最高指導者金正日死去 24. 2 東京スカイツリー竣工（オープンは5.22）

歴代役員 (協会設立 S 57. 6. 1)

役 員 名		S 57年	S 58年	S 59年	S 60年	S 61年	S 62年	S 63年	H 元年	H 2 年	H 3 年	H 4 年	H 5 年	H 6 年
会 長	日野 光雄 (S 57. 6. 1 ~ H 4. 5. 27)													
	片山 晴司 (H 4. 5. 27 ~ H 12. 8. 31)													
	宮崎 容治 (H 13. 5. 24 ~ H 18. 5. 23)													
	古川九州男 (H 18. 5. 23 ~ H 18. 9. 12)													
	山内 豊 (H 18. 9. 12 ~ H 19. 5. 16)													
	藤井 宏明 (H 19. 5. 16 ~ H 22. 5. 25)													
	西村 善明 (H 22. 5. 25 ~ H 24. 5. 16)													
	平井 伸幸 (H 24. 5. 16 ~)													
副 会 長	足立一之祐 (S 57. 6. 1 ~ S 61. 5. 14)													
	小松 正勝 (S 57. 6. 1 ~ S 62. 5. 26)													
	尾崎 誠一 (S 61. 5. 14 ~ H 8. 5. 22)													
	名田 勝彦 (S 62. 5. 26 ~ H 7. 8. 24)													
	黒田 晃 (H 7. 8. 24 ~ H 11. 1. 26)													
	川端 雅次 (H 8. 5. 22 ~ H 16. 5. 19)													
	藤本 正文 (H 11. 1. 26 ~ H 12. 1. 26)													
	中村 啓一 (H 12. 1. 26 ~ H 14. 2. 23)													
	疋田 光雄 (H 14. 5. 22 ~ H 18. 5. 23)													
	藤井 宏明 (H 16. 5. 19 ~ H 19. 5. 16)													
	山田 幸信 (H 18. 5. 23 ~ H 18. 8. 10)													
	河野 賢三 (H 18. 9. 12 ~ H 22. 5. 25)													
	平井 伸幸 (H 19. 5. 16 ~ H 24. 5. 16)													
	西村 善明 (H 20. 5. 19 ~ H 22. 5. 25)													
	小山 恵生 (H 22. 5. 25 ~)													
	前田 潮 (H 22. 5. 25 ~)													
	山口 節夫 (H 24. 5. 16 ~)													
専 務 理 事	家本 繁一 (S 57. 6. 1 ~ S 63. 5. 17)													
	藤井 延一 (S 63. 5. 17 ~ H 3. 5. 31)													
	石見 均 (H 3. 6. 1 ~ H 6. 1. 21)													
	大隅 幹夫 (H 6. 1. 21 ~ H 7. 5. 31)													
	石川 規 (H 7. 6. 1 ~ H 12. 5. 16)													
	上原 豊 (H 12. 5. 16 ~ H 15. 5. 28)													
	江口 靖夫 (H 15. 5. 28 ~ H 17. 5. 18)													
	植原 利幸 (H 17. 5. 18 ~ H 22. 5. 25)													
	先山 一矢 (H 22. 5. 25 ~ H 24. 5. 16)													
	北野 信雄 (H 24. 5. 16 ~)													
理 事	井上 勉 (S 57. 6. 1 ~ S 59. 5. 23)													
	上本 仁志 (S 57. 6. 1 ~ H 10. 5. 27)													
	内野 隆夫 (S 57. 6. 1 ~ S 59. 5. 23)													
	片山 晴司 (S 57. 6. 1 ~ H 4. 5. 27)													
	川端 雅次 (S 57. 6. 1 ~ H 8. 5. 22)													
	酒井 昭一 (S 57. 6. 1 ~ S 59. 5. 23)													
	坂元 宣哉 (S 57. 6. 1 ~ S 61. 5. 14)													
	柴崎 角夫 (S 57. 6. 1 ~ S 61. 5. 14)													
	白井悠紀夫 (S 57. 6. 1 ~ H 2. 5. 25)													
	建部 進 (S 57. 6. 1 ~ S 61. 5. 14)													
	福岡 薫 (S 57. 6. 1 ~ H 10. 5. 27)													
	藤井 宏明 (S 57. 6. 1 ~ H 16. 5. 19)													
	平井 邦雄 (S 57. 6. 1 ~ H 4. 5. 27)													
	前田 隆彰 (S 57. 6. 1 ~ H 6. 5. 25)													
	梅田 時雄 (S 59. 5. 23 ~ H 8. 5. 22)													
	川越 宏治 (S 59. 5. 23 ~ H 10. 5. 27)													
	安坂 敏一 (S 59. 5. 23 ~ H 13. 5. 24)													
	足立 宜久 (S 61. 5. 14 ~ H 14. 5. 22)													
	高橋 裕志 (S 61. 5. 14 ~ H 2. 5. 25)													
	田部 重雄 (S 61. 5. 14 ~ H 5. 9. 6)													
	小田 泰洋 (H 2. 5. 25 ~ H 6. 5. 25)													
	(H 8. 5. 22 ~ H 10. 5. 27)													
	長岡 良和 (H 2. 5. 25 ~ H 8. 5. 22)													
	合田 貞夫 (H 4. 5. 27 ~ H 16. 5. 19)													
	日野 光郎 (H 4. 5. 27 ~ H 10. 5. 27)													
	上条 隆敏 (H 6. 5. 25 ~ H 8. 5. 22)													
	河野 賢三 (H 6. 5. 25 ~ H 18. 9. 12)													

役 員 名		S 57年	S 58年	S 59年	S 60年	S 61年	S 62年	S 63年	H元年	H 2年	H 3年	H 4年	H 5年	H 6年
理事	丸山 一輝(H 6. 5. 25～H 8. 5. 22)													
	奥間 寛昭(H 8. 5. 22～H10. 5. 27)													
	寺坂 睦博(H 8. 5. 22～)													
	前川 秀一(H 8. 5. 22～H16. 5. 19)													
	山本 英一(H 8. 5. 22～H14. 5. 22)													
	大浦 正博(H10. 5. 27～H12. 5. 16)													
	幸田 嘉夫(H10. 5. 27～H13. 4. 30)													
	小山 恵生(H10. 5. 27～H22. 5. 25)													
	平井 伸幸(H10. 5. 27～H19. 5. 16)													
	藤田 宏一(H10. 5. 27～H14. 5. 22)													
	山本 勝一(H10. 5. 27～H18. 8. 31)													
	岩 継次(H12. 5. 16～H12. 11. 5)													
	宮崎 容治(H13. 1. 24～H13. 5. 24)													
	横関 節夫(H13. 1. 24～H18. 5. 23)													
	荻野 隆市(H13. 5. 24～H14. 5. 22) (H22. 5. 25～)													
	高柳 猛(H13. 5. 24～H15. 1. 21)													
	中村 啓一(H14. 2. 23～H14. 5. 22)													
	庄野 春夫(H14. 5. 22～H22. 5. 25)													
	難波 信雄(H14. 5. 22～H16. 5. 19)													
	兵庫 幸信(H14. 5. 22～H18. 8. 31)													
	山口 節夫(H14. 5. 22～H24. 5. 16)													
	宮川 晃(H15. 1. 21～H18. 1. 19)													
	合田 吉伸(H16. 5. 19～)													
	大川康太郎(H16. 5. 19～)													
	西村 善明(H16. 5. 19～H20. 5. 19)													
	金川 次男(H16. 5. 19～H24. 5. 16)													
	古川九州男(H18. 1. 19～H18. 5. 23)													
	松永 匠(H18. 1. 19～H18. 9. 30)													
	足立 和隆(H18. 5. 23～H22. 5. 25)													
	池田 重男(H18. 5. 23～H24. 5. 16)													
	田中 良彦(H18. 5. 23～)													
	向山 和義(H18. 5. 23～H24. 5. 16)													
	山崎 英彦(H18. 5. 23～H23. 1. 12)													
	市村 正男(H19. 5. 16～H20. 5. 19)													
	前田 潮(H19. 5. 16～H22. 5. 25)													
	山本 守(H20. 5. 19～H22. 5. 25)													
	小坂 佳秀(H22. 5. 25～)													
	荻野 啓一(H22. 5. 25～H24. 5. 16)													
	篠原 潔(H22. 5. 25～)													
	中谷 勉(H22. 5. 25～)													
	中安 進(H22. 5. 25～)													
	植原 利幸(H22. 5. 25～H24. 5. 16)													
	立山 欽司(H23. 1. 12～)													
	石田 壽和(H24. 5. 16～)													
	小東敬三郎(H24. 5. 16～)													
	廣岡 卓美(H24. 5. 16～)													
	塩出 浩一(H24. 5. 16～)													
	谷 政智(H24. 5. 16～)													
監事	園山 末義(S 57. 6. 1～H14. 5. 22)													
	安坂 敏一(S 57. 6. 1～S 59. 5. 23)													
	垣内 紘(S 59. 5. 23～S 61. 5. 14)													
	小田 泰洋(S 61. 5. 14～H 2. 5. 25) (H 6. 5. 25～H 8. 5. 22)													
	井上 隆次(H 2. 5. 25～H 6. 5. 25)													
	尾崎 誠一(H 8. 5. 22～H10. 5. 27)													
	松下 正昭(H10. 5. 27～H14. 5. 22)													
	山本 国紀(H10. 5. 27～H15. 5. 28)													
	荻野 隆市(H14. 5. 22～H18. 9. 12)													
	前川 幸上(H14. 5. 22～H19. 5. 16)													
	定平 常男(H15. 5. 28～H18. 6. 30)													
	丸尾 富保(H18. 9. 12～H22. 5. 25)													
	宮崎 和郎(H18. 9. 12～)													
	石川 規(H19. 5. 16～)													
	庄野 春夫(H22. 5. 25～H24. 5. 16)													
	諏訪 芳一(H24. 5. 16～)													



歴代常設各委員会正副委員長

委員会名	役 職	昭和57年度	59年度	61年度	63年度	平成2年度	4年度	6年度	8年度	10年度	12年度	13年度
総務 (平成16～18年度 総務・政策)	委員長 副委員長 同 同	福岡 薫 川端 雅次 ——	福岡 薫 川端 雅次 ——	福岡 薫 川端 雅次 ——	福岡 薫 川端 雅次 ——	福岡 薫 川端 雅次 片山 晴司 ——	福岡 薫 川端 雅次 前田 隆彰 ——	福岡 薫 川端 雅次 丸山 一輝 ——	福岡 薫 河野 賢三 山本 英一 ——	藤井 宏明 山本 英一 平井 伸幸 ——	藤井 宏明 山本 英一 平井 伸幸 寺坂 睦博	藤井 宏明 山本 英一 平井 伸幸 寺坂 睦博
広報 (平成17～18年度 広報・公聴)	委員長 副委員長 同 同	平井 邦雄 上本 仁志 ——	平井 邦雄 上本 仁志 ——	平井 邦雄 上本 仁志 ——	片山 晴司 上本 仁志 ——	田部 重雄 上本 仁志 ——	田部 重雄 上本 仁志 ——	上本 仁志 合田 貞夫 ——	上本 仁志 奥間 寛昭 ——	山本 勝一 河野 賢三 ——	山本 勝一 藤田 宏一 早水 勝徳	山本 勝一 藤田 宏一 早水 勝徳
技 術	委員長 副委員長 同 同	前田 隆彰 片山 晴司 ——	前田 隆彰 片山 晴司 ——	安坂 敏一 片山 晴司 ——	安坂 敏一 田部 重雄 ——	安坂 敏一 足立 宜久 ——	安坂 敏一 足立 宜久 ——	安坂 敏一 足立 宜久 ——	合田 貞夫 足立 宜久 ——	合田 貞夫 藤田 宏一 ——	前川 秀一 小山 恵生 合田 貞夫	前川 秀一 小山 恵生 合田 貞夫
開発プロジェクト	委員長 副委員長 同 同								(H11. 2. 12 設置)	安坂 敏一 寺坂 睦博 ——	安坂 敏一 山本 英一 市村 正男 ——	山本 英一 高柳 猛 市村 正男 ——
災害・労務 対 策 (平成17～18年度 安全・災害対策)	委員長 副委員長 同 同	建部 進 酒井 昭一 ——	安坂 敏一 建部 進 ——	田部 重雄 園山 末義 ——	平井 邦雄 園山 末義 ——	平井 邦雄 小田 泰洋 藤井 宏明 ——	藤井 宏明 小田 泰洋 ——	藤井 宏明 上条 隆敏 ——	藤井 宏明 園山 末義 ——	園山 末義 足立 宜久 ——	河野 賢三 足立 宜久 岩 継次 (～H12. 11. 5)	河野 賢三 足立 宜久 横関 節夫 (H13. 1. 16～)
渉 外	委員長 副委員長 同 同									(H12. 7. 11 設置)	合田 貞夫 園山 末義 ——	合田 貞夫 園山 末義 ——
経 営	委員長 副委員長 同 同											
育 成	委員長 副委員長 同 同											

委員会名	役 職	14年度	16年度	17年度	18年度		委員会名	役 職	19年度	20年度	22年度	24年度
総務 (平成16～18年度 総務・政策)	委員長 副委員長 同 同	藤井 宏明 平井 伸幸 横関 節夫 佐々木邦雄	平井 伸幸 大川康太郎 佐々木邦雄 田中 良彦	平井 伸幸 大川康太郎 佐々木邦雄 田中 良彦	平井 伸幸 大川康太郎 田中 良彦 ——	(H19. 5. 16 再編、広報公 聴委員会と統合)	総 務	委員長 副委員長 同 同 同 同	寺坂 睦博 山崎 英彦 足立 和隆 池田 重男 大川康太郎 田中 良彦	大川康太郎 池田 重男 田中 良彦 —— —— ——	大川康太郎 篠原 潔 田中 良彦 —— —— ——	大川康太郎 篠原 潔 田中 良彦 —— —— ——
広報 (平成17～18年度 広報・公聴)	委員長 副委員長 同 同	前川 秀一 難波 義昭 長瀬 義昭 ——	寺坂 睦博 横関 節夫 長瀬 義昭 日野 実	寺坂 睦博 横関 節夫 長瀬 義昭 日野 実	寺坂 睦博 和隆 重男 池田 重男 山崎 英彦	(H19. 5. 16 再編、総務・政 策委員会と統合)						
技 術	委員長 副委員長 同 同	小山 恵生 山本 国紀 庄野 春夫 ——	小山 恵生 山本 勝一 合田 吉伸 小坂 佳秀	小山 恵生 山本 勝一 合田 吉伸 小坂 佳秀	小山 恵生 山本 勝一 合田 吉伸 小坂 佳秀	(H19. 5. 16 再編、安全・災害 対策委員会と統合)						
開発プロジェクト	委員長 副委員長 同 同	河野 賢三 高柳 猛 市村 正男 ——	河野 賢三 宮川 晃 市村 正男 堀出 浩一	(H17. 4. 25 再編)			技術・安全	委員長 副委員長 同 同 同 同	山口 節夫 金川 次男 小山 恵生 合田 吉伸 小坂 佳秀	山口 節夫 前田 潮 山本 守 —— ——	小坂 佳秀 栗原 直樹 中谷 勉 —— ——	小坂 佳秀 栗原 直樹 中谷 勉 —— ——
災害・労務 対 策 (平成17～18年度 安全・災害対策)	委員長 副委員長 同 同	山本 勝一 寺坂 睦博 兵庫 幸信 ——	山口 節夫 兵庫 幸信 金川 次男 濱田 泰二	山口 節夫 兵庫 幸信 金川 次男 濱田 泰二	山口 節夫 兵庫 幸信 金川 次男 濱田 泰二	(H19. 5. 16 再編、技術 委員会と統合)						
渉 外	委員長 副委員長 同 同	合田 貞夫 山田 幸信 早水 勝徳 ——	西村 善明 庄野 幸夫 山田 幸信 前田 潮	(H17. 4. 25 再編)								
経 営	委員長 副委員長 同 同		(H17. 4. 25 設置)	河野 賢三 宮川 晃 市村 正男 堀出 浩一	河野 賢三 松永 匠 市村 正男 船木 靖夫	(H19. 5. 16 再編、育成 委員会と統合)	経 営	委員長 副委員長 同 同 同 同	西村 善明 市村 正男 庄野 幸夫 向山 和義 前田 潮 船木 靖夫	小山 恵生 金川 次男 合田 吉伸 —— —— ——	合田 吉伸 宗接 博史 山口 節夫 —— —— ——	合田 吉伸 宗接 博史 堀出 浩一 —— —— ——
育 成	委員長 副委員長 同 同		(H17. 4. 25 設置)	西村 善明 庄野 幸夫 山田 幸信 前田 潮	西村 善明 庄野 幸夫 向山 和義 前田 潮	(H19. 5. 16 再編、経営 委員会と統合)						

写真でふり返る30年

ご あ い さ つ

昭和57年6月1日の設立以来30年に渡る兵庫県電業協会の歴史の一つを振り返って頂き、懐かしい方々のお顔を写真でご覧頂きました。如何でしたでしょうか。

当協会は、これからも地域に根差す電設工事業者の団体として活動し、会員一同結束して地域社会に貢献し、歴史と伝統を刻んで参りたいと考えています。

何とぞ変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年5月16日

社団法人 兵庫県電業協会
会長 平井 伸幸

（社）兵庫県電業協会は、昭和56年6月19日任意団体兵庫県電業協会として発足し、昭和57年6月1日兵庫県知事から社団法人の設立許可を受け、歴史を刻んできました。



兵庫県電業協会 設立総会



兵庫県電業協会 設立総会



一般電気利用者に対する啓蒙活動



社団法人 兵庫県電業協会 発会式



社団法人 兵庫県電業協会 発会式



公共施設電気設備の自主点検事業



兵庫県勤労青年青年洋上大学(洋上研修)



ゴルフコンペ



平成7年度安全推進大会



'98電設工業展 高校生招待



社団法人 兵庫県電業協会青年部会 設立総会



社団法人 兵庫県電業協会青年部会 設立総会



若かりし日の平井会長



県立美術館王子分館西館の改修整備の事例紹介

兵庫県県土整備部住宅建築局設備課 永富 久資

1. はじめに

県立美術館王子分館西館は築後30年（S57年3月建築）が経過し、施設・設備の老朽化が進んでおり、改修の必要が生じてきました。

また、世界的な美術家で西脇市出身の横尾忠則さ

んから作品を県に寄贈・委託されることになり、作品の収蔵・展示の場として県立美術館王子分館西館を改修整備し、有効活用することとなりました。

この度、平成24年3月に改修工事が完成し、横尾忠則現代美術館として11月に開館しましたので、ご紹介します。



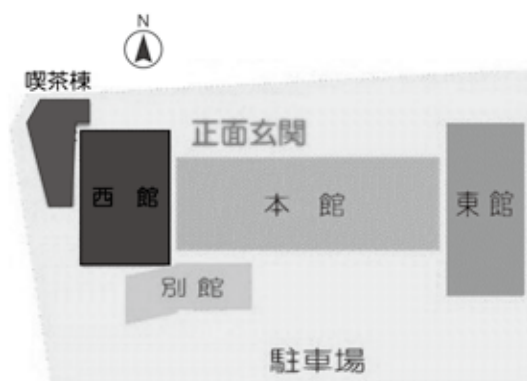
【北西からみた外観（完成後）】

2. 改修工事の概要

県立美術館王子分館には本館、東館、別館及び西館があり、今回、西館の改修、喫茶棟の改築を行いました。

西館は、横尾ワールドを実感・発信する場として、以下の機能が整備されています。

- 地下1階 … 収蔵庫
- 1 階 … オープンスタジオ
- 2, 3 階 … 展示室A、B
- 4 階 … アーカイブルーム、事務室



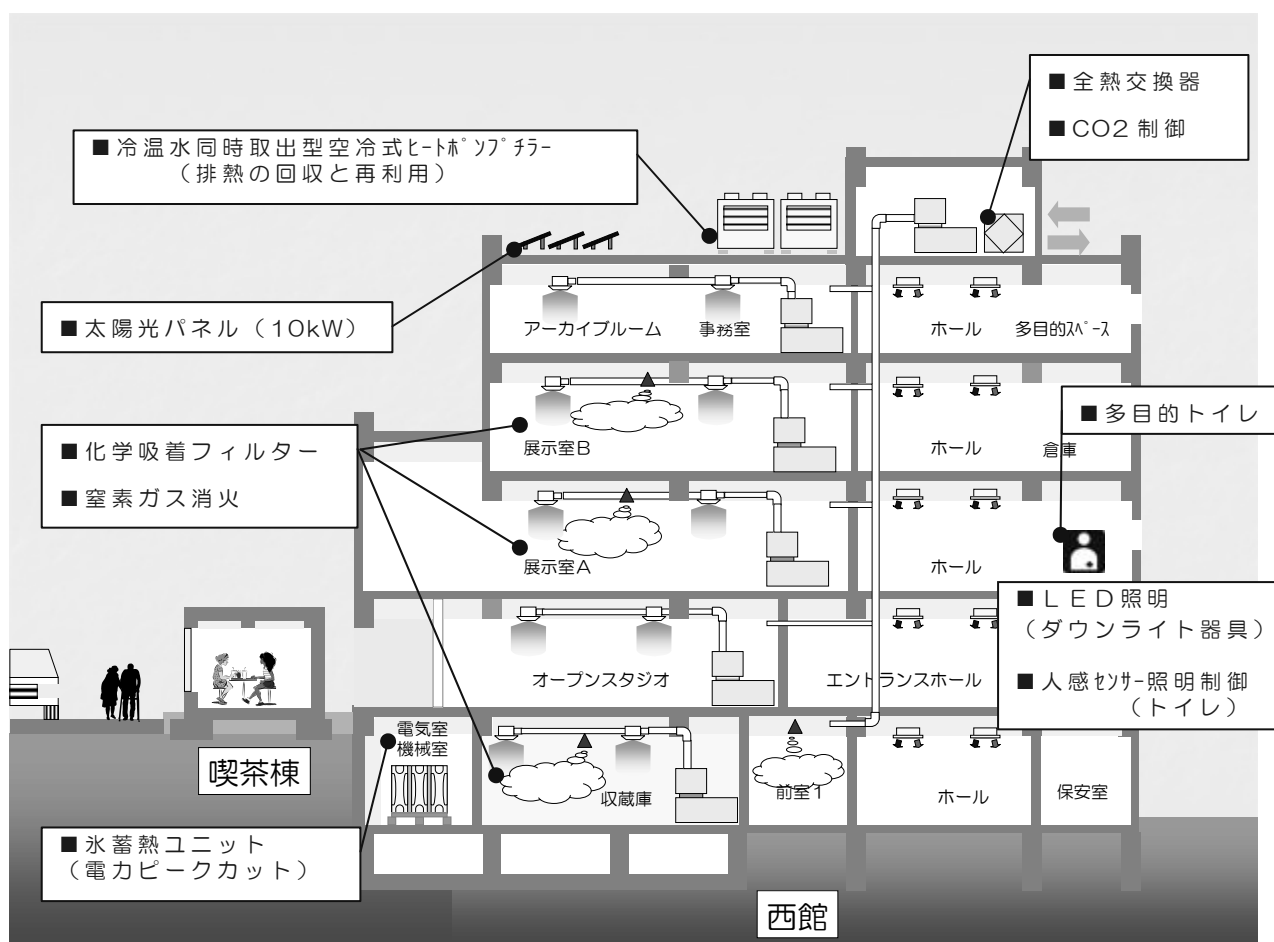
3. 設備改修のコンセプト

設備改修にあたっては、建築物のストックを最大限活用しつつ、省エネルギー化など「人と環境に配慮した施設づくり」を目指しました。

改修のコンセプトは、「①既存ストックの有効活

用」「②人と環境に配慮した施設」「③省エネルギー化」の3点ですが、「厳密な温度・湿度のコントロール」「来館者や展示物への照明」といった美術館の特殊性にもあわせて取り組みました。

これらのコンセプトに基づく主な設備改修のイメージ図を以下に示します。



【設備改修イメージ図】

4. 電気設備工事

電気設備工事のうち、主な設備について紹介します。

(1) 受変電設備

西館の受電は、既設の本館電気室から高压分岐を受け、地下1階の西館電気室にて6.6kV、1回線で受電しています。

変圧器は、トッランナー型油入変圧器となっており、容量は合計550kVAです。喫茶棟は別途低压にて引込みを行っています。



西館電気室

(2) 発電設備

非常用の発電設備を地下1階発電機室に設置しています。燃料は「軽油」、計画運転可能時間は「2時間」、発電容量は「125kVA×1基」です。災害時の運転継続に配慮して、冷却方式は「空冷式」を



【非常用発電設備】

採用しています。

屋上には、太陽光発電設備を設置しています。発電容量は「10kW」、周辺への景観を考慮して傾斜角度は5度としています。



【太陽光発電設備】

(3) 照明設備

照明設備は、事務室、資料室、機械室など作業性や明るさが必要な場所には高効率蛍光灯を採用し、展示室、喫茶、トイレ、廊下、ホールなどには落ち着いた空間を演出できるようLED型ダウンライト

を採用しています。

また、2、3階展示室には壁面の展示物用としてFHF32W×2（調光型）のウォールウォッシャーを設置し、ランプには紫外線吸収膜付を使用しています。



【地下1F収蔵庫】

※収蔵物の保護のためFHF32W×2
（紫外線吸収膜付ランプ）を採用



【1Fオープンスタジオ】

※すべてLED型ダウンライトを採用



【2 F展示室A】

※LED型ダウンライトとウォールウォッシャー（FHF、紫外線吸収膜付ランプ）を採用



【4 Fアーカイブルーム】

※LED型ダウンライトとFHFを採用

(4) セキュリティ設備

セキュリティシステムは、非接触カードと生体認証（指静脈）を組み合わせ構成しています。

最重要エリアである収蔵庫には、前室でカードにより認証を行った後、再度奥の扉でカード＋生体認

証での認証を行い、入室管理を徹底しています。

展示室、アーカイブルームなどの重要エリアにはカードによる入室管理を行い、2 F展示室には4台、3 F展示室には2台の監視カメラ設備を設置しています。

電気設備概要

設備	概 要		設備	概 要	
受変電設備	電力引込	6.6kV 1回線 本館電気室より分岐	中央監視設備	監視項目	受変電、電力、空調等
	受電方式	屋内 / 開放型		監視場所	保安室、事務室
	変圧器容量	計550kVA	情報通信設備	電話設備	デジタルPBX方式
	その他	喫茶棟は別引込み		拡声設備	業務放送80W
発電設備	発電機形式	ディーゼルエンジン		LAN設備	県庁WAN等
	発電機容量	125kVA	入退室管理設備	監視カメラ	展示室2 F 4台、 3 F 2台
	燃料	軽油		セキュリティ設備	生体認証、非接触カード
	運転時間	2時間	防災設備	受信機	P型1級50回線
	その他	太陽光発電10kW		感知器	煙感知器、熱感知器
照明設備	照度基準	展示室300～550lx	その他	誘導支援設備	音声誘導装置
		事務室700lx			トイレ呼出装置
	照明制御	タイムスケジュール、 調光、昼光、人感制御		昇降機設備	乗用1台、荷物用1台 は既設再利用

5. 建築概要

建 築 名 称	県立美術館王子分館西館（横尾忠則現代美術館）
建 設 場 所	神戸市灘区原田通 3 - 8 - 30
階 数	西館 6 階 喫茶棟 平屋
延 床 面 積	西館 2,868㎡ 喫茶棟 97㎡
工 事 監 理	兵庫県県土整備部住宅建築局 営繕課・設備課
工 期	平成23年 2 月～平成24年 3 月
開 館 時 期	平成24年11月 3 日
施 工 者	建築工事 常磐興業(株)
	電気工事 西部電気建設(株)
	機械工事 建部・花井特別共同企業体
	ガス工事 大阪ガス(株)
	展示工事 (株)丹青社

6. おわりに

平成24年 3 月に改修工事が竣工後、平成24年11月 3 日に県立美術館王子分館西館は「横尾忠則現代美

術館」として開館しました。

施工中は、ご理解、ご協力をいただいた美術館関係者、工事関係者に紙面をかりて御礼申し上げます。




吸い込んで分解する
光速ストリーマ

飛び出す
アクティブ
プラズマイオン

ACK70N-W

ダイキンはダブル方式。

※1 2012年7月12日現在、家庭用空気清浄機でストリーマ放電により行う点において。(当社調べ) ※2 試験条件:アレル物質にストリーマを照射し、ELISA法/電気泳動法/電子顕微鏡法のいずれかでアレル物質タンパクの分解を確認。試験結果99.6%除去。(フィルターに捕獲したものに効果を発揮します) ※3 測定方式:抗菌試験/カビ除去試験 試験機関:(財)日本食品分析センター 試験番号:第204041635-001号 試験結果99.9%除去。(フィルターに捕獲したものに効果を発揮します)

ダイキン※1
オンリーワン

ストリーマひちんくん

光速ストリーマ

光速ストリーマが、
花粉・カビ・ダニ(死骸)を分解・除去※2
※3

新搭載!

プラズマひちんくん

アクティブプラズマイオン

アクティブプラズマイオンが、
付着菌や付着臭を抑制

広いリビングにも満足の
ハイグレードタイプ

パーソナルニーズに対応した
コンパクトタイプ

加温空気清浄機
うるおい光クリエール

ACK70N-W(-T)
(-W) ホワイト
(-T) ビターブラウン

ACK55N-W(-P)(-T)
(-W) ハニラホワイト
(-P) ストロベリーピンク
(-T) ココアブラウン

©このイラストはイメージです。

ダイキンHVACソリューション近畿株式会社 〒556-0011 大阪市浪速区難波中 2-10-70 なんばパークス パークスタワー TEL 06-6647-2355

ダイキンコンタクトセンター
お客様総合窓口

0120-88-1081
全国共通フリーダイヤル(営業時間:24時間365日対応)

「ダイキンエアコン」ホームページ
<http://www.daikin.co.jp/aircon/>

『デザイン・クリエイティブセンター神戸』の設備概要

神戸市都市計画総局建築技術部設備課

■ デザイン・クリエイティブセンター神戸について

神戸市では、神戸のすばらしい資源や魅力をデザインの視点で見つめなおし、磨きをかけることにより、新たな魅力と活力を創り出し、くらしの豊かさを創造する都市戦略「デザイン都市・神戸」を推進しています。

この取り組みの一環として、神戸市中央区の新港地区にある旧神戸生糸検査所を改修し、「デザイン都市・神戸」のシンボルとなる創造と交流の拠点「デザイン・クリエイティブセンター神戸」を平成24年8月に開設しました。

デザイン・クリエイティブセンター神戸は、創造的活動を行う市民、団体、企業などがオフィス・スタジオ・アトリエとして24時間利用可能な「クリエイティブラボスペース」や、デザインやアートに関する大規模なイベントやシンポジウムなどの開催が行なえる「多目的ホール（KITOホール）」や「ギャラリー」、他には、10人程度の小規模な打ち合せ、70人程度のセミナーやワークショップなど、様々な用途で利用が可能なスペースなどを設置しています。

■ 建物概要

- ・所在地：神戸市中央区小野浜町1番4号
 - ・地域地区：準工業地域（建蔽率60％／容積率300％）、高度地区指定なし、準防火地域、神戸臨港地区、新港突堤西都市景観形成地域
 - ・敷地面積：8,601.92㎡
 - ・施設概要
- 【旧館】建築年：昭和2年
設計者：清水栄二
構造：鉄筋コンクリート造

階数：地下1階 地上4階
延床面積：3,488.81㎡

【新館】建築年：昭和7年
設計者：置塩 章
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
階数：地下1階 地上4階
延床面積：10,290.41㎡

■ 電気設備工事

① 受変電設備

- ・6.6KV 1回線受電 1100KVA
- ・既設設備改修

② 発電設備

- ・6.6KV 200KVA ガスタービン（軽油）
- ・既設非常用発電機再利用

③ 幹線設備

- ・旧館部分 全面改修
- ・新館部分 一部再利用必要部分のみ改修

④ 電灯設備

- ・旧館部分 全面改修
- ・共用部分 LED化 多目的ホールは無電極灯及びLED化・居室部分は、各居室ごとに計量し、利用方法多様化のため器具取替可能型（ライティングダクト）で基本はHf蛍光灯
- ・新館部分 一部共用部分改修LED化 居室部分基本的に既設再利用

⑤ 動力設備

- ・旧館新館とも幹線改修
- ・空調機器・ポンプ・昇降機へ送電

⑥ 電話設備

- ・旧館部分幹線のみ改修

⑦ 情報配線設備

- ・旧館幹線のみ施工（基本空配管・ラック対応）

⑧ 放送設備

- ・全館改修 旧館1階事務所設置 業務放送兼務型非常放送設備（全館放送）・多目的ホール用簡易型アンプ設置

⑨ 時計設備

- ・旧館 一部設置 既設設備再利用

⑩ 自動火災報知設備

- ・全館改修 旧館1階事務所設置 P型1級防火戸シャッター作動表示・多目的ホールは、光電管方式

⑪ TV共聴設備

- ・旧館 一部設置

⑫ 雷保護設備

- ・既設再利用

■ 機械設備工事

[給排水設備工事]

① 給水設備

- ・受水槽・高架水槽方式から直圧給水方式に変更
- ・給水引込配管～建物内給水配管を更新

② 排水設備

- ・浄化槽方式から公共下水直結方式に変更
- ・汚水管・雑排水管を更新し自然流下方式にて公共下水道に放流

③ 給湯設備

- ・局所方式により給湯
湯沸室：電気貯湯式給湯器
シャワー室：ガス給湯器（屋外設置）

Café厨房：ガス湯沸器（屋外設置）

④ 衛生器具設備

- ・既設衛生器具を撤去し各便所に衛生器具を新設
- ・新館1階には「だれでもトイレ」を設置

⑤ 消火設備

- ・屋内消火栓：改修に伴い移設・一部更新
- ・消火ポンプ・消火タンク：既設流用

[空気調和設備工事]

① 空調設備

[旧館]

- ・旧館は貸室としての使用がメインとなり空調も長時間運転する場合が考えられるため、ランニングコスト検討の結果、電気式マルチエアコン（EHP）による個別空調・外気処理の併用方式を採用

[新館]

- ・新館1階多目的ホールは他と異なり運転時間が限定されるため、ランニングコストで有利なガスエンジン・ヒートポンプ（GHP）による個別空調・外気処理の併用方式を採用
- ・多目的ホール以外はEHPによる個別空調②換気設備
- ・居室の換気は、外気処理エアコンにて室内に供給した外気を各階便所・コミュニケーションスペースから屋外に排出

② 排煙設備

- ・全館自然排煙

③ 自動制御設備

- ・1階管理事務所に設置したEHP・GHP集中リモコンにて監視・運転管理

■ 昇降機設備工事

① 乗用エレベータ1基設置

- ・既設昇降路再利用 マシンルームレスに変更
- ・駆動方式 ロープ式マシンルームレス

- ・積載荷重：11人乗750KG
- ・速度：45m／min 車椅子対応
- ・停止階床：1～4階
(B1階管理用停止床) 5停止
- ・管制運転：地震・火災・停電管制
- ・監視盤：旧館1階事務所 モニターTV監視

■ ガス設備工事

- ・建築改修工事に支障のある既設ガス配管の撤去
- ・GHP・給湯用ガス湯沸器へガス供給を行うため
ガス引込配管の新設

■ 施工体制

- ・発注者：神戸市都市計画総局建築技術部
建築課・設備課

- ・設計：(株)佐藤総合計画
神戸市都市計画総局建築技術部
建築課・設備課

- ・施工会社
建築工事

〔Ⅰ期工事〕(株)山田工務店 (157,871,700円)

〔Ⅱ期工事〕(株)大木工務店 (907,620,000円)

電気設備工事

〔Ⅰ期工事〕サンデン(株) (23,634,450円)

〔Ⅱ期工事〕日光電気工事(株) (208,225,500円)

機械設備工事

〔Ⅰ期工事〕気水工業(株) (7,749,000円)

〔Ⅱ期工事〕三樹エンジニアリング(株)
(220,173,450円)

昇降機設備工事 日本エレベータ製造(株)
(17,619,000円)

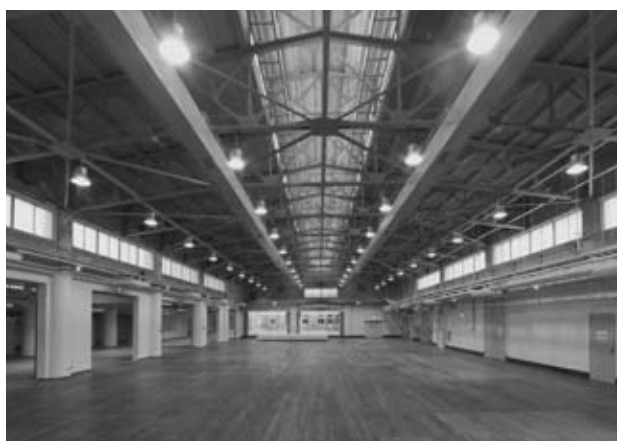
ガス設備工事 (株)大阪ガス (9,770,250円)



旧館外観



新館外観



新館 多目的ホール



昇降機



旧館 廊下



旧館 会議室



だれでもトイレ



室外機置場

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

色彩が自然。
肌色がキレイに見える。^(※1※2)

高い演色性（Ra90）で、モノ本来の色合いを美しく再現します。

E-CORE™
【イー・コア】

高演色LED電球
キレイ色
— kireiro —

平均演色
評価数
Ra90

色彩が
自然
肌色が
キレイ

モノの色を
自然に再現
(※1)

肌色を
キレイに
美しく
(※2)

食べ物を
色鮮やかに
(※2)

※1：平均演色評価数 Ra90
※2：当社のLED電球と電球型蛍光灯による、色の見え方の当社評価結果に基づいて、（従来のLED電球（DALI/UN-LG）との比較）

こんな
場所に
Fit



東芝グループは、持続可能な
地球の未来に貢献します。

eco スタイル

エコ！らく！かしこい！
ママゴコロ
家電

LED+SMART
明日の“あたり文化”をつくる

東芝ライテック株式会社
<http://www.tlt.co.jp/>

お問い合わせ・使い方・
営業のご案内は
046-862-2772

0570-000-661

【東芝ライテック照明ご相談センター】

365日 電話でお応えします。
受付時間 9:00-20:00

・サポート商品
照明器具、ランプ、インターホンなど
・相談内容
お買い得・使い方・修理相談

——「AiSEG」でエネルギーの「見える化」と「自動制御」を実現——

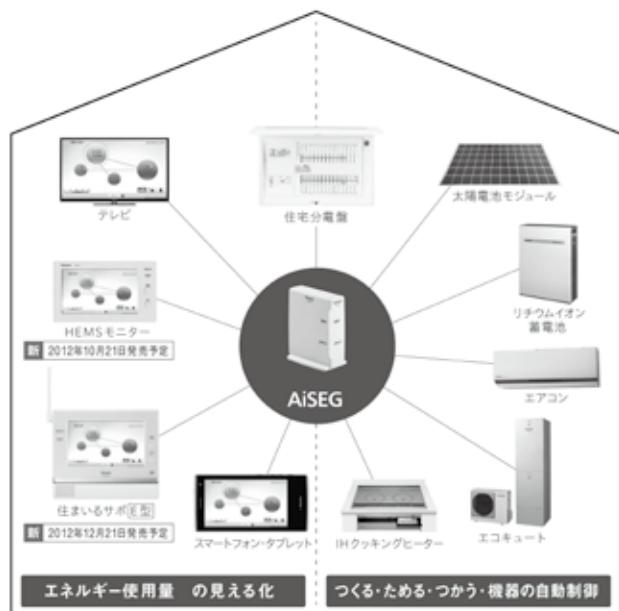
「スマートHEMS」を本格展開

パナソニック株式会社

環境意識の高まりに加え、東日本大震災以降は電力供給不安も重なり、国内では一般家庭の節電対策が急務となっています。そのような中、ホームエネルギーマネジメントシステム（以下HEMS）は経済産業省より、最大10万円の補助金交付が開始されていることや、スマートハウスのニーズ増大という社会背景を受けて当社では商品開発を進めております。今後ますます需要が高まると推測されるスマートHEMSについてご紹介いたします。

◆「スマートHEMS」の特徴

「スマートHEMS」の中心となる機器「AiSEG（アイセグ）」は、「Ai=Artificial Intelligence」「SEG=Smart Energy Gateway」の略称で、「かしこいエネルギー管理システム」です。



エネルギーの「見える化」の場合は、「AiSEG」と同時に発売した「AiSEG用エネルギー計測ユニット」が、接続した住宅分電盤から回路ごとの電気の使用量を、また、太陽光や燃料電池の発電量、

蓄電池の残容量、さらには水やガスの使用量などを無線で「AiSEG」に送信。情報を受けた「AiSEG」ではこれらの情報を整理し、宅内LANで専用モニターやテレビ、パソコンへ、また無線ルーターを経てWi-Fiでタブレットやスマートフォンへ送ります。

◆表示モニター



表示画面には、「ECOマネジシステム」に搭載したペンギンのキャラクターで表示するもののほか、電気の流れをシンプルにわかりやすく表示するもの、「つくる」「買う」「使う」「貯める」「売る」の5つの要素をバブルで表示するものがあります。また、電気使用量を部屋や機器ごとに確認でき、ランキングで表示することもできます。節電が必要な部屋や機器がひと目でわかるので、省エネ意識の向上にもつながります。

そのほか、省エネの達成状況をペンギンや氷の状態で表示したり、積算創エネ量によってキャラクターの動きが変化したりと、ゲーム感覚で節電が続けられるようになっています。

なお、ペンギンの画面は子供の環境・省エネ教育への貢献が評価され、2011年にNPO法人キッズデザイン協議会が主催する第5回キッズデザイン賞に

において、「TEPIA賞（機械産業記念事業財団奨励賞）」を受賞しています。

◆制御技術の進化

エネルギーの「見える化」に加えて、機器の制御ができることは、「AiSEG」の大きな特徴です。

「AiSEG」は、当社をはじめ家電メーカーが参画するエコネットコンソーシアムが2011年6月に発表した家電ネットワーク規格「ECHONET Lite」を搭載しており、この規格に対応する電気設備や家電については、「AiSEG」による制御が可能となってきます。

当社では本年10月から、「AiSEG」の対応機器として、エアコン、IHクッキングヒーター、エコキュート（従来品の一部も対応）を販売しており、「AiSEG」によって、次のような制御を実現しております。

◆エアコンは節電運転に自動的に切り替え

「エコモード設定」を選択すると、エアコンのスイッチを入れてから30分後には、省エネ温度（冷房28℃、暖房20℃）に自動的に切り替わり、節電運転をおこないます。

◆余剰電力でエコキュートを自動沸き増し

「AiSEG」が、天気予報や過去の電気使用情報をもとに太陽光発電の余剰電力でエコキュートの自動沸き増しをおこないます。

◆IHクッキングヒーターの制御

電気の使用量が多いときにIHクッキングヒーターの使用を始めると、「AiSEG」が住まいの電気使用量に応じて、IHクッキングヒーターで使える電力を判断し、IHクッキングヒーターのパワーを自動調節します。

なお、「AiSEG」と「AiSEG用エネルギー計測ユニット」は、エネルギー管理システム導入促

進事業費補助金（HEMS導入事業）の対象商品に採択されています。

●「スマートHEMS」のさらなる進化

つながる、ひろがる、進化する暮らし——。これは当社が展開する「スマートHEMS」のコンセプトです。今後の進化としては、次のような4つの方向を構想しています。



◆クラウド型サービスの活用によるサービスの拡充

「AiSEG」はインターネットを通じてパナソニックのサーバーと接続しています。そのため、クラウド型サービスを通じて「AiSEG」のファームウェアを随時、更新することができます。これにより、電力会社の電気料金メニューの変更や、対応家電・住宅設備機器の増加にも迅速に対応することが可能となります。当社は今後、クラウド型サービスを活かし、スマートメーターや電気自動車の充電設備、照明、セキュリティ、ヘルスケアとの連携など、つながる機器やサービスの拡充を進めてまいります。

◆EV・PHEVとの連携によるV2Hの実現

当社はすでにEVやPHEVのための充電用屋外コンセントを発売しており、将来はEVやPHEVとの連携を進めてまいります。

◆「AiSEG」対応機器を拡大

現在販売しているエアコンやIHクッキングヒーター、エコキュートのほかに、「AiSEG」対応の機器を拡大する。例えば照明やセキュリティ機器、家電など、つながる機器を増やし、省エネだけでなくセキュリティからヘルスケアまで、幅広い分野で

の「見える化」や「自動制御」を実現します。

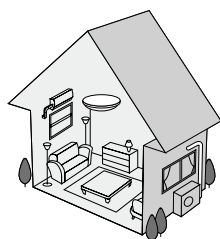
●おわりに

◆スマートメーターとの接続

通信機能を備えた次世代電力計、スマートメーターとの接続により、電力消費量や料金などの情報をリアルタイムに取得し、送電網からのデマンドレスポンスや電力のピーク抑制指示にも対応いたします。

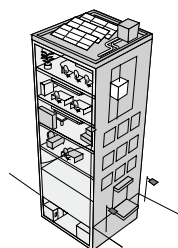
「スマートHEMS」を中心に、当社のエネルギーの「見える化」の最新技術や制御技術などを紹介させていただきました。これからも、住建分野と電材分野の両方を組み合わせ、総合的な提案をおこない、また、パナソニックグループとしての幅広い技術や情報、経験を活かしお客様や社会の、そして地球規模での環境負荷の少ない持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

豊かな快適環境を創造する INABA



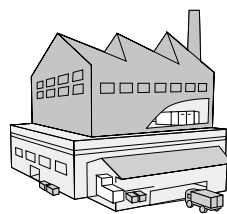
HOUSING
住宅・店舗

感性の時代にマッチした
生活シーンの実現を支援



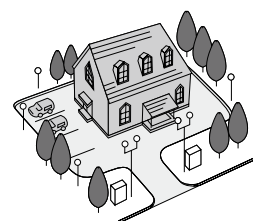
BUILDING
建物

インテリジェント化が進む
都市機能の円滑化



FACTORY
工場

生産の場に求められる
合理化対策に対応



PUBLIC
公共施設

快適な社会生活を形成する
都市づくりへの貢献

因幡電機産業株式会社

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-11-14 tel (06) 4391-1781 fax (06) 4391-1806
URL <http://www.inaba.co.jp/>

東芝電材マーケティング株式会社

西日本支社 兵庫支店

東芝電材マーケティングは、総合電設資材に軸足を置いた事業展開で、お客様が期待する以上の満足と信頼をご提供いたします。常に誠意と情熱を持ち、新しいサービスをお届けしてまいります。

兵庫支店・神戸営業所

〒653-0053 兵庫県神戸市長田区本庄町7-2-9
TEL: 078-739-0151 FAX: 078-739-0158

尼崎営業所

〒661-0002 兵庫県尼崎市塚口町5-8-1
TEL: 06-6423-3663 FAX: 06-6423-3443

淡路営業所

〒656-0014 兵庫県洲本市桑間字椿鼻336-1
TEL: 0799-24-2574 FAX: 0799-23-0704

姫路営業所

〒670-0054 兵庫県姫路市南今宿1-16
TEL: 079-298-4377 FAX: 079-298-4379

第59回通常総会・協会設立30周年記念事業

初夏を想わせる好天に恵まれた5月16日、第59回通常総会が滞りなく開催され、総会に引き続き協会設立30周年記念事業として記念講演会、記念祝典が盛会裏に開催されました。(30周年記念事業は、30周年記念特集ページに掲載)



第59回通常総会

[第59回通常総会]

- 1 開催日時 平成24年5月16日(水)
14時00分～15時30分
(臨時理事会で15分間中断)
- 2 開催場所 生田神社会館 3階 菊
- 3 出席会員 137社(委任状提出 57社を含む。)
- 4 総会進行

当協会関係物故者及び建設業関係殉職者に対し黙祷を捧げた後、西村会長が開会の挨拶を行い、議長選出、総会成立宣言、議事録署名人選出に続いて議事に入りました。

(1) 西村会長挨拶

第59回通常総会は、協会設立30周年を迎える中での開催となります。30周年といっても社団法人としてのそれであり、その前には任意団体兵庫県電業協

会として活動していました。同業者が集まり、情報交換や連携等会員のためにプラスになる諸事業を実施していましたが、大手業者から同業者の集まりというのは、ともすれば世間から談合等のための集まりという目で見られがちであるという声が高まってきました。そこで一層の業界振興のため、そして世間に貢献できるようボランティア活動を中心にした社団法人を設立しようではないかという呼びかけがなされ、我々も賛同しまして兵庫県から許可を受けて社団法人兵庫県電業協会を設立したものであります。

その後順調に発展してきましたが、6年程前、同業者団体に加入していることが世間から色目で見られ得るという理由で、大手が上部団体である日本電設工業協会の支部が所在する電業協会以外からは一斉に退会するという状況となりました。協会の全収

入の半分以上を大手の方に依存していただけに協会の存続が危ぶまれる事態に陥り、急遽当時の理事、委員の格別の理解のもと理事は通常会費の2倍、委員は1.5倍を臨時的に負担し、この危機を乗り切りました。そんな経緯を経て現在は、経審点数を基準に会費を定めた会則が整備され、会員各位に会費の負担をいただいているところです。

私が会長就任以来、常に皆さんにお願いしていますことは、協会の安定した運営のためには、一層の会員増強しかないということであります。今日現在は147社ですが、これが170社くらいになるとより安定した協会運営ができると考えています。皆さんの心当たりの方に、是非入会を勧めていただければ大変幸いであります。会員各位の一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(2) 議案審議

第1号議案 平成23年度事業報告に関する件、第2号議案 平成23年度収支報告に関する件、第3号議案 一般社団法人兵庫県電業協会の定款案制定に関する件、第4号議案 議決文書に係る字句の修正の付帯決議案に関する件及び第5号議案 任期満了に伴う役員（理事及び監事）改選に関する件、がいずれも、拍手多数で可決承認されました。

第5号議案の可決後、会長等を選任するため、総会を中断して臨時理事会が別室で開催されました。

(3) 臨時理事会の結果報告

総会を再開し、臨時理事会で会長に平井伸幸理事、

副会長に小山恵生理事、前田潮理事、山口節夫理事、専務理事に北野信雄理事の各氏が互選により選出された旨、また総務委員会委員長に大川康太郎理事、経営委員会委員長に合田吉伸理事、技術・安全委員会委員長に小坂佳秀理事の各氏を、また各委員会委員の委嘱も決定した旨、更に地区担当理事を選出した旨報告がなされました。

この報告が総会で承認された後、新役員を代表して平井新会長から「協会の発展に精一杯頑張りたい」旨の就任挨拶がありました。

(4) 相談役委嘱の報告

平井会長から臨時理事会において、満場一致で西村善明氏を相談役に委嘱することを決定した旨報告がなされました。

西村氏からは、全力を挙げて相談役を務めさせていただく旨の挨拶がありました。

(5) 特別表彰

続いて、平井会長から永年にわたり役員を務め、このたび退任された西村善明、金川次男、池田重男、向山和義の各氏に感謝状並びに記念品が授与されました。

(6) 新入会員紹介

正会員として入会いただいた㈱塚本電気設備様、㈱大同電機製作所様の紹介が行われ、総会は閉会しました。



西村会長挨拶



臨時理事会

[第58回通常総会の概要]

- 1 開催日時 平成24年1月16日（月）
15時30分～16時30分
- 2 開催場所 生田神社会館 3階 菊
- 3 出席会員 132社（委任状65社を含む。）
- 4 議案審議

第1号議案 平成23年度補正予算に関する件、第2号議案 平成24年度事業計画に関する件、第3号議案 平成24年度収支予算に関する件、がいずれも原案どおり可決。

5 その他

正会員として入会いただいた㈱兵庫蓄電池様、奥本電気㈱様、つかさ電機様の新会員の紹介及び永年勤続優良従業員表彰（表彰者は「永年勤続優良従業員表彰」のページで紹介）を行い、総会を終了。

引き続き、午後5時から同会館4階富士において、井戸敏三兵庫県知事、吉本知之同副知事をはじめ兵庫県・神戸市幹部、関係団体代表者等のご来賓をお迎えし、140名強の参加のもと平成24年新年名刺交換会が開催されました。

開会に先立ち、まず、生田神社の巫女によるお神楽・豊栄の舞を奉納し、参会者の繁栄を祈念した後、西村会長の挨拶、井戸知事及び山口信行顧問（兵庫県議会議員）の祝辞、来賓紹介等の後、平成23年11月に黄綬褒章を受章された平井伸幸副会長及び同年5月兵庫県功労者表彰を受賞された小山恵生副会長並びに同年11月に旭日双光賞を受賞された当協会の会員で前兵庫県電気工事工業組合理事長の北口嘉一氏に協会から受賞祝い金が贈呈され、祝意を表しました。

続いて賛助会員の紹介の後、高田巖顧問（元神戸市会議員）の発声による乾杯で、和やかな懇親パーティに入り、出席者の交流を図りました。



新年名刺交換会



井戸知事祝辞

理 事 会

当協会では、この1年間に次のとおり9回理事会を開催し、業務の執行について審議し、決定しました。

平成23年度第8回理事会

- 1 開催日 平成24年2月21日（火）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - (1) 正会員の入・退会について
 - (2) 地区懇談会について
 - (3) 役員改選スケジュールについて
 - (4) 一般社団法人への移行について
 - (5) 第59回通常総会について
 - (6) 30周年記念事業について
 - (7) 県民局への訪問について
 - (8) 暴力団追放対策講習会の開催について
 - (9) 1級学科電気工事施工管理技術検定受験対策講習会について
 - (10) 建設産業関係団体協議会の設立及びセミナーについて
 - (11) パーティー券の購入について

平成23年度第9回理事会

- 1 開催日 平成24年3月12日（月）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - (1) 相談役の退任について
 - (2) 給与規程の改正について
 - (3) 一般社団法人への移行について



- (4) 30周年記念事業について
- (5) パーティー券の購入について
- (6) 事業所における防犯責任者の設置について
- (7) 日電協交付金について

平成24年度第1回理事会

- 1 開催日 平成24年4月18日（水）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - (1) 任期満了に伴う役員・委員の改選について
 - (2) 第59回通常総会の開催について
 - (3) 30周年記念事業について
 - (4) 年会費の納入依頼について
 - (5) 正会員の入・退会について
 - (6) 平成24年度事業計画について
 - (7) 安全衛生推進大会の開催について
 - (8) 第1回技術講習会について
 - (9) 事業所における防犯責任者の設置について
 - (10) 第60回電設工業展への高校生の招待について
 - (11) 技術・社会貢献評価項目の「社会貢献活動等」に関する要件について
 - (12) 衆議院選挙の推薦について

平成24年度第2回理事会

- 1 開催日 平成24年6月8日（水）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - (1) 正会員の退会について
 - (2) 県との行政懇談会の開催について
 - (3) 平成25年度自民党本部政調会・兵庫県・神戸市予算編成に対する最重点要望事項の提出について
 - (4) 安全衛生優良工事表彰について
 - (5) 経営講演会の開催について
 - (6) 公的イベントボランティア活動への対応につ

いて

- (7) 第60回通常総会及び名刺交換会の開催日程について

平成24年度第3回理事会

- 1 開催日 平成24年7月11日（水）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - (1) 県との行政懇談会の議題について
 - (2) 自民党政調会・兵庫県・神戸市予算編成に対する最重点要望事項の提出について
 - (3) 年会費未納者への対応について
 - (4) 政経セミナー等への参加について
 - (5) 会報誌の発行方針について
 - (6) 安全衛生優良工事表彰について

平成24年度第4回理事会

- 1 開催日 平成24年9月20日（木）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - (1) 会報No.32（2013.1.1）の発行について
 - (2) 優良従業員表彰について
 - (3) 県民局等訪問計画について
 - (4) 平成24年度予算補正及び25年度事業計画・予算編成作業について
 - (5) 自民党兵庫県連研修会、新生兵庫講演会の案内について
 - (6) 衆議院議員候補予定者への推薦依頼について

平成24年度第5回理事会

- 1 開催日 平成24年10月18日（木）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - (1) 会報No.32（2013.1.1）の発行について
 - (2) （公財）暴力団追放兵庫県民センターからの賛助会員加入の依頼について
 - (3) 衆議院議員候補予定者への推薦依頼について
 - (4) 兵庫県県土整備部との意見交換会の開催について

平成24年度第6回理事会

- 1 開催日 平成24年11月14日（水）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - (1) 平成25年度3委員会関係事業計画（案）について
 - (2) 永年勤続優良従業員表彰について
 - (3) 県との意見交換会の議題について
 - (4) 衆議院議員候補予定者への推薦依頼について
 - (5) 電業協会ホームページのリニューアルについて
 - (6) 第60回通常総会及び新年名刺交換会について
 - (7) 新年合同祝賀会の案内について
 - (8) 公明党新春年賀会の案内について
 - (9) 関西エコオフィス宣言事業所の新規登録について

平成24年度第7回理事会

- 1 開催日 平成24年12月13日（木）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - (1) 正会員の退会について
 - (2) 一般社団法人への移行認可申請について
 - (3) 第60回通常総会の議案及び総会、名刺交換会の進行について
（議案）
 - ア 平成24年度補正予算（案）
 - イ 平成25年度事業計画（案）
 - ウ 平成25年度収支予算（案）
 - (4) 地区懇談会の開催について
 - (5) 平成25年度1級学科電気工事施工管理技術検定受験対策講習会について
 - (6) 平成25年5月総会の開催日程について

委 員 会

1 総務委員会

総務委員会は、委員長以下8名（平成24年5月16日以降は7名）の委員で組織され、この1年間に8回の委員会を開催し、総会・理事会の開催計画、会員の入・退会、事業計画・予算の策定、行政懇談会・地区懇談会の開催、永年勤続優良従業員表彰の実施、会報の作成、渉外活動などについて計画案を策定するとともに、理事会で決定したこれらの事業を執行しました。



2 技術・安全委員会

技術・安全委員会は、委員長以下8名の委員で組織され、この1年間に6回の委員会を開催し、技術講習会、施設見学会、1級電気工事施工管理技術検定受験対策講習会、安全衛生推進大会の開催、安全



衛生優良工事表彰、災害対策等緊急体制の整備、こども110番の車パトロール事業、暴力団追放活動講習会、更には事業所における防犯責任者の設置などについて計画案を策定するとともに、理事会で決定したこれらの事業を執行しました。

3 経営委員会

経営委員会は、委員長以下8名の委員で組織され、この1年間に5回の委員会を開催し、インターシップの受入、電設工業展への工業系高校生の招待や高校生ものづくりコンテストへの特別審査員の派遣を通じた将来の人材育成事業、県管理河川等公共施設愛護活動の実施、経営講演会の開催、分離発注の陳情活動などについて計画案を策定するとともに、理事会で決定したこれらの事業を執行しました。



4 30周年記念事業特別委員会

30周年記念事業特別委員会は、平成24年1月に副会長を含めた5名の委員で設置され、5月16日に生田神社会館で举行された協会設立30周年記念事業について7回の委員会を開催し、記念講演会や記念祝典等で構成する事業計画案を策定するとともに、理事会でのオーソライズを受け、これら記念事業を執行しました。

県との行政懇談会

恒例の兵庫県との懇談会が、(一社)兵庫県空調衛生工業協会と合同して開催され、両協会から提案した要望項目等について、県の考え方が示されるとともに意見交換を通じ相互理解を深めました。

- 1 日 時 平成24年 7 月31日 (火)
13時30分～15時15分
- 2 場 所 ひょうご女性交流館 301号会議室
- 3 出席者 兵庫県県土整備部
 県土企画局長 古川 直行
 住宅建築局長 藤原 一
 県土企画局総務課建設業室長
 村上 武雄
 契約管理課長 高畠 利文
 契約管理課副課長
 上出 博一
 契約管理課入札制度係長
 戸井 康之
 技術企画課副課長
 杉浦 正彦
 住宅建築局設備課長 因 洋一
 設備課副課長 長尾 元嗣
 営繕課副課長兼設備課副課長
 大塚 幸司

設備課主幹

(環境・省エネ担当)

延原 慎治

営繕課主査 (設備課担当)

川野 忠尚

社団法人兵庫県電業協会

会 長 平井 伸幸

副 会 長 小山 恵生

副 会 長 前田 潮

副 会 長 山口 節夫

理 事 (総務委員長)

大川康太郎

理 事 (経営委員長)

合田 吉伸

理 事 (技術・安全委員長)

小坂 佳秀

理 事 立山 欽司

専務理事 北野 信雄

一般社団法人兵庫県空調衛生工業協会

神田 武 会長 ほか 8 名



懇談会会場



古川局長挨拶

○ 古川 直行 県土企画局長 開会あいさつ

本日は大変暑くお忙しい中、行政懇談会にご出席いただき、ありがとうございます。

兵庫県電業協会、兵庫県空調衛生工業協会の役員の皆様方には、平素より県有施設の設備工事の全般にわたり、県政の推進に格別のご協力を賜わり、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

東日本大震災から1年4ヶ月余りが経過しました。まだまだ本格復興には時間を要する状況ですが、本県では、現時点で、警察や市町職員を含めて中長期的に93名の職員を派遣し、そのうち県土整備部から11名の職員を宮城県・市町に派遣し、震災復興の支援に取り組んでいるところです。

今後、東日本大震災の本格復興に向けて、引き続き支援してまいりたいと考えています。

今年の夏も、暑い日が続いていますが、電力不足ということで、関西電力管内で、広域連合が10%の節電をお願いしているところですが、兵庫県自体は、当初の15%削減を目標に県自ら率先して節電に取り組んでいるところです。これから8月になると電力需要がピークを迎えることを考えると、省エネ・節電の取組について、更なる徹底をお願い申し上げます。

今年度の県の当初予算は、一般会計で2兆160億円で前年度比94.7%と、前年度から比べると絞った予算となっております。投資的経費は、このところ下降傾向でしたが、24年度については、1,997億円で前年比100.5%と、ほぼ前年並みを確保しました。

地方財政計画の規模抑制等で非常に厳しい財政状況ではありますが、県として必要な投資的経費は確保しなければならないと考えています。例えば、今年度も学校施設の耐震化に約60億確保し、大きな建設としては、尼崎・塚口統合病院やこども病院の建て替えといった、県立病院の整備事業を計画的に進めていくなど安全安心の基盤づくりに取り組んでおり、このため予算の確保に努めています。

最後になりましたが、本日、兵庫県電業協会、兵庫県空調衛生工業協会と兵庫県で、忌憚の無い意見交換をさせていただき、有意義な懇談会となることをお願い申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。

でございます。

○ 主要事業説明

- (1) 社団法人兵庫県電業協会の事業計画の概要について、平井会長から説明を行いました。(内容省略)
- (2) 一般社団法人兵庫県空調衛生工業協会の事業計画の概要について、神田会長から説明を行いました。(内容省略)
- (3) 兵庫県県土整備部住宅建築局設備課の所管事業のうち、平成24年度建設工事発注見通しについて長尾設備課副課長から説明が行われました。

○ 懇談会議題（意見交換）

1 公共事業等予算の確保について

(1) 建設関係公共事業予算について

東日本大震災の復興需要等により景気の持ち直しに若干の明るさは見えつつありますが、欧州の債務危機や中国等新興国の景気減速により景気の先行きは、予断を許しません。県におかれては、東南海・南海地震や風水害など多発する自然災害に対応する安全・安心の基盤づくりや地域活力の格差解消を目指す社会資本の整備に積極的に取り組まれています。県民の雇用や生活不安を払拭させるとともに、安全・安心の地域づくりを加速・継続していくためにも、平成25年度予算において建設関係公共事業予算の拡大について格別のご配慮をお願いいたします。

回答 技術企画課

兵庫県においては、東日本大震災の甚大な津波災害や、度重なる台風被害を踏まえ、防災対策に重点を置いて整備を進めています。津波対策については、本年「津波防災インフラ整備5箇年計画（仮称）」を策定し、計画的に進めていきます。また、頻発する台風災害等に対しては、河川の再度災害防止対策や、本年4月1日に施行した総合治水条例に基づく総合的な治水対策の推進に取り組みます。

平成25年度予算については、東日本大震災の復旧・復興事業の本格化により、国の公共事業関係予算は、さらに厳しい状況になることも考えられます。

新聞報道にあるような国の補正予算があれば、できる限り対応していくとともに、来年度予算についても国への提案等の機会を通じ、所要額の総額確保を強く求めています。

(2) 地球温暖化防止等環境対策予算について

本年5月5日から6月末まで、国内全ての原子力発電所が停止しました。7月1日から大飯3号機のみが機動されたが、今後、厳しい電力需給ギャップの発生が予想されています。

知事は、6月定例議会でも、緊急省エネ・節電対策が喫緊の課題であり、6月に節電対策推進本部を立ち上げ、節電目標の達成に向け総合的な対策を実施することとし、県施設の適正冷房、卓上型LED照明の導入、県施設省エネ改修等に取り組むと説明されています。県のこのような先見性を持った取り組みに感謝しているところですが、さらに

① 電力不足や、環境への不安等に陥ることなく、県民が安心して暮らせるよう、計画的な環境対策予算の確保をお願いいたします。

特に、節電・省エネ対策として、海外ではトイレの使用水量の規制を定めている国も多いと聞いています。欧米では6リットル、アメリカでは4.8リットル、ブラジル6リットル、中国9リットル等です。ちなみに、日本では規制のない府県が殆どで、13リットル水量が主流です。一方、便器メーカーでは、4.8リットル便器、最新では3.8リットル便器も製品化されています。

県におかれても、学校などの公共施設のトイレ、洗面所などに節水型機器を導入するなど、積極的で幅広い対策をお願いいたします。

② 電気設備及び空調衛生工事業界は、快適な居住空間と、工場などの生産活動に不可欠な施設を提供する使命を果たす一方で、設備の設計、施工、運転・管理から設備の廃棄に至る活動を通じて、化石エネルギーの消費、温室効果ガスの排出、石綿含有物の発生及びフロンガスの放出などを削減又は防止するという大きな社会的使命を負っていると考えています。

空調衛生工業協会においても、協会実践スローガンの1つとして、地球環境の保全・省エネ

ギー及び節電への取り組み、低炭素社会づくりを進めることを掲げています。

つきましては、これらの取り組みを進めるため、県民の省エネ機器導入等を誘因する地球環境の保全・省エネルギー化支援や、節電機器の取り付け支援など支援制度の拡充をお願いいたします。

回 答

設備課・農政環境部環境政策課・温暖化対策課

東日本大震災による電力需給逼迫への対応や再生可能エネルギー導入の一層の促進を図るため、平成23年度6月補正予算により、県内住宅への太陽光発電設備の設置に対する補助制度と融資制度を創設しました。

今年度の補助制度は、引き続き財団法人ひょうご環境創造協会が主体となって、既築住宅への設置について1kWあたり1万円、約2,200件程度、8,800万円分の補助金の交付を予定して平成24年4月27日から受付を開始し、淡路3市以外分については7月3日で予算枠が一杯になったため、約1,000件程度、4,000万円分の予算枠を追加して7月末まで受付を延長しています。

融資制度は、新築・既築を問わず、1設備あたり200万円以内、金利1%固定、10年以内の償還を条件とし、今年4月2日から平成25年3月1日まで受付を行っており、約2,000件程度の予算を確保しています。

さらに、新たに今年度から家庭用燃料電池コージェネレーションシステム設置に対する融資（約300件、条件は太陽光発電と同じ、200万円以内、金利1%固定、10年以内の償還）についても、平成24年5月1日から平成25年3月1日まで受付を行っています。

節水機器については、県施設ではこれまで手洗いへの節水こまやトイレへの節水栓の設置、さらには老朽化トイレの改修などに取り組んできたところです。新しい節水機器もできているようなので、今後も新築・改築時にあわせて節水機器の積極的な導入を進めていきます。

関連意見

太陽光発電などは、タイムリーで脚光を浴びているが、トイレは地味であります。しかし、各家庭でみんなが使うものであり、そういうところにも補助といったことを検討していただければ普及いたします。資料にも記載していますように、節水が節電につながるという認識を兵庫県から全国に発信していただけたらと考えます。

2 入札参加機会の拡大について

公共事業予算が漸減傾向にある中で、平成23年度の入札・契約制度の改善において、電気・管工事における入札参加条件とする技術・社会貢献評価数値の設定範囲の拡大が行われるなど経年的に制度の改善が行われ、全体的には地元業者の入札参加機会の確保に配慮されていることに感謝いたしております。

しかしながら個別に見ると、私ども、電業及び空調衛生工業の両協会会員企業のように歴史と伝統を培い、高い技術力の保持増進に努めてきた企業にとっては、年々受注機会が減少してきており、受注量の減少は、技術・技能を承継し設備工事の品質を維持していく上でも、業界として大きな懸念を抱いているところであります

かかる観点から、会員企業の一層の入札参加機会の確保を図るため、以下の項目について検討をお願いいたします。

- (1) 24年度工事の中で我々も注目していた県立尼崎・塚口病院の電気設備工事の入札に関して、企業体構成員に県内本社の構成員を含むとの項目が入っておらず、このような目玉の工事に参入することができなくなります。今後は工事を分割することを含め、必ず地元業者とJVを組むようにしていただくようお願いします。
- (2) Aランクの工事発注が少なく、特に郡部では極めて少ない状態にあります。そこで工事発注に当たっては、A、Bの発注割合についてバランスをとるという視点で発注を考えていただくようお願いします。

回 答 設備課

- (1) 従来から、大型物件の場合、可能な限り、工期

割、工区割の分割発注、工種別の分離発注を行っています。

今回の県立尼崎・塚口統合病院の第1期電気設備工事は工区分割が困難なため、特高・受変電自家発電設備工事を分離発注としましたが、WTO案件となりました。ご存じのように、WTO案件は、地域要件を設定できません。

現在、県ではWTO案件を除き、JV構成要件は、5億円未満では「県内限定」、5億円以上19.4億円未満では「その他構成員は県内限定」としています。

例えば、平成24年度建設工事発注見通しの中で尼崎・塚口統合病院の第1期空気調和設備工事及び、電気設備工事は終わっていますが、尼崎・塚口統合病院の第1期衛生設備工事、第1期特高受変電・自家発電設備工事については、その他構成員を県内限定としています。

また、従来に比較して、施工実績をかなり落として県内業者を入りやすい状態にしています。

- (2) 昨年度は、補正予算で数十件の太陽光発電設備工事の追加があり、Aランク、Bランクの発注割合の差が大きくなりました。今年度の工事発注予定件数は少ないですが、Aランク、Bランクの発注割合のバランスを考慮して、発注が出来るよう努力いたします。

3 分離発注の促進について

「分離発注」は、顧客との直接対話を通じて、設備工事の品質とコストとの関係が透明かつ明確で満足度の高いサービスを提供することが可能であり、顧客の投資資金を有効に活かすことができる最も合理的な発注方式であると考えています。

県におかれては、これまで分離発注の推進についてご配慮いただき、国においても、平成23年8月25日付の首長あての要請「公共工事の入札及び契約の適正化の推進について」などでご指導いただいておりますが、県内市町では遅々として進まない状況にあり、その要因は市町に設備の専門家がないため、発注体制が十分でないことが障害になっているものと思われます。

つきましては、市町に対して分離発注がスムーズ

に採用できるよう各般のご支援、ご指導をお願いします。

【参考】

（一社）日本電設工業協会の全国を対象にした平成23年度「市町村における分離発注の現状と今後の方針」調査結果（23年7月現在）によると、「原則分離発注」を採用した市町村が22年度と比べ若干増加するとともに、分離発注を100%実現している県が4県あるとの結果が示されています。兵庫県については、前年調査（原則分離発注採用市町は、県下41市町中16）と変化が無く、今後の方針も分離発注を予定しているところがありません。

【回答】 契約管理課・設備課

公共工事の発注については、発注者である各市町の主体的な判断によるものですが、各市町の入札契約担当課長が出席する兵庫県公共工事契約業務連絡協議会総会・研修会など、機会があるごとに、設備工事等に係る分離発注については、専門工事業者の育成に資することも踏まえつつ、その活用に努め、各市町の現状に合わせた分離発注を適切に実施するよう要請しています。

【関連意見】

原則分離発注としている市町でも、期間が短いとか、要員がいななど、いろんな理由をつけて、分離発注しない例が大半です。県が市町を集めて勉強会などにより、分離発注を指導していないのですか。

【回答】 設備課

仕様が変わった時などに技術の研修会も開催しているが、分離発注に特化した研修会は行っていないのが現状です。

【関連意見】

一括発注では、過去に、設計変更等を行った後に、年度末に補助金額に合わせ事業を追加で行うケースもあると聞いており、無駄が多いのではないのでしょうか。分離発注すれば、責任を持って良いものができると思っています。他府県でも分離発注が多いところもあると聞いていますが、国の方からの指導は

ないのですか。

【回答】 設備課

国の方からは、直近では、平成23年8月25日付で、総務大臣及び国土交通大臣連名で知事あて、「公共工事の入札及び契約の適正化の推進について」通知を受け、県から県下市町にも通知し、入札及び契約の一層の適正化が進むよう取り組んでいます。

4 技術・社会貢献評価項目の拡大について

（1）社会貢献評価対象項目の拡大について

社会貢献評価対象項目の拡大については、私どもの要望、意見等を取り入れ、加速度的に対象活動の拡大、評価点数の引上げ等に努力いただいております。会員企業も県の配慮に呼応して、年々社会貢献活動を活発化させてきた次第であります。人口減少社会を迎え、少子高齢化が一層進展していく社会状況の中で、両協会の会員企業も、一企業市民として、地域コミュニティの維持増進や社会資本のアセットマネジメント、或いは県政を先導するプロジェクトなどに一層貢献していく必要があると認識しております。

これまで「地域づくりのために資する重要な活動」については、但馬まると感動市やふれあいの祭典などへの参画活動等を行ってきたところでありますが、かかる点から両協会の会員が更に貢献できる活動があるのではないかと、例えば県民局等を通じ、協会会員企業が参画できる活動の掘り起こしを行うことも一つの方法ではないかと考えています。

そうした観点から「尼崎21世紀の森事業への参画」についても、県民局と連携して県土整備部の立場から加点对象としての見極めを行うことができないか検討をお願いします。

【回答】 契約管理課

県の技術・社会貢献評価項目の点数については、県政への協力の度合いを考慮し、配点しています。

ご提案の「尼崎21世紀の森事業への参画」については、技術・社会貢献評価項目の中でとらえると、二つの見方があると考えます。一つは、「県が管理する道路河川等の公共施設への愛護活動」で、これ

は事前に県民局に計画書を提出した上で清掃等活動していただいたものを加点するもので、もう一つの見方は、「但馬まるごと感動市」と同様、「地域づくりのために資する重要な活動」ということで加点することとしています。

どういった内容に該当するかについては、県民局に判断を任せていますので、よく相談するようお願いいたします。

(2) 環境対策等の評価について

空調衛生工業協会においては協会のスローガンにも掲げ、会長が「兵庫県フロン回収・処理推進協議会」での理事に就任し、オゾン層破壊の元凶であったフロン冷媒の適切な回収に努めるとともに、ひょうごエコフェスティバルなど県民への啓発活動に協力しています。

このように県が関連する環境対策を行う団体の会員となって、環境対策イベントに協力した場合などについて加点が出来ないかご検討をお願い致します。

また、自らの企業がエコアクション21に取り組むなどには評価を頂いておりますが、社屋などに屋上緑化や自然採光設備の導入、太陽光発電の導入など率先して県の施策に呼応して協力した場合などには評価をいただきたく併せて検討をお願いいたします。

【回答】 契約管理課

地球環境保護対策としての企業の取り組みについて、「ISO14000シリーズ」と「エコアクション21」は、国際規格、国内規格の違いはありますが、いずれも環境に対するPlan（計画）Do（実行）See（評価）という包括的な取り組みであり、その全体を審査し認証する制度の基準を満たした者を評価の対象としています

ご提案の取り組みは確かに重要な取り組みですが、その一部でしかないため、評価の対象にしていません。

5 社会保険未加入問題の対策について

電業協会では、本年8月3日に建設業室長から「社会保険未加入問題」をテーマに講演を受け、そこで研鑽をもとに業界として当事者意識を持って対処

していこうと考えており、空調衛生工業協会も同様の認識を持っています。それは、両協会とも未加入の会員企業はないが、協力業者、末端までの指導について大きな戸惑いがあり、会員企業の経営にどのような影響をもたらすのかが今日の課題と考えているからであります。

そこで、この問題に関して国の積極的な動きについての新聞報道でも触れられていますが、今後、国交省、県の対策が進捗していくに従い、具体的に業界、企業がチェック、留意していく点や協力業者等への指導のあり方等について、引き続きご指導いただきますようお願いいたします。

【回答】 建設業室

社会保険未加入問題への対策については、社会保険の加入の徹底により、技能労働者の雇用環境の改善や不良不適格業者の排除に取り組み、建設産業の持続的な発展に必要な人材を確保するとともに、事業者間の公平で健全な競争環境を構築することを目的として取り組むもので、今後5年を目途に建設業許可業者の加入率が100%となることを目指して行うものです。

実施にあたっては、行政・元請企業及び下請企業、建設労働者等が一体になって取り組むこととしており、その一つとして、行政・建設業者団体、その他関係団体による全国組織「社会保険未加入対策推進協議会」が設置されました。（平成24年5月29日設置）

近畿ブロックにおいても、関係者による地方協議会が、8月7日に開催される予定となっています。

なお、国においては、元請企業、下請企業がそれぞれ負うべき役割と責任を明確にし、建設業の取り組み指針となるべき「社会保険の加入に関する下請指導ガイドライン」を7月に制定し、11月から施行するとしています。

兵庫県電業協会、兵庫県空調衛生工業協会におかれては、取り組みの趣旨を十分ご理解いただき、下請企業の指導等に特段のご配慮をお願いします。

【関連意見】

7月の日本空調工事業協会の理事会でも大きな課題として議論しています。費用をどこに含めるかが

問題です。

「結局は、下請け業者等にまで廻ってこないのではないか。」「その結果、労働環境が悪化で若年労働者が業界に入職してこないのではないか。」「一人親方は保険加入の対象からはずれるので、増えるのではないか。」などの不安があります。

回 答 建設業室

国はこの4月から、工事の積算に法定福利費（社会保険料）が適切に反映できるよう、現場管理費率式の見直しを行っており、県の発注工事においても同様の方向で進めることとしています。法定福利費が、元請業者から下請業者にまで確実に支払われる方法を確保することが非常に難しい課題です。

今後、国から、それぞれの業界団体に法定福利費の確保の要請が行われると思います。

国は、社会保険未加入問題は、これまでからの懸案事項であり、この取り組みの後戻りはできません。前に向かって進んで行くという強い意思を示しています。

関連意見

社会保険加入を建設業許可の要件にするのですか。

回 答 建設業室

国土交通省の見解でも、現時点で社会保険加入を許可要件にすることはしないが、未加入企業に対しては、建設業の許可・更新時に指導し、再度指導しても従わないときは、保険担当部局に通告することとしています。その結果、保険担当部局から法令違反の通報があった業者については、建設業法に基づき他法令違反により処分することになるのではと考えています。また、経営事項審査においては、未加入企業の評価の減点幅を2倍にすることになりました。

6 基幹技術者の評価にかかる表彰制度の 拡充について

電気設備及び空調衛生工事業界におきましては、長時間労働、夜間勤務などの過酷な労働条件にもかかわらず、賃金が高水準に推移し、

新規入職者が減少しているために、今後、50歳以上の者が大きな割合を占めたまま就業者数が減少していくと予想され、技術・技能の継承が大きな課題となっています。

このため、業界として、労働環境、給与水準、労働条件等の改善を目指すとともに、現場で覚えるOJTの機会や仕事に対するモチベーションの確保に努め、電気設備工事業、空調衛生工事業が生涯を託せる産業となるよう努力していくべきと考え、基幹技能者の講習を適宜受講させるとともに、各企業での優秀な技術者・技能者に対して、高度な資格取得や創意工夫に対する表彰制度の拡充や待遇の改善など「やる気とやりがい」を喚起させる制度を進める必要があると考えています。

つきましては、県におかれても「優秀施工者賞」における表彰対象を現行の〔主任技術者又は監理技術者〕に基幹技能者も加えること、「人間サイズのまちづくり賞」の対象を電気設備・空調衛生部門を明確化すること等により、基幹技能者を評価し、モラルの向上を図れるような表彰制度の拡充をお願いします。

回 答 建設業室・都市政策課

「兵庫県優秀施工者賞」は、平成6年度に創設し、工事施工に直接従事し、建設活動の中心的役割を担う総合的管理能力を備えた監督、職長、作業長等の監理技術者あるいは主任技術者を対象に行っています。

受賞者の審査は、技術力、施工実績、後進の指導・育成の取り組み、工事における安全衛生への取り組み、その他特筆すべき事項なども総合的に勘案し行っており、監理技術者あるいは主任技術者の方で基幹技能者に認定されている場合については、技能・技術が優秀である者として一定の評価をして加点しています。

なお、国においては「優秀施工者国土交通大臣顕彰」があり、「ものづくり」に直接従事している建設技能者の中から特に優秀な技能・技術を持った者などが表彰されています。これは、建設マスターと言われているものです。

県と国で表彰対象が違っているので、これらの表

彰制度を効果的にご活用いただき、技術者の士気高揚を図っていただければと考えております。

また、「人間サイズのまちづくり賞」は、「まちづくり基本条例」の基本理念である、県民の参画と協働による安全・安心、魅力あるまちづくりの実現に、顕著な功績のある建築物や活動団体等を表彰する制度です。各部門のうち「まちなみ建築部門」では、景観や環境に配慮された建築物や魅力あるまちなみ等を表彰しています。この部門では、省エネルギーや低炭素社会づくり等の観点も表彰対象の要素であり、創意工夫された電気設備・空調衛生設備についても、重要な審査基準のひとつとして、審査を行っております。

7 電業協会と電気工事工業組合並びに空調衛生工業協会と管工事業協同組合連合会の位置づけについて

両協会は発足時から、入札に関して県の指導や県との意見陳情等を通じて永年県との交流を深め、また、時代や環境の変化に対応した社会貢献活動にも積極的に取り組み、その評価を入札参加条件にも反映していただいています。

そんな中で、電業協会と類した電気工事工業組合、空調衛生工業協会と類した管工事業協同組合も最近同様な社会貢献活動を実施し、入札参加条件の加点対象になっていると聞いています。両協会ともこの2つの組合の組合員になっている店社も多く、戸惑いが出てきているのが実情であります。

また、会費の関係から当協会を退会しようとする動きもあります。

電業協会と電気工事工業組合は、同じ電気工事を営む店社の業界団体、また空調衛生工業協会と管工事業協同組合連合会は同じ空調衛生工事を営む店社の業界団体ではありますが、許認可や指導監督する行政部門が異なっております。

このため、入札参加条件等の関係（社会貢献活動）は、「兵庫県電業協会」と「兵庫県空調衛生工業協会」に一本化できないか検討していただきますようお願いいたします。

回答 設備課

地震、風水害等により庁舎や県立病院等県有施設の電気・空調・衛生等の設備関係に作動不良等の機能障害が発生した場合には、対策本部業務や救急活動が円滑に推進できるよう、設備機能について緊急に復旧を図るため、社団法人兵庫県電業協会、一般社団法人兵庫県空調衛生工業協会、兵庫県管工事業協同組合連合会と平成18年12月1日付けで「災害時機能復旧対策業務応援協定」を締結しています。

また、同様の協定を兵庫県電気工事工業組合と平成21年12月18日付けで締結しているところです。

今後も、防災の観点から出来るだけ多くの団体と協定を締結したいと考えています。

一方、県では「建設工事入札参加者に係る資格格付要領」に基づき、「県と災害応急対策業務に関する協定締結」している団体に所属している会社等には、社会貢献評価数値を加点しているところです。但し、一つの会社が複数の団体に加入していても評価数値は同等で加点されるものではありません。

他の社会貢献項目については、各事業者が行った活動を評価するものであり、どこの団体に属しているかは関係しませんが、現時点で設備課に協定以外の社会貢献活動をご報告いただいているのは、兵庫県電業協会と兵庫県空調衛生工業協会の2団体のみです。

8 その他

追加意見

先日、電子入札に於いて、担当者が予告された時間にパソコンの前で待っていたが、夕方になって延期され、また、延期された期日にパソコンの前で待っていると、また延期されるということがありました。

回答 契約管理課

7月3日頃から、県が導入している電子入札システムのネットワークで通信障害が発生している為ではないかと考えられます。

○ 藤原 一 住宅建築局長 閉会あいさつ

本日は、電業協会及び兵庫県空調衛生工業協会の

役員の皆さんと多岐の項目にわたり情報交換ができ、生の声を聞かせていただき感謝申し上げます。

本日の課題にもなった、節電・省エネ対策等につきましては、長年にわたって培ってこられた両協会の技術と経験を活かされるよう県としても対策に積極的に取り組んでまいります。

分離・分割発注につきましては、これからもできる限り行ってまいります。

また、社会貢献評価につきましても、両会の皆様

が各地域において、いろいろな地域づくり活動を行っていただいていますことにこの場を借りて感謝申し上げますとともに、その活動が適切に評価されるように努めてまいります。

次回は、12月頃に「意見交換会」という形で開催したいと考えておりますので、今後とも引き続き忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。



意見交換



藤原局長挨拶

地球がつくった炭酸水。

GEROLSTEINER®
NATURAL MINERAL WATER



ゲロルシュタイナー
天然炭酸水



のんだあとはリサイクル
サッポロ飲料株式会社

地 区 懇 談 会

会長、副会長など協会役員出席の下、協会を取り巻く環境や運営方針を説明し、会員から直接協会運営に対する意見・要望をいただくと共に、会員間の交流を図るため、2月から3月にかけて県下各地区で懇談会が開催されました。

事務局から、①協会再生計画の推進状況②兵庫県

の入札・契約制度と社会貢献活動について③新社团法人への移行について④平成24年度の事業展開について説明を行うとともに、協会運営に対する意見、要望について意見交換を行いました。

それぞれの開催状況は次のとおりです。

地区名	開催日時	開催場所	出 席	出席役員等
神 戸 (県外本店を含む)	平成24年 3 月16日(金)	神戸市男女共同参画センター	20	会長、平井副会長、専務理事
阪神南・北	平成24年 2 月27日(月)	尼崎市はなみずき	14	会長、専務理事
東・中・西 播 磨	平成24年 3 月 5 日(月)	姫路商工会議所	22	会長、小山副会長、専務理事
北 播 磨	平成24年 3 月29日(木)	滝寺荘会議室	11	平井副会長、専務理事
但 馬	平成24年 3 月30日(金)	白菱電気設備(株)会議室	6	会長、専務理事
丹 波	平成24年 3 月19日(月)	兵電工丹有支部会議室	4	前田副会長、専務理事
淡 路	平成24年 3 月26日(月)	兵電工淡路支部会議室	3	



神戸地区懇談会



阪神南・北地区懇談会



東・中・西播磨地区懇談会



北播磨地区懇談会



但馬地区懇談会



丹波地区懇談会

これが労災上乘せの集大成！！ A I Uの労働災害保障プラン

ハイパー任意労災（業務災害総合保険）

もし、労災事故が発生すると！
企業経営者が「安全配慮義務」を問われます!!

「でも労災保険があるから」と安心していませんか？
それだけでは補償が足りない場合があります!!

現在ご加入のものと比較してください！！

●この保険の詳細は、弊社または取扱代理店にお問い合わせください。

例えば

- ☐ 安全な作業場を確保していた
- ☐ 管理、命令、指示は適切であった
- ☐ 適切な日程、工程で作業していた
- ☐ 想定できる危険に対して完璧な予防を行っていた

すべてYESなら
労働基準法上の災害補償
義務を果たせます。

ひとつでもNOがあると・・・
民事上の責任発生！！
訴訟問題に発展する場合があります！！

取扱代理店 株式会社ベストインシュアランス

〒650-0033 神戸市中央区江戸町 94 番地 2 ファーストプレイスユニオンビル 5 階

引受保険会社 AIU保険会社 神戸支店(エイアイユーインシュアランスカンパニー)

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-3-3 神戸ハーバーランドセンタービル 16 階

A70-408

TEL 078-332-7171 FAX 078-332-6887

TEL 078-360-2401 FAX 078-360-9105

行政機関への協会活動PR

当協会活動を県民局長や土木事務所長など行政機関に周知するため、協会幹部や地区会員が県民局を訪問し、情報交換を行いながら協会活動のPRを行っています。

平成24年度においては、11月に中播磨県民局を訪問し、特に県行政と関連の深い次の項目について、県民局幹部の理解を求めました。2月以降の今年度内に、他の県民局への訪問も予定しています。

- ① 県との防災協定の締結に基づく機能復旧対策業務応援
- ② 県管理道路河川等愛護活動やインターンシップの受け入れ、こども110番の車パトロール事業及び事業所防犯責任者の設置など社会貢献活動実施状況の報告
- ③ 分離発注の推進

訪問日	県民局対応者	協会側訪問者
平成24年11月27日	玉田 尋三 中播磨県民局長 中村 誠 姫路土木所長	会長、小山副会長、中谷理事、専務理事



中播磨県民局長訪問

永年勤続優良従業員表彰

永年勤続優良従業員表彰は、会員企業に永年にわたり勤務され、勤務成績良好で他の模範となる者を対象に表彰する制度です。

表彰の対象者は、当協会の会員企業に勤務する者（個人にあっては事業主及びその配偶者、法人にあっては役員を除く。）で次の3つの条件を満たす者です。

- ① 勤務成績良好で、他の模範と認められる者
- ② 平成23年10月1日現在において、満45歳以上で、かつ、会員企業に25年以上継続して勤務する者
- ③ 正社員又は週30時間以上勤務の非常勤の従業員
各会員から推薦のあった候補者を選考委員会及び

理事会で厳正に審査の結果、次の10名を受賞者として決定し、平成24年1月16日（月）第58回通常総会において西村会長から表彰状と記念品が授与されました。

（受賞者）

岡村 勉（尼崎電機㈱）、吉田清子（オーケイ電設㈱）、天野 進（㈱北山工商）、村上淳介（近畿興業㈱）、角田 薫（庄野電気工事㈱）、上坂 巧（白菱電気設備㈱）、今村慎一（西部電工㈱）、江本 弘（ダイトウ電気工事㈱）、志水洋二（藤井電機㈱）、片山一夫（ミナト電気工事㈱）の各氏



表彰式

技術講習会



講習会風景

経験豊富で知識・技能に優れたベテラン職員がいずれ職を去っていくことが予測され、次代の電気設備業界の中核を担う人材育成が求められている中、基礎知識・技術から最先端技術までニーズに即した講習を行い会員の技術力のアップを図るため、計画的に講習会を開催しています。

平成24年度も（一社）日本電設工業協会（以下「日電協」という。）の人材育成事業の補助メニュー等を活用して2コース計画しており、今回の第1回目は「省エネルギー・新エネルギー関連」をテーマとして開催しました。

講習会は平成24年7月27日（金）午後1時30分から5時まで神戸市中央区の兵庫県中央労働センター201会議室で行い、講師は日電協から派遣された(株)

中電工技術本部電気技術部係長（技術担当）の伊東仁氏にお願いしました。

講習は、伊東講師自らが作成されたパワーポイントにより行われ、省エネルギー・新エネルギー関連について多岐に渡る様々な資料を駆使しながら、その背景や概要、着眼すべきポイント、具体の効果測定や評価の方法、今後の動向など非常に幅の広い観点から説明が行われました。

会員企業から参加のあった24名の受講者にとって、日常仕事に追われる中で、改めて省エネルギー・新エネルギーについて集約的、総合的に研鑽を行っていただく場となりました。

なお、第2回目は、2月に開催が予定されています。



開講挨拶



伊東講師の講義

施設見学会



御座候館製造ライン



大天守保存修理工事



参加者一同

電気設備関連施設や製造工場などの見学を通じて、最新の技術情報を習得するとともに、会員間の交流の促進を図ることを目的として、技術・安全委員会主催による施設見学会が10月31日（水）総勢29名の参加により開催されました。

今年は原子力発電所の今後の稼働が不透明な中、発電燃料の主力燃料として大きな役割を果たす天然ガスについて、その加工、貯蔵、流通の流れや性質を改めて理解することを中心にコース立てをし、併せて食品製造工場などを視察・見学しました。

最初に J R 姫路駅近くの(株)御座候の館等の製造工

場を訪問し、回転焼きに使用される餡が大変衛生的な環境の中で大量に生産される工程を視察し、食品業界にも目を向けていく必要があるとの会員の声が聴かれました。

次に、国宝姫路城で約5年かけて行われている大天守保存修理工事を、普段は見る角度から間近に見学しました。この修理は、かけがえない世界文化遺産を次の世代に引き継いでいこうとする壮大な取り組みであることを参加者一同、改めて理解を深めたところです。



LNGのレクチャー



冷却実験



神戸ワイナリー

午後からは、見学会のメインである姫路市白浜町の大阪ガス姫路ガスエネルギー館姫路製造所を訪問し、2時間にわたってレクチャーや展示施設の説明を受け、また液体冷却の実験等を通じてガスエネルギーについて学ぶとともに、製造所内のタンクの配置・製造所の敷地の構造を見学しました。これによりLNGの輸入経路、LNGを気化させる仕組み、

熱量調整、付臭等一連の工程を理解し、事業所、家庭に送られてくるプロセスを改めて認識する機会となりました。

最後は、神戸ワイナリーを訪れ、ワインの試飲を楽しみ、醸造施設の見学などを行い、視察見学会を終えました。

1 級学科及び実地電気工事施工管理技術検定受験対策講習会



開講式あいさつ



講習風景

国土交通省では、建設工事に従事する者の技術力の向上を図るため、建設業法第27条に基づく技術検定が実施されています。合格率の低いこの検定試験に対応するため、当協会では6年前から1級学科及び実地電気工事施工管理技術検定受験対策講習会を

実施していますが、今年も従業員の皆さんが参加しやすいよう下表のとおり土曜、日曜に開催し、受験を支援しました。なお、今回も、会員外に開放し、兵庫県電気工事工業組合会員からも相当数の参加がありました。開催状況は次のとおりです。

(学科)

講 習 日	内 容	場 所	人 員	講 師
第 1 回	4 月 7 日(土)	兵庫県中央労働センター 201号 (但し、 4 月 8 日 は兵庫県民会館)	19名 (会員 12名)	パナソニックエコソリューションズ創研(株) 田中 英二氏 湯川 正氏
第 2 回	4 月 8 日(日)			
第 3 回	4 月14日(土)			
第 4 回	4 月21日(土)			
第 5 回	4 月28日(土)			
第 6 回	4 月29日(祝)			

(実地)

講 習 日		内 容	場 所	人 員	講 師
第 1 回	9 月 8 日(土)	試験傾向、用語解説、工程表解説 記述問題（解説と注意点）	兵庫県中 央労働セ ンター 201号	25名 (会員 16名)	学科と同じ
第 2 回	9 月 15 日(土)	記述問題（添削）、安全・行程管理			

講義はいずれも午前 9 時から午後 5 時まで



講習風景



田中講師による講義



日本電設資材株式会社

<http://www.n-ds.co.jp>

兵庫グループ

神戸支店	〒657-0852 神戸市灘区大石南町 3 - 8 - 1 5	TEL078-882-8701 (代)
姫路支店	〒670-0940 姫路市三左衛門堀西の町 2 1 9	TEL079-224-8321 (代)
兵庫営業所	〒652-0813 神戸市兵庫区兵庫町 2 - 1 - 3 5	TEL078-682-3831 (代)
加古川営業所	〒675-0039 加古川市加古川町粟津字富家 4 8 2 - 1	TEL079-426-9500 (代)

安全衛生推進大会の開催



平井会長挨拶



会場風景

平成24年7月13日（金）午後2時から兵庫県農業共済会館7階大会議室において、平成24年度安全衛生推進大会が会員約120名の参加のもと、盛大に開催されました。

この大会は、会員の安全活動を強力に推進し、会員及び従業員の安全意識の高揚と安全活動の定着を

図るため毎年実施しているものです。

まず当協会関係物故者並びに建設業殉職者の冥福を祈り黙祷を捧げた後、平井会長の挨拶に続いてご来賓の兵庫労働局労働基準部高尾安全課長及び兵庫県県土整備部住宅建築局因設備課長からご祝辞を頂戴しました。



兵庫労働局高尾課長挨拶



兵庫県因課長挨拶

続いて、小坂技術・安全委員長から安全衛生優良工事表彰の選考経過について報告があり、表彰式に移りました。表彰は、国・県・市等から直接受注し、平成23年度中に完成した県内の工事で、安全管理体制が確立して有効に運営され、工事期間中無事故・無災害で、かつ、施工技術が優秀なものを対象として、13名の現場代理人に平井会長から表彰状及び記念品が手渡されました。

引き続き、出席者を代表して早水電機工業株式会社の岡本壮平さんが安全宣言を行い、山口副会長の閉会のことばで第1部は終了しました。



表彰状授与



安全宣言

休憩時間を挟んで開催された第2部の安全講話では、宇田成徳氏から会社での従事経験をもとに、労働安全衛生の本質に触れていただくとともに、「目から鱗の創造論」と題して数多くの発明等を生み出

すこととなった創造力をいかに涵養していくか、具体的な話を交え、大変分かりやすく講演いただきました。



安全講話

平成24年度 安全衛生優良工事表彰受賞者名簿

	施工会社名	受賞者 (現場代理人)	工事名	発注者名
1	早水電機工業(株)	おかもと そうへい 岡 本 壮 平	神戸大学(ポートアイランド3)統合 研究拠点施設(Ⅲ期)新営電気設備工事	国立大学法人 神戸大学
2	コガセ工業(株)	ふくい かずみち 福 居 一 道	港島トンネル延伸照明設備工事	神戸市
3	旭電気工業(株)	きし たかのぶ 岸 孝 信	神戸総合運動公園野球場照明設備他改 修工事	神戸市
4	杉本電気工事(株)	よねくら よういち 米 倉 洋 一	真野ふれあい住宅他緊急通報システム 改修工事	神戸市
5	ミナト電気工事(株)	よしだ ひろゆき 吉 田 宏 之	御影中学校耐震補強他電気設備工事	神戸市
6	西部電工(株)	きく なみ けんいち 菊 浪 健 一	姫路市立高岡幼稚園園舎改築(電気) 工事	姫路市
7	東洋電気工事(株)	いおか まこと 井 岡 誠	取り付け誘導路増設に伴う航空灯火整 備工事	神戸市
8	尼崎電機(株)	どい とくお生 土 井 得 生	園田東中学校改築工事のうち電気設備 工事	尼崎市
9	日光電気工事(株)	たべ とし はる治 田 部 利 治	(仮称)デザイン・クリエイティブセ ンターK O B E整備電気設備工事	神戸市
10	山口電気工事(株)	やまぐち ひろし寛 山 口 寛	県立阪神地域新設高等特別支援学校 (仮称)校舎棟電気設備工事	兵庫県
11	中佐治電工(株)	あずま のぶ ひろ宏 東 信 宏	中継ポンプ機能強化対策工事(大路地 区その1)	丹波市
12	東和電気工事(株)	よこ た ただ かず和 横 田 忠 和	大塩処理区災害復旧(電気設備)工事	姫路市
13	庄野電気工事(株)	かく だ かず あき晃 角 田 一 晃	平成23年度街路灯(L E D)取替工事	伊丹市

以上 13名

こども110番の車パトロール事業、事業所防犯責任者設置事業

兵庫県では地域社会を構成する様々な主体が連携を深め、犯罪の防止活動への取り組みをはじめ安全で安心して暮らすことができる地域社会づくりを目指して「地域安全まちづくり条例」が平成18年4月1日に施行されました。

当協会は、積極的にこの活動に取り組んでいこうと平成20年3月には、こどもに対する凶悪又は卑劣な犯罪が多発している現状を考慮して、「こども110番の車」パトロール事業を発足させました。

協会独自でデザインしたステッカーを作成し、会員企業の事業用車輻に貼付してパトロールしていた

だくもので、現在131社が参加し、332台をパトロール車として登録しています。

更に会員企業が「企業市民」として地域安全まちづくりに対する貢献が期待されているとの呼びかけのもと、平成24年4月から「事業所における防犯責任者」の設置を進めてきました。現在29の会員事業所に防犯責任者を設置しています。

また、「ひょうご地域安全まちづくり推進協議会」にも参画して、行政機関や他団体と協調した運動を展開し、犯罪のない安全で安心な兵庫県の実現に努めています。



こども110番の車ステッカー



防犯責任者設置事業所ステッカー

株式会社 SDS

〒672-8071 姫路市飾磨区構4丁目216
TEL(079)235-7555 FAX(079)234-3675
E-mail:r.noda225@sds.swcc.co.jp
URL:http://www.swcc.co.jp/sdt/

本社 〒105-0014 東京都港区芝2-29 14
一星芝公園ビルディング6F
TEL(03)5440-4701 FAX(03)3452-5258

暴力団追放対策講習会



(2月23日)



(11月20日)

会場いっぱいの講習会参加者

近年、暴力団排除機運の高まりと強力な取締り等によって暴力団は社会から孤立しつつあり、平成23年4月1日には兵庫県で暴力団排除条例が施行されました。

このような中で当協会としても、暴力団の現状をよく認識した上で、不当要求等に屈しない対応のあり方などを研修するため、平成24年においては暴力団追放対策講習会を2回開催しました。

まず1回目は、2月23日姫路市内において会員企業から115名の参加を得て開催し、DVD「みんなの力で」により不当要求の具体事例を認識した上で、公益財団法人暴力団追放兵庫県民センター専任講師の後藤光男氏から「暴力団の現状と不当要求への対

応要領について」と題して講演いただきました。

2回目は、11月20日神戸市内において会員企業から110名の参加のもと開催し、DVD「断絶」により企業の取引から反社会的勢力を排除するための企業統治のあり方を学び、同財団専任講師の上野正治氏から不当要求にどう対応していくかなどについてレクチャーを受けました。講師お二人とも県警のOBで、暴力団対策の豊富な経験からくる臨場感のある講義をしていただき、参加者は熱心に聴き入りました。

なお、当協会は、同財団の事業趣旨に賛同し、10月に賛助会員に入会しました。



後藤講師講演



上野講師講演

インターンシップの受け入れ

高校生の教育活動の一環として、産業の現場などで学習内容や進路に関連した就業体験を実施し、生徒が目標を持って主体的に進路選択ができるようにするとともに、生徒に夢を実現する力を身につけさせ、電気設備業界の次代を担う人材を育成するため、平成12年度からインターンシップの受入を行っています。

本年度は、次のとおり兵庫県高等学校教育研究会工業部会電気系部会長（県立兵庫工業高校長）から依頼のあった5校、42名を会員会社21社で受け入れ、生徒は各社の指導のもと、総務、設計、積算、現場管理、現場作業などの業務を体験しました。

1 県立相生産業高等学校 電気科

ア 人 員 2年生3名

イ 受入期間 平成24年8月1日（水）
～3日（金）の3日間

ウ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
神榮電機設備 工業株式会社	川口 真彦、根本 昇治、 榎本 昂司
1社	3名

エ 生徒の感想

8月の1日から3日までの計3日間のインターンシップで、私は相生市の神榮電機設備工業にお世話になりました。

1日目、最初に会社の説明を受けました。続いて取り扱う器具の説明、押しボタンスイッチでモーターを制御する仕組みやそのシーケンス等を詳しく教えていただきました。特に電磁開閉器を使った第一種電気工事士の問題は、実物を用いてとても丁寧に教えていただきました。午後からは市内の水産市場にて高圧の引き込み電柱を立てる作業の手伝いをさせていただきました。電柱に碍子等を取り付けるアームを取り付けました。長さや幅を調整してボルトを締めていきました。

2日目はあらかじめ掘ってあった穴に電柱を立てる作業でした。クレーンで電柱を釣り上げ、穴に立ててコンクリートを埋めて固定するという、文章にすると簡単そうな作業ですが、実際にやってみるとかなり大変な作業でした。まず電柱を穴に立て、セメントと土を少し混ぜたものと水を穴と電柱の隙間に入れ、先の平らな重たい鉄の棒で突いて空気を抜いていきました。この作業が結構大変で私たち3人はすぐにへばってしまいました。ある程度埋まってきたら今度は電柱の傾きを直しながら埋めていきました。途中からは人の力ではびくともしくなりクレーン車で引っ張りながら修正していきました。

そうして立てた電柱にバケット車に乗って高圧負荷開閉器を取り付けました。これもメジャーで測りながら前後左右を調整して取り付けました。

3日目の午前中は前日に続き電柱に電線管を取り付けました。私と榎本君の2人で大きな電線管をカップリング接続しましたが、かなりの時間がかかった上に接続部がゆがんでしまったりして、とても難しい作業でした。しかし作業員の人は一人でバケット車の上であっという間に完成させていて、さすがにプロは違うなと思いました。午後は私の家の近くの川にあるポンプの修理に行きました。このポンプは水圧検知式のもので検知器が故障して常にポンプが作動してしまっていたので、検知器を交換修理しました。



この他にも様々なケーブルや電線管の実物やキュービクルの配線などを見せていただいたり、電柱にはA柱からC柱まであって中の鉄筋の量が違うことなど、学校では習えないような知識や技術を体験することができました。私はこのインターンシップに参加することができて本当に良かったと思います。(根本 昇治)

2 県立豊岡総合高等学校 電機応用工学科

ア 人 員 2年生4名

イ 受入期間 平成24年8月6日(月)

～8日(水)の3日間

ウ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
白菱電気設備株式会社	二位 浩平、宮前 和希
藤井電機株式会社	成田 一希、帆前 稜平
2社	4名

エ 生徒の感想

私はこの藤井電機でのインターンシップに参加するまで職業体験をしたことがなかったため、インターンシップが楽しみであり不安でもありました。会社の人はどんな人達だろうか、失敗や怪我をしたりしないだろうか、言葉遣いは大丈夫だろうかなどありましたが、今になれば無用の心配でした。

初日の事務所でのテレビ会議では、自己紹介をモニターに向かって話すのだから大丈夫と思っていましたが、大きなテレビから各支部の藤井電機の社員の方々が映っていたので、思っていた以上に緊張しました。また、朝礼打合わせ後には会社の成り立ち等をビデオで勉強しました。藤井電機株式会社は昭和23年に創業してから現在も成長し続けていると考えると、ただ凄いという言葉しか出てきませんでした。

現場での作業では掃除、電柱の解体、開口、塗装、床配線の準備、天井配線の準備、電線を器具に取り付けるなどいろいろな体験をすることができました。この現場独特の何ともいえない雰囲気も含めて学校では体験できないことです。また、現場では様々な業種の人が図面を見ながら指示し



ているところを見ると、さすがプロフェッショナルだなあと感じました。私は今回のインターンシップでとても大切なことを学びました。以前は清掃や荷物運びという作業の何が電気工事なのか理解できませんでしたが、下準備から後始末という作業全部含めて電気工事であるということを理解できました。

今回の就業体験で自分自身を一つ磨くことができ、ちょっとだけ成長できたのではないかと満足しています。(帆前 稜平)

3 県立龍野北高等学校 電気情報システム科

ア 人 員 2年生8名

イ 受入期間 平成24年8月22日(水)

～24日(金)の3日間

ウ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
尼崎電機株式会社	岡本 渉、亀野 利信
株式会社北山工商	鶴田 港土、藤田 悠
西部電工株式会社	濱田 雄太、三林 崇宏
大拓電気株式会社	上田 崇弘、小幡 力也
4社	8名

エ 生徒の感想

今回インターンシップで西部電工に行かせていただきました。このインターンシップでは普段ではできない体験や見ることでできないものを見ることができました。私が一番思い出に残っているのはものづくり大学の工場見学です。この工場見学では工事現場を見させていただきとてもう



れしかったです。現場では電気工事の配線などをしており私も将来こういう仕事をしたいと思いました。

最初は、とても不安だったけど周りの社員の方々がとても優しくしてくださってとてもうれしかったです。この三日間はとても短く感じました。とても楽しかったです。本当にありがとうございました。（濱田 雄太）

4 県立尼崎工業高等学校 電気科

ア 人 員 2年生3名

イ 受入期間 平成24年8月22日（水）
～24日（金）の3日間

ウ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
庄野電気工事株式会社	阿久 翔、白石 尚也
山口電気工事株式会社	吉田 康平
2社	3名



エ 生徒の感想

今回インターンシップで庄野電気工事に行かせていただき、三日間いろいろな体験をして普段の学校生活では体験できないことが多く、初めは何度も失敗したり質問をして作業を止めてしまったことがありました。

でも、普段の生活の中で何気なく使っているものは、一から電線を引き入れたり壁に断熱材を吹き付けたり、たくさんの人と作業で作られていることを知りました。

インターンシップの三日間はあっという間で、期間が一週間あればもっといろいろなことを知ることができたと思います。それでも、この三日間の出来事は自分にとって貴重な体験になりました。インターンシップに参加してよかったと思います。（白石 尚也）

5 県立兵庫工業高校 電気工学科

ア 人 員 2年生24名

イ 受入期間 平成24年10月24日（水）
～26日（金）の3日間

ウ 事前安全講習会 平成24年10月11日（木）
県立兵庫工業高校

エ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
旭電気工業株式会社	宗佐田直樹、山崎 将輝
株式会社カデックス	岸田 拓帆、小山 拓郎
新電機工業株式会社	志水 裕和、田中 裕己
杉本電気工事株式会社	井之脇晃世、霧島 誠治
西部電気建設株式会社	岩谷 勇輝、長谷 亮佑
ダイトウ電気工事株式会社	熊岡 隼斗、中原 力
有限会社高原電工	入江 耀大、山本 樹
東洋電気工事株式会社	加藤 俊介、新森康ノ介
船木電気工業株式会社	今村 猛王、岩下 一也
ミナト電気工事株式会社	伊勢 貴司、笹本 晃央
株式会社三宅電気工事	新地 拓也、完山 大輔
ワタナベ忠電株式会社	平 将利、山崎 翔大
12社	24名

オ 生徒の感想

3日間で一番学んだ事は、安全の大切さです。

安全については事前安全講習会やお話を聞かせていただき理解したつもりでしたが、初めて本当の現場を見た時、想像以上の意識の高さに驚きました。危険を伴う所ばかりで、「だから安全第一を徹底しているのだ」と分かりました。また、危険を伴う仕事をする人がいるおかげで、何不自由なく生活が出来ている事に気付きました。それから毎日生活する中で多くの人に支えられて生きている事に自然と感謝するようになりました。この事に気付けた事も会社の方々のおかげです。本当にありがとうございました。(岸田 拓帆)



Panasonic
ideas for life

ガマン節電から、
楽しむ節電へ。

電気設備をつなげることで、
エネルギーを「見える化」して「自動制御」。
スマートHEMSが、「快適節電」を実現します。



つながる、ひろがる、進化する暮らしに
『スマートHEMS』

- ◎エアコンがたくさん電気を使っている時、IHクッキングヒーターが火力を自動セーブ
- ◎昼間のうちに太陽光発電の余剰電力を使って、エコキュートを自動で沸き増し



はじめよう! パナソニック『スマートHEMS』

※AISEG用エネルギー計測ユニットが必要です。●上記は概念図であり実際の機器構成ではありません。
◎AISEG対応機器(IHクッキングヒーター・エアコン・エコキュート)対応機種についてはホームページをご確認ください。

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 近畿電材営業部 神戸電材営業所 〒650-0031 兵庫県神戸市中央区東町126 住友生命シルクセンタービル4F TEL.078-333-1006
近畿電材営業部 姫路電材営業所 〒670-0055 兵庫県姫路市神子岡前1-2-1 神子岡エイトビル4F TEL.079-291-0228

パナソニック スマートHEMS 構築

高校生ものづくりコンテスト審査員の派遣

兵庫県高等学校教育研究会工業部会電気系部会では、毎年工業高校生徒の「ものづくり」に対する意識を高め、電気・電子の技能の向上を図るとともに、専門家からの講評や、プロとしての心構えを学び、今後の電気・電子教育の資質の向上を目指すため、「電気系ものづくりコンテスト」を開催しています。

今年度は、次の日程で第11回目の兵庫県大会が開催されましたが、当協会では、人材育成事業の一環として、このものづくりコンテストを支援するため、特別審査員を派遣しました。

- 1 開催日時 平成24年7月14日（土）
- 2 開催場所 兵庫県立龍野北高等学校
- 3 大会参加者 15名

- 4 派遣審査員 合屋 和久 氏
（西部電気建設(株)工務部次長）

今村 慎一 氏
（西部電工(株)工事課長）

- 5 立会者 合田 吉伸 経営委員会委員長

- 6 審査結果（電気工事部門）
優勝 長澤 克弥 君
（兵庫県立龍野北高等学校電気情報システム科3年）

準優勝 岩松 諒 君
（兵庫県立姫路工業高等学校電気科3年）

第3位 西川 晃弘 君
（兵庫県立小野工業高等学校電子科3年）

（優勝者及び準優勝者はものづくりコンテスト近畿大会に出場、なお近畿大会でも長澤君が優勝、岩松君が準優勝の栄冠に輝いた。）



熱心に課題に取り組む生徒たち



競技始まる（特別審査員を派遣、経営委員長立会）



※たけでんは絶滅に瀕しているシマフクロを
ECOの推進キャラクターとして環境に
取組んで参ります。

たけでんはECOの取組みで ソリューションカンパニーを目指します！！

●電設資材 ●住宅設備機器 ●オール電化 ●太陽光発電システム ●空調機器 ●映像・音響・情報 ●産業機器 ●セキュリティ

人のために。人からはじまる。

**たけでん**

営業本部 〒535-0011 大阪市旭区今市1-14-9
PHONE: 06-6954-1525(代)
瀬(営) 〒657-0036 神戸市灘区桜口町1-1-4 セントラルプラザ六甲1階
PHONE: 078-854-7071(代)

<http://www.takeden.co.jp>

経 営 講 演 会



平井会長 開会挨拶



講習会風景

電気設備業界を取り巻く厳しい環境の中で、会員企業の時代の変化に対応した経営戦略づくりの重要性がますます高まっています。本年度においては今日的な経営課題として急浮上している建設業における社会保険未加入問題への対応について、現在進められつつある対策の背景、その内容及び今後の動向等について有益な情報を得ると共に、会員企業の経営の一層の高度化に向け、改めて工事成績評定について研鑽することを目的に、平成24年8月3日（金）午後1時30分から兵庫県中央労働センターにおいて会員企業の経営者や幹部職員など55名参加のもと、経営講演会を開催しました。

講演会は平井会長の挨拶の後、第1部は兵庫県県土整備部県土企画局総務課建設室長村上武雄氏から「建設業における社会保険未加入問題への対応等について」をテーマに講演をいただきました。

講演では、県内の建設業を取り巻く現状等を総括的に紹介いただいた上で、非常にコンパクトに要約された資料をもとに、この問題の背景、進められつつある対策や今後の動きなどを説明いただき極めてタイムリーな研鑽の場となりました。

第2部は、兵庫県県土整備部住宅建築局設備課副課長尾元嗣氏から「工事成績評定について」をテーマに講演をいただきました。

講演では、建築工事の成績評定について県のホー

ムページのデータを駆使いただき、当評定の仕組み、そのポイントなど会員企業が自ら研鑽していく方法等をご教示いただきました。

また折角の機会ということで、宮城県で東日本大震災に係る応急仮設住宅建設の支援に当たられた経験をトピック的に講演の中に織り込んでいただき、被災地のいわば生の情報、教訓、支援活動の実例事例等をお伝えいただきました。

今回の経営講演会は、会員企業にとって、厳しい環境下での今後の経営戦略づくり、一層の経営の高度化を図っていく上で、有益な情報収集の場、研鑽の場になりました。



村上氏の講演



長尾氏の講演

県管理道路河川等公共施設愛護活動

道路や河川などの公共施設は、それぞれの管理者が維持管理を行うことになっていますが、すべてについて完全に実施することは難しいことです。こうした状況を踏まえ、道路や河川は地域で生活する者の共有財産であるという認識を持ち、クリーンで安全しかも快適に利用できるよう公共施設愛護運動が県下各地で展開されています。

当協会においては、公益法人の原点であるボラン

ティア精神に則り、平成20年度から建設業協会の各支部や県民局と連携して県管理河川等公共施設愛護活動に取り組んでいます。

本年度も地区担当理事が中心になって協会単独実施或いは建設業協会各支部等や県民局土木事務所と調整しながら次のとおり事業を行いました

地区名		実施日	場所・作業内容	参加会員	参加人員
神戸		7月17日	河川敷の草刈・清掃	29	43
阪神南	尼崎	6月1日	河川敷清掃	8	15
	西宮	6月1日	道路清掃	9	11
阪神北	伊丹	6月1日	道路清掃	6	12
	宝塚	6月1日	道路清掃	1	1
	三田	6月5日	ダム周辺・河川清掃	3	6
東播磨	明石	6月6日	海岸清掃	4	5
	加古川	7月9日	公園清掃	13	14
北播磨	西脇	6月1日	道路清掃	6	6
	加西	6月1日	道路清掃	3	3
	加東	6月1日	道路清掃	4	4
中播磨		11月2日	港・緑地清掃	18	19
丹波	丹波	6月6日	道路・河川除草	2	2
	篠山	6月14日	道路清掃	1	1
合計	—	—	—	107	142



神戸地区の活動



阪神北（伊丹）地区の活動



中播磨地区の活動

コウノトリ翔る但馬まるごと感動市への参加



協会PRブース

但馬まるごと感動市実行委員会主催の「平成24年度コウノトリ翔る但馬まるごと感動市」が平成24年11月17日及び18日の2日間、コウノトリ但馬空港西側イベント広場で開催されました。

この事業は但馬の地域産業が一体となり様々な資源を活用したツーリズムを推進するため、「食・物産」と「観光」をテーマとした新たな集客・交流空間を創造しようと平成12年から開催されているものです。

また今回は、平成6年の但馬・理想の都の祭典から20周年を記念して平成26年に開かれる「～出会い・感動～夢但馬2014」のキックオフ事業として位置づけられ、ステージイベントをはじめ但馬地域の住民の方々により多様な催しが行われました。

当協会は、県民局の要請に基づき、事業推進のボ

ランティア活動に参加しています。今年は会場清掃を担当し、但馬地区の7会員・8名が協会名の入ったスタッフジャンパーを着用して会場の清掃作業を行いました。

また、ボランティア参加団体にはPR用ブースが用意され、当協会では三菱電機㈱及びパナソニック㈱の協力により太陽光パネル、テレビやLED照明など家電製品のPRやパンフレット配布を行いました。

当協会としては、協会のぼり旗の設置や協会広報用のポケットティッシュを配布し、(社)兵庫県電業協会が「高度な電設技術で安心・安全の快適な社会」づくりに向けた公益活動を行っていることを広くPRしました。



ポケットティッシュで協会活動PR

J E C A F A I R 2012 第60回電設工業展



開場式

1 「JECA FAIR 2012～第60回電設工業展～」の開催

電気設備機器、資材、工具等の総合展示会である2012電設工業展が平成24年5月30日から3日間、社団法人日本電設工業協会の主催によりインテックス大阪3、4、5号館で開催されました。60回目になる今回は、「スマート技術で社会貢献～未来都市づくりへのチャレンジ～」をテーマに大阪開催では過去最多となる195社が出展して盛大に開かれ、当協会も協賛団体に加わり、経営委員長が実行委員会の委員として参画しました。5月30日午前10時から開場式が行われ、同協会山口会長の挨拶、来賓の挨拶に続いて、テープカットで開幕しました。当協会からは、平井会長、合田経営委員長が出席しました。

今回は「スマートコミュニティ」における電力の流れを巨大ジオラマを使って表現したテーマプラザが設置されるとともに、各ブースでもスマート技術関連製品の展示が行われました。

また、電気設備機器に関する資材の進歩改良、技術の向上、電気保安の一層の確保、関連企業の振興を図ることを目的に開催された製品コンクールには38社がエントリーし、最優秀と認められた製品には国土交通大臣賞、経済産業大臣賞、環境大臣賞など



出展企業のプレゼンを聴く

の賞が授与されました。

さらに元読売テレビ解説委員長辛坊治郎氏の「報道から見た日本」、東京工業大学特命教授柏木孝夫氏の「エネルギー革命3. 11後の新たな世界へ」と題した特別講演や12社に及ぶ出展者プレゼンテーションセミナーなどが行われ、期間中約9万4千人が訪れ盛会裏に終了しました。

2 工業系高校生の招待

当協会では、時代を担う若者に電設業界の最新情報に接し、業界への関心を高めてもらおうと兵庫県立兵庫工業高校の3年生39名（引率教諭を含む。）及び県立篠山産業高校3年生43名（同）の2校にバスを借上げ、今回の電設工業展に招待しました。

生徒たちは出展企業の説明に熱心に耳を傾けており、後日提供いただいた感想文の中でも「先端のいろいろな電設製品に実際に触れることができ、とても良い勉強になった。」「学校の課題研究を進めていく上で、多くの知識を吸収させてもらった。」「実際に名刺交換をして企業の方々と接触でき、この体験を就職に活かしていきたい。」などの感想が寄せられました。



企業の方々と名刺交換



篠山産業高校の皆さん



兵庫工業高校の皆さん

9 3 委員会の25年度の主な取り組み

委員会で平成25年度に取り組む主な事業

平成25年度に各委員会で取り組む主な事業は次のとおりです。

(1) 総務委員会

項 目	内 容	実施時期
1 総会・新年名刺交換会（懇親会）	総会年1回開催、名刺交換会年1回開催	5月・1月
2 理事会	年8～9回開催	
3 地区懇談会	地区担当理事の判断で開催	2～3月
4 県との行政懇談会	空衛協会と合同で開催	7月
5 県との意見交換会	空衛協会と合同で開催	年2回程度
6 県民局等訪問	局長の異動があった県民局を中心に実施	随時
7 永年勤続優良従業員表彰	表彰者の決定（表彰は平成26年5月通常総会の席上）	2月
8 会報作成配布	会報No.33を発行（平成26年1月）	1月
9 協会パンフレットの作成	一般社団法人としてのパンフレットの作成 作成部数 2,000部	4月

(2) 技術・安全委員会

項 目	内 容	実施時期
1 技術講習会	技術力向上を目的として年2回開催	7月・2月
2 施設見学会	年1回開催	10月頃
3 1級（学科・実地）電気工事施工管理技術検定受験対策講習会の開催	1級電気工事施工管理技士の資格取得のための講習会	学科：4月 実地：9月
4 安全衛生推進大会	安全衛生意識の高揚と特別講話の実施	7月
5 安全災害連絡体制・緊急連絡網訓練	年2回実施（携帯電話メールでの訓練を併用）	9月 1月
6 こども110番の車パトロール事業	継続して活動	通年
7 事業所における防犯責任者の設置	継続して実施・活動	通年

(3) 経営委員会

項 目	内 容	実施時期
1 工業高校生のインターンシップの受入	兵庫県高等学校教育研究会工業部会電気系部会長の要請に対する対応	8月～10月
2 ものづくりコンテスト特別審査員の派遣	同 上	7月
3 分離発注の陳情活動	県民局、市町等	随時
4 経営講演会の開催	社会保険未加入対策問題等タイムリーな経営課題をテーマに実施	9月
5 技術・社会貢献活動の充実	県管理河川等公共施設愛護活動や但馬まるごと感動市等へのボランティア参加など	通年
6 エコアクション21・関係企業グリーン化プログラム策定支援	（財）ひょうご環境創造協会と連携した会員企業への策定支援（全体説明会、集合研修等）	4～9月

青年部会のページ

1 第14回総会

本年度総会は、平成24年5月9日（水）15：30～16：30、神戸市勤労会館3階308号室にて開催され、議事についても満場異議無く、青年部会会則第10条第3項により可決されました。

詳細は以下の通りです。

会 員 総 数：34名

出席会員数：34名（うち書面委任5名）

来賓出席者：＜協会＞ 西村会長

＜新聞社＞ 3名

議 事：第1号議案 平成23年度事業報告の件
第2号議案 平成23年度収支決算の件
第3号議案 平成24年度事業計画の件
第4号議案 平成24年度収支予算の件

2 平成24年度組織構成及び委員会配属

平成24年度の委員会配属は以下の通りとなりました。

部 会 長	副 会 長	委 員 会	委 員 長
岡田 亮一 〈岡田電工〉	池田 佳隆 〈サン電設工業〉	事 業 委 員 会	山口 寛 〈山口電気工事〉
		総 務 委 員 会	福居 一道 〈コガセ工業〉
	高橋 良之 〈陵南〉	渉外交流 委 員 会	尾崎 雅史 〈西部電気建設〉

※監査役 平井 正博（ミナト電気工事）

3 平成24年度兵庫県県土整備部住宅建築局 設備課との懇親座談会

平成24年10月10日（水）14時より、ラッセルホールにおいて、毎年恒例になっている兵庫県県土整備部住宅建築局設備課と青年部会との懇親座談会が開

催されました。

県設備課からは、因課長、長尾副課長、電気第1係 井上係長、電気第1係 竹内職員、電気第2係 原係長、電気2係 村山主査、電気第3係 高野係長、電気第3係 長野主査、講演会の講師として企



第1部で講演して頂いた坂本課長



部会長より開会の挨拶

画県民部ビジョン課 坂本課長、長岡職員にお越し頂き、青年部会からは23名が参加、計33名での開催となりました。

岡田部会長の挨拶の後、第一部では企画県民部ビジョン課 坂本課長より講演いただきました。テーマは「創造と共生の舞台・兵庫をめざして」ということで、兵庫県が策定している21世紀兵庫長期ビジョンについての説明と今後の県の取り組み方針などを講演いただきました。

普段聞くことのない、兵庫県の将来ビジョンについて考える貴重な機会となりました。

休憩の後の第二部では、4つのグループに分かれ、フリーディスカッションで話し合うスタイルがとられ活発な意見交換が行われました。主に環境問題や将来の電気工事業の見通しなど、それ以外にも色々な話題がでてとても有意義な意見交換をする事ができました。

座談会のあと各グループ毎に、まとめの発表をして頂きました。各グループ共、参加者全員が楽しそうに話をされていたのが、とても印象的でした。

最後に因課長の総評、高橋副会長の閉会の挨拶で会は無事終了となりました。

午後の忙しい時間からの開始にも関わらず、設備課の皆様、青年部会の皆様には、沢山の方にお集まり頂き本当にありがとうございました。

今後も青年部会の恒例事業として、継続していくためにも年度を重ねる度に、良い事業となるように進歩、発展させ継続していきたいと思います。



ディスカッションの様子



グループ発表の様子

4 インターンシップ事前安全講習会報告 ～兵庫県立兵庫工業高等学校～

平成24年10月11日に青年部会の活動計画の一環であります、兵庫県立兵庫工業高等学校にてインターンシップ事前安全講習会を行いました。

本題の活動内容ですが、当日に学校側との打合せを行い、講習内容、時間割などの内容確認を行いました。その後、兵庫県立工業高等学校やまなみ会館にて13：20より、生徒数41名を対象にインターンシップ事前安全講習会が開会されました。

開会にあたり、吉田学校長より挨拶、吉井学科長より講習会の趣旨説明、講師の紹介、また生徒代表による挨拶がありました。

講習会では、合田理事の挨拶の後、電気工事業について岡田部会長より説明がありました。日本がどれだけ電力を消費しているか、また電気の重要性を伝え、電気工事業において営業や設計、見積等も同



じ電設業であること、また竣工、引渡後もアフターサービス、メンテナンス等も行うといった工事を行うまでの一連の流れの説明をしました。

休憩を挟んだ後、現場作業にかかわる安全事項等についてのビデオ上映をしました。現場での事故につながる要因ごとに、それに対する対策が挙げられていました。ビデオ上映後は河野総務副委員長より、インターンシップ前の安全講習が行われました。実際の事故の状況からそれに対する安全対策、また危険性の説明、また作業前の打合せの大切さを伝え、熱中症対策等、安全に作業を行うための環境作りをすることの重要性の説明をしました。そして今後仕事を行う上で、資格取得が何より重要な課題である事も合わせて説明しました。

閉会の挨拶では、司会進行をされていた渡辺先生からインターンシップ事前安全講習会のお礼を述べて頂きました。また、最後には恒例の記念撮影を先生方、ならびに生徒達とともに行いました。

緊張感のある空間で生徒の皆さん、先生方と有意義な時間を共有できた事は私達にとって大きな成果

でした。これからも青年部会の事業として、さらに内容を充実させていきたいと思います。

5 青年部会会員募集！

平成10年の発足以来、青年部会では、さまざまな勉強会、講演会の実施や行政との意見交換等、直接仕事に関係する事業のほか、ボランティア活動や懇親会等、さまざまな活動を行っています。

現在、協会加盟社の中から34名が青年部会に参加いただいています。未加入の会社の皆様におかれましては、ぜひ、若い世代の青年部会への参加をご検討いただけますよう、宜しくお願い致します。

入会に関するお問い合わせは、協会事務局までお願いいたします。

6 委員会活動報告

青年部会での事業を実施するにあたって、それぞれ担当の各委員会で企画から具体的な実施計画まで検討しています。平成24年度（12月迄）に開催された委員会は以下の通りです。

運 営 委 員 会	8 回	青年部会全体の活動方針、及び各事業の検討
総 務 委 員 会	3 回	総会の実施、インターンシップ事前安全講習会の実施
事 業 委 員 会	3 回	研修事業の企画、検討、ボランティア活動の検討
渉外交流委員会	3 回	懇親座談会の実施、全体懇親会の企画



兵庫県電業協会 青年部会 会員名簿

平成24年12月

会員氏名	会 社 名	電 話 番 号	F a x 番号
秋 山 幸 三	秋山電工	078-731-4790	078-731-4790
宮 井 正 昭	尼崎電機(株)	06-6411-5550	06-6411-6131
前 田 知 良	伊丹産業電気工事(株)	072-785-1200	072-777-2199
山 崎 信 彦	栄興電機工業(株)	06-6491-5301	06-6493-1051
田 谷 浩 明	(株)エイデン	078-651-6248	078-651-0267
岡 田 亮 一	岡田電工(株)	079-431-0055	079-431-0069
河 野 貴 司	(株)カデックス	078-511-3667	078-511-1333
福 居 一 道	コガセ工業(株)	078-802-2011	078-802-7001
酒 井 規 和	(株)酒井電気建設	0795-82-3191	0795-82-3511
植 村 英 志	(株)サンデン	078-451-6661	078-764-6662
池 田 佳 隆	サン電設工業(株)	078-575-3757	078-577-4682
橋 本 大 樹	白菱電気設備(株)	0796-23-0195	0796-24-0905
尾 崎 雅 史	西部電気建設(株)	078-882-4051	078-882-4061
小 山 修 平	西部電工(株)	079-239-3456	079-239-1168
吉 沢 嘉 彦	摂丹電気工事(株)	072-782-2433	072-770-7510
北 口 貴 朗	扇港電気工業(株)	078-691-4141	078-611-6525
福 岡 秀 樹	ダイトウ電気工事(株)	078-671-1072	078-671-6237
谷 政 智	(株)谷電気	0799-22-4697	0799-24-4615
寺 坂 孝 博	寺坂電機(株)	079-421-3388	079-447-5388
尾 板 利 幸	東洋電気工事(株)	078-575-2000	078-577-2600
難 波 悌次郎	難波電話電気工業(株)	078-341-2431	078-382-0007
大 畑 篤 志	日興電気工業(株)	06-6362-9291	06-6362-6009
山 中 俊 介	(株)ニューテック	06-6418-2415	06-6418-3487
橋 爪 重 憲	橋爪電機(株)	0790-49-0109	0790-49-1707
石 井 伸 洋	ヒカリ電業(株)	0795-42-0560	0795-42-5869
渋谷 大 介	(株)兵庫蓄電池	078-731-1934	078-731-1967
平 尾 秀 樹	平尾電工(株)	06-6419-5678	06-6419-8877
藤 井 大 祐	藤井電機(株)	079-676-2068	079-676-3948
前 田 賢 則	船木電気工業(株)	078-792-1111	078-792-4444
高 田 賢 一	松尾電設工業(株)	078-671-0241	078-671-1300
松 本 一 宏	松本電工(株)	078-641-7011	078-641-7015
平 井 正 博	ミナト電気工事(株)	078-371-5583	078-371-5307
山 口 寛	山口電気工事(株)	06-6416-7441	06-6416-7444
高 橋 良 之	(株)陵南	079-424-8610	079-424-8611

新生のじぎく会だより

近況をご報告します！

第9回震災チャリティー大会や第10回記念大会を開催したことによりメンバー同士の親交がさらに深まってきており、お陰様で参加者数が順調に伸びています。また、次を担う若手や女性のメンバーも参加も増えました。「新生のじぎく会」は、ゴルフ上手な人達だけの集まりではなく、老若男女問わず社交の場として変化してきています。これらを通じて、少しでも協会事業を理解し合えるようになればと思います。

第11回は西宮インターに近い六甲カントリーでした。有馬温泉街が一望でき、しかも春風そそぐ最高のお天気です。とても気持ちよくプレーできました。一方、第12回は残念ながら終日大雨！「幹事の日頃の行いが・・・」と反省しつつ、ずぶ濡れになりながら

も全員が無事ホールアウト。懇親会ではホッとされた皆さんが終始和やかな雰囲気だったのが印象的でした。次回は、幹事として日頃の行いを・・・して、晴天を祈るばかりです。

まだ、ご参加頂いていない或いはこれからゴルフを楽しんでみたいと思っている皆様もお気軽にお申し込み下さい。お待ちしております。

次回は、サントリーレディースでお馴染みの六甲国際GCです。昨年の競技には西コースも一部取入れTV放映されました。その後、西コースの人気は急上昇中です。4月になれば西コースのコンディションは上々とのこと。皆様、奮ってご参加下さい。

- ・開催日：平成25年4月9日（火）
- ・場 所：六甲国際ゴルフ倶楽部（西コース）

第11・12回新生のじぎく会成績結果

回数	開催月日	成 績 (ダブルペリア方式)
	開催場所	
第11回	平成24年4月12日（木）	1位 大畑 康洋（オオハタ電機）
	六甲カントリー倶楽部	2位 吉野 光治（矢野電気工事）
		3位 河戸 克己（田辺電気）
第12回	平成24年10月23日（火）	1位 奥本 耕司（奥本電気）
	センチュリー吉川ゴルフ倶楽部	2位 松永 浩（大日電機）
		3位 丸尾 宣孝（星屋電工）



第11回全員集合写真



第12回平井会長と優勝の奥本さん

一般社団法人日本電設工業協会会員大会



平成24年度一般社団法人日本電設工業協会会員大会が、10月18日（木）鹿児島市の城山観光ホテルで会員企業など全国から470名余りが参加し、盛大に開催されました。

大会冒頭、(一社)日本電設工業協会山口会長が「最近の経済動向と業界の情勢を踏まえ、協会が取り組む課題として分離発注の推進、適正価格・適正工期での受注、若年者の確保・育成、技術・技能の継承、電設技術を活用したスマート社会の実現」などについて挨拶で述べられました。

その後、「海外建設市場の動向と電設協の取組み～海外建設市場の可能性～」をテーマに島津経営企

画委員会副委員長から、また「鹿児島市における再生エネルギーと風力発電について」をテーマに三原（一社）福岡電業協会事業委員会委員から基調報告が行われました。

次に4つの活動目標を柱とする大会決議案が井上運営委員長から提案され、満場一致で採択されて会員大会は終了しました。

大会終了後、井口正人京都大学防災研究所火山活動研究センター長から「最近の霧島・桜島の火山活動について」と題した記念講演があり、講演終了後、会員懇親会が行われました。

平成24年度会員大会決議

「～社会的貢献と顧客価値の創造に努め夢と生きがいのある電設業界を目指そう～」

- ① 「優秀な人材の確保と技術・技能の継承」を促進し、魅力ある職場作りで将来の電設業界の担い手を育てよう
- ② 「適正な価格・適正な工期での受注を確保」し、優良な施工体制と品質で、健全で公正な競争市場を構築しよう
- ③ 品質と価格の透明性を確保するとともに、顧客に最高品質の工事を提供するため、「分離発注を強力に推進しよう」
- ④ 「省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用」に積極的に取り組み、スマート社会の実現に貢献しよう

12 兵庫県の入札・契約制度

兵庫県の入札・契約制度について

兵庫県では、企業の技術力や社会貢献状況を適正に評価し、健全な育成を図るため技術・社会貢献評価数値が入札参加要件となっています。当協会では、社会貢献活動を協会活動の柱の1つとして取り組んでおり、会員に対してこれらの活動への積極的な参

加を呼び掛けています。

技術・社会貢献評価数値に係る入札・契約制度は次のとおりです。詳細は兵庫県のホームページの（兵庫県発注の建設工事に係る入札・契約制度）をご覧ください。

1 入札参加要件とする技術・社会貢献評価数値

(1) 入札参加要件

公募型一般競争入札及び制限付き一般競争入札については、格付等級や施工実績のほか技術・社会貢献評価数値が、次のとおり必要です。

区 分	契約予定金額	必要評価点数
公募型一般競争入札	2.5 億円～	30点
制限付き一般競争入札	1 億円～2.5 億円	25点
	5 千万円～1 億円	10点
	1.3 千万円～5 千万円	5点

(2) 技術・社会貢献評価数値

ア 技術評価数値

項 目	要 件	評価点数
1 ISO 認証取得	ISO 9001 認証取得	16点
2 各種賞受賞	さわやかな県土づくり賞	16点
	人間サイズのまちづくり賞	8点
	県優秀施工者賞	4点
3 VE 提案・採用等		上限48点
4 建設労働災害防止活動		6点
5 工事成績	平均工事成績点	120点～ －40点

イ 社会貢献評価数値

項 目	要 件		評価点数
1 障害者雇用	法定雇用率達成		40点
	報告義務はないが雇用		20点
	法定雇用率 未達成	達成率 2 ／ 3 以上	24点
		達成率 1 ／ 3 以上	16点
		達成率 1 ／ 3 未満	8点
2 I S O 認証取得	I S O 1 4 0 0 0 認証取得		16点
3 エコアクション21認証取得（上記 1 4 0 0 0 との重複なし）			16点
4 各種賞受賞	建設雇用改善優良事業所知事表彰		8点
	納税功労者表彰		4点
	ひょうご経営革新賞		6点
5 県との協定締結	男女共同参画社会づくり協定		8点
	子育て応援協定		8点
6 社会貢献活動	災害応急対策業務協定締結		12点
	上記協定に基づく出動		16点
	地域づくりのために資する重要な活動		8点
	県管理道路河川等公共施設の愛護活動		6点
	県の関係事業に対する寄附		6点
	就業体験事業等への協力		8点
	地域安全まちづくり活動		6点
	協力雇用主として保護観察対象者等を雇用		16点
	建設業暴力追放活動		6点

ウ 資格制限・指名停止数値

項 目	要 件	評価点数
1 資格制限	入札参加者資格制限を受けた場合	－16点
2 指名停止	6 月以上の指名停止を受けた場合	－16点

受賞おめでとうございます。

小山恵生副会長が国土交通大臣表彰を受賞

永年にわたる電気工事業界へのご貢献により、平成24年7月10日国土交通大臣表彰（建設事業関係功労）を受賞され、同日、表彰式が国土交通省会議室で執り行われました。



小 山 恵 生 氏

社団法人兵庫県電業協会副会長
西部電工株式会社代表取締役

会 務 日 誌

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
1 / 4 (火)	新年合同祝賀会	神 戸 国 際 展 示 場	合田常任理事
1 / 6 (金)	※ 県幹部への新年挨拶	兵 庫 県 庁	正副会長、専務理事
1 / 7 (土)	神戸市長を囲む新春交歓会	神 戸 ポ ー ト ピ ア H	平井副会長
1 / 12 (木)	兵庫県建築会新春会員交流会	神 戸 東 急 イ ン	専務理事
1 / 16 (月)	※ 第58回通常総会・新年名刺交換会	生 田 神 社 会 館	会 員
1 / 17 (火)	※ 災害対策緊急連絡網伝達訓練	協 会 事 務 局	会 員
1 / 18 (水)	日電協関西支部賀詞交歓会	帝 国 H 大 阪	会長、平井副会長
1 / 19 (木)	空衛協会新年交礼会	H オ ー ク ラ 神 戸	会長、前田副会長、専務理事
1 / 24 (火)	※ 第 1 回30周年記念事業特別委員会	協 会 事 務 局	委 員
1 / 27 (金)	第60回電設工業展第 2 回実行委員会	ラ マ ダ H 大 阪	経営委員長
1 / 31 (火)	※ 第 2 回30周年記念事業特別委員会	協 会 事 務 局	委 員
2 / 7 (火)	建設産業関係団体意見交換会	ラ ッ セ ホ ー ル	小山副会長、前田副会長、専務理事
2 / 8 (水)	※ 第 3 回30周年記念事業特別委員会	協 会 事 務 局	委 員
2 / 9 (木)	※ 第 5 回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
2 / 9 (木)	政経セミナー	H オ ー ク ラ 神 戸	正副会長
2 / 14 (火)	※ 第 8 回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
2 / 21 (火)	※ 第 8 回理事会	協 会 事 務 局	理 事
2 / 23 (木)	※ 暴力団追放対策講習会	じばさんビル(姫路)	会 員
2 / 27 (月)	※ 第 4 回30周年記念事業特別委員会	協 会 事 務 局	委 員
2 / 27 (月)	※ 阪神南・北地区懇談会	は な み ず き	会長、専務理事、地区会員
3 / 5 (月)	※ 東・中・西播磨地区懇談会	姫 路 商 工 会 議 所	会長、専務理事、地区会員
3 / 9 (金)	※ 第 9 回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
3 / 12 (月)	※ 第 9 回理事会	協 会 事 務 局	理 事
3 / 13 (火)	セミナー「いま我が国が取るべき道は？」	兵 庫 県 民 会 館	役員、会員
3 / 15 (木)	自民党との意見交換会	兵 庫 県 庁	会長、平井副会長、前田副会長、 専務理事
3 / 16 (金)	※ 神戸地区懇談会	神戸市男女共同参画センター	会長、平井副会長、専務理事、 地区会員
3 / 19 (月)	※ 丹波地区懇談会	兵 電 工 丹 有 支 部	前田副会長、専務理事、地区会員
3 / 22 (木)	※ 第 5 回30周年記念事業特別委員会	協 会 事 務 局	委 員
3 / 26 (月)	※ 淡路地区懇談会	兵 電 工 淡 路 支 部	地区会員
3 / 27 (火)	第4回近畿6電業協会会長連絡協議会	リーガロイヤルH京都	会長、平井副会長
3 / 29 (木)	※ 北播磨地区懇談会	滝 寺 荘	平井副会長、専務理事、地区会員
3 / 30 (金)	※ 但馬地区懇談会	白 菱 電 気 設 備 (株)	会長、専務理事、地区会員

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
4 / 6 (金)	第60回電設工業展第3回実行委員会	ラ マ ダ H 大 阪	経営委員長
4 / 6 (金)	県幹部職員挨拶	兵 庫 県 庁	正副会長、専務理事
4 / 7 (土)	※ 1級学科電気工事施工管理技術検定受験対策講習会開講式	中央労働センター	技術・安全委員長、専務理事
4 / 9 (月)	※ 第1回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
4 / 9 (月)	※ 正副会長会	協 会 事 務 局	正副会長
4 / 10 (火)	※ 第1回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
4 / 10 (火)	※ 第6回30周年記念事業特別委員会	協 会 事 務 局	委 員
4 / 11 (水)	※ 決算監査	協 会 事 務 局	監事、専務理事
4 / 16 (月)	※ 第1回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
4 / 18 (水)	※ 第1回理事会	協 会 事 務 局	理 事
4 / 27 (金)	※ 第7回30周年記念事業特別委員会	協 会 事 務 局	委 員
4 / 29 (日)	※ 1級学科電気工事施工管理技術検定受験対策講習会閉校式	中央労働センター	技術・安全委員長、専務理事
5 / 9 (水)	青年部会総会	神 戸 市 勤 労 会 館	会長
5 / 9 (水)	青年部会総会懇親会	維 新 號 點 心 茶 室	理事、事務局長
5 / 15 (火)	日電協関西支部地区協議会	中 央 電 気 俱 楽 部	会 長
5 / 16 (水)	※ 第59回通常総会及び30周年記念祝典	生 田 神 社 会 館	会 員
5 / 21 (月)	建設業暴力追放協議会総会	兵 庫 建 設 会 館	専務理事
5 / 22 (火)	空衛協会総会懇親会	H オ ー ク ラ	会長、副会長、専務理事
5 / 24 (木)	県等関係機関挨拶まわり	兵 庫 県 庁	新旧会長、副会長、専務理事
5 / 24 (木)	兵庫県建築会会員交流会	神 戸 東 急 イ ン	専務理事
5 / 29 (火)	※ 第2回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
5 / 30 (水)	第60回電設工業展会場式	インテックス大阪	会長、経営委員長
5 / 30 (水)	第60回電設工業展レセプション	ハイアットリージェンシー	会長、経営委員長
5 / 30 (水)	※ 第60回電設工業展招待(篠山産業高校)	インテックス大阪	末岡委員
6 / 1 (金)	※ 第60回電設工業展招待(兵庫工業高校)	インテックス大阪	青年部会福居総務委員長
6 / 1 (金)	尼崎地区公共施設愛護活動	武 庫 川 河 川 敷	地区会員
6 / 1 (金)	西宮地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 1 (金)	伊丹地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 1 (金)	宝塚地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 1 (金)	西脇地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 1 (金)	加東地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 1 (金)	加西地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 4 (月)	ひょうご地域安全まちづくり推進協議会総会及び講演会	パ レ ス 神 戸	専務理事
6 / 5 (火)	第1回近畿6電業協会会長連絡協議会	京 都 市 内	会長、西村相談役
6 / 5 (火)	三田地区公共施設愛護活動	青 野 ダ ム 周 辺	地区会員

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
6 / 6 (水)	※第2回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
6 / 6 (水)	明石地区公共施設愛護活動	大 蔵 海 岸 公 園	地区会員
6 / 6 (水)	丹波地区公共施設愛護活動	河 川 堤 防	地区会員
6 / 8 (金)	※第2回理事会	協 会 事 務 局	理 事
6 / 14 (木)	篠山地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
7 / 3 (火)	※第3回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
7 / 4 (水)	※第2回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
7 / 5 (木)	※第3回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
7 / 6 (金)	J E C A製品コンクール表彰式・ 懇親パーティー	ラ マ ダ H 大 阪	前田副会長
7 / 9 (月)	空衛協会との打合せ	協 会 事 務 局	正副会長、専務理事
7 / 9 (月)	加古川・高砂地区公共施設愛護活動	松 風 公 園	地区会員
7 / 10 (火)	小山副会長功労者表彰表彰式	国 土 交 通 省	小山副会長
7 / 11 (水)	※第3回理事会	協 会 事 務 局	理 事
7 / 13 (金)	※安全衛生推進大会	農 業 共 済 会 館	会 員
7 / 14 (土)	高校生ものづくりコンテスト県大会	県 立 龍 野 北 高 校	経営委員長
7 / 17 (火)	※神戸地区公共施設愛護活動	明 石 川 河 川 敷	地区会員
7 / 19 (木)	※インターンシップ受入説明会(相生産業高校)	県立相生産業高校	宗接副委員長、受入会員、専務理事
7 / 23 (月)	※インターンシップ受入説明会(豊岡総合高校)	県立豊岡総合高校	田中理事、受入会員
7 / 23 (月)	兵庫県電気工事工業組合との会合	協 会 事 務 局	正副会長、専務理事
7 / 27 (金)	※第1回技術講習会	中央労働センター	会 員
7 / 31 (火)	※兵庫県との行政懇談会	女 性 交 流 会 館	正副会長、理事、専務理事
8 / 1 (水)	※インターンシップ受入説明会(尼崎工業高校)	県立尼崎工業高校	宮井委員、受入会員、専務理事
8 / 1 (水)~3 (金)	※インターンシップ(相生産業高校)	受 入 会 員 企 業 等	受入会員
8 / 3 (金)	※経営講演会	中央労働センター	会 員
8 / 6 (月)~8 (水)	※インターンシップ(豊岡総合高校)	受 入 会 員 企 業 等	受入会員
8 / 7 (火)	社会保険未加入対策推進近畿地方協議会	国民会館武藤記念ホール	前田副会長、経営委員長
8 / 7 (火)	※インターンシップ受入説明会(龍野北高校)	県 立 龍 野 北 高 校	宗接副委員長、受入会員、専務理事
8 / 22 (水)~24 (金)	※インターンシップ(尼崎工業高校)	受 入 会 員 企 業 等	受入会員
8 / 22 (水)~24 (金)	※インターンシップ(龍野北高校)	受 入 会 員 企 業 等	受入会員
9 / 8 (土)	※1級実地電気工事施工管理技術検定受験対策 講習会(1日目)	中央労働センター	技術・安全委員長、専務理事
9 / 10 (月)	※第3回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
9 / 12 (水)	※第4回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
9 / 13 (木)	※近畿地方整備局宮繕部長訪問	近 畿 地 方 整 備 局	会長、前田副会長
9 / 14 (金)	※第4回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
9 / 15 (土)	※1級実地電気工事施工管理技術検定受験対策 講習会(2日目)	中央労働センター	専務理事

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
9 / 19(水)	自民党兵庫県支部連合会との意見交換会	兵 庫 県 庁	会長、前田副会長、山口副会長
9 / 20(木)	※ 第 4 回理事会	協 会 事 務 局	理 事
9 / 21(金)	兵庫県暴力団離脱者就労対策会議	パ レ ス 神 戸	専務理事
9 / 25(火)	第2回近畿6電業協会会長連絡協議会	リーガロイヤルH京都	会長、前田副会長
9 / 28(金)	※ 災害対策緊急連絡網伝達訓練	協 会 事 務 局	会 員
10 / 2 (火)	※ 経営委員会小委員会	協 会 事 務 局	前田副会長、正副委員長
10 / 11(木)	※ インターンシップ事前安全講習会(兵庫工業高校)	県立兵庫工業高校	経営委員長、青年部会
10 / 11(木)	※ 第 4 回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
10 / 12(金)	建設産業関係団体意見交換会	農 業 共 済 会 館	会長、山口副会長、専務理事
10 / 16(火)	※ インターンシップ受入説明会(兵庫工業高校)	協 会 事 務 局	経営委員長、受入会員、専務理事
10 / 18(木)	※ 第 5 回理事会	協 会 事 務 局	理 事
10 / 24(水)	第40回電気工事士技能競技大会	大 阪 府 立 体 育 館	技術・安全委員長
10 / 24(水)	※ 県公益法人室打合せ	兵 庫 県 庁	専務理事
10 / 24(水)~26(金)	※ インターンシップ(兵庫工業高校)	受 入 会 員 企 業 等	受入会員
10 / 28(日)	自民党兵庫県連研修会	ANAクラウンプラザH神戸	理 事
10 / 31(水)	※ 施設見学会	大ガス姫路エネルギー館ほか	会 員
11 / 1 (木)	新生兵庫講演会	神 戸 国 際 会 館	副会長、理事、専務理事、青年部会長
11 / 2 (金)	中播磨地区公共施設愛護活動	姫 路 港	地区会員
11 / 5 (月)	建設雇用改善推進対策会議	神戸クリスタルタワー	専務理事
11 / 5 (月)	※ 県公益法人室打合せ	兵 庫 県 庁	専務理事
11 / 8 (木)	※ 第 5 回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
11 / 13(火)	※ 第 5 回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
11 / 14(水)	※ 第 6 回理事会	協 会 事 務 局	理 事
11 / 15(木)	官庁懇談会(都市再生機構)	都市再生機構西日本支社	前田副会長、専務理事
11 / 17(土)18(日)	コウノトリ翔る但馬まるごと感動市	コウノトリ但馬空港	会 員
11 / 20(火)	※ 暴力団追放対策講習会	神 戸 市 教 育 会 館	会 員
11 / 20(火)	※ 第 5 回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
11 / 26(月)	矢田たつおと語る会	ANAクラウンプラザH神戸	会長、合田理事
11 / 27(火)	※ 中播磨県民局訪問	中 播 磨 県 民 局	会長、小山副会長、中谷理事、 専務理事
11 / 28(水)	官庁懇談会(近畿地方整備局)	中 央 電 気 俱 楽 部	会長、前田副会長
12 / 6 (木)	※ 第 6 回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
12 / 12(水)	日電協関西支部地区協議会、諮問委員会	シ ョ ラ ト ン 都 庁	会長、山口副会長
12 / 13(木)	※ 第 7 回理事会	協 会 事 務 局	理 事
12 / 18(火)	県との意見交換会	ひょうご女性交流館	会長、小山副会長、前田副会長、 合田理事、専務理事
12 / 20(木)	第3回近畿6電業協会会長連絡協議会	京 都 市 内	会 長

※は当協会主催

社団法人兵庫県電業協会役員名簿

(平成25年1月1日現在)

役 職 名	氏 名	会 員 名
会 長	平 井 伸 幸	ミナト電気工事(株)
副 会 長	小 山 恵 生	西部電工(株)
〃	前 田 潮	西部電気建設(株)
〃	山 口 節 夫	山口電気工事(株)
専務理事	北 野 信 雄	事務局
理 事	石 田 壽 和	(株)協栄電興
〃	大 川 康太郎	ダイトウ電気工事(株)
〃	荻 野 隆 市	伊丹産業電気工事(株)
〃	合 田 吉 伸	東洋電気工事(株)
〃	小 坂 佳 秀	栄興電機工業(株)
〃	小 東 敬三郎	小東電気(株)
〃	塩 出 浩 一	甲南電設工業(株)
〃	篠 原 潔	(有)中村電設興業
〃	立 山 欽 司	日本電設工業(株)大阪支店神戸営業所
〃	田 中 良 彦	白菱電気設備(株)
〃	谷 政 智	(株)谷電気
〃	寺 坂 睦 博	寺坂電機(株)
〃	中 谷 勉	中央電工(株)
〃	中 安 進	和工電気設備工事(株)
〃	広 岡 卓 実	姫高電機(株)
監 事	諏 訪 芳 一	東京電機工業(株)
〃	宮 崎 和 郎	大宮電気工業(株)
〃	石 川 規	会員外

正 会 員 名 簿

神戸地区

(平成25年 1 月 1 日現在)

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
東灘区				
神戸電機工事(株)	伊藤 生夫	078-841-4603 078-854-1756	658-0044	神戸市東灘区御影塚町 2 - 7 - 14
(株)サンデン	植村 英志	078-451-6661 078-764-6662	658-0082	神戸市東灘区魚崎北町 7 - 8 - 3
日光電気工事(株)	末岡 晴彦	078-811-2301 078-843-0069	658-0026	神戸市東灘区魚崎西町 3 - 5 - 31
東灘電気工事(株)	井深 賀雄	078-451-7311 078-452-6235	658-0014	神戸市東灘区北青木 2 - 1 - 36
(株)三宅電気工事	三宅 誠治	078-451-0401 078-412-0252	658-0025	神戸市東灘区魚崎南町 3 - 21 - 12
灘 区				
岩本電気(株)	岩本 弘志	078-882-0123 078-861-7245	657-0015	神戸市灘区篠原伯母野山町 3 - 3 - 4
コガセ工業(株)	福居 豊作	078-802-2011 078-802-7001	657-0864	神戸市灘区新在家南町 2 - 3 - 15
西部電気建設(株)	阿曾 康彦	078-882-4051 078-882-4061	657-0844	神戸市灘区都通 4 - 1 - 1
星野電工(株)	古志 博通	078-811-6939 078-811-9333	657-0037	神戸市灘区備後町 2 - 2 - 4
森電気工業(株)	濱田 泰二	078-882-3170 078-882-3574	657-0844	神戸市灘区都通 3 - 3 - 26
中央区				
大宮電気工業(株)	宮崎 和郎	078-221-0137 078-251-8345	651-0084	神戸市中央区磯辺通 3 - 2 - 23
(株)北村電気工業	小野 恵三	078-681-4051 078-681-3716	650-0044	神戸市中央区東川崎町 4 - 1 - 1
三和電気工業(株)	吉田 今年	078-341-3371 078-371-3035	650-0013	神戸市中央区花隈町10- 2
難波電話電気工業(株)	難波祐一郎	078-341-2431 078-382-0007	650-0015	神戸市中央区多聞通 3 - 2 - 16
日本電設工業(株) 大阪支店神戸営業所	立山 欽司	078-391-5981 078-332-1429	650-0021	神戸市中央区三宮町 2 - 11 - 1 センタープラザ西館 6 階605- 1 号室
(株)日の丸電気	日野 実	078-241-0024 078-221-5833	651-0067	神戸市中央区神若通 2 - 5 - 11
ミナト電気工事(株)	平井 伸幸	078-371-5583 078-371-5307	650-0017	神戸市中央区楠町 6 - 1 - 12

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
兵庫区				
(株)エイデン	岡野 克弘	078-651-6248 078-651-0267	652-0846	神戸市兵庫区出在家町 2-6-8
(株)カデックス	河野 真也	078-511-3667 078-511-1333	652-0042	神戸市兵庫区東山町 1-11-2
甲南電設工業(株)	塩出 浩一	078-651-4040 078-651-4045	652-0882	神戸市兵庫区芦原通 1-2-12
サン電設工業(株)	池田 佳隆	078-575-3757 078-577-4682	652-0804	神戸市兵庫区塚本通 3-2-10
杉本電気工事(株)	杉本 衛	078-576-6007 078-576-5171	652-0816	神戸市兵庫区永沢町 2-1-4
太昭電設(株)	川井 昭爾	078-575-8885 078-575-8925	652-0035	神戸市兵庫区西多聞通 1-3-20
ダイトウ電気工事(株)	大川康太郎	078-671-1072 078-671-6237	652-0822	神戸市兵庫区西出町 2-3-20
東洋電気工事(株)	合田 吉伸	078-575-2000 078-577-2600	652-0898	神戸市兵庫区駅前通 5-1-18
松尾電設工業(株)	松尾新二郎	078-671-0241 078-671-1300	652-0882	神戸市兵庫区芦原通 2-2-3
菱神テクニカ(株)	橘 浩司	078-651-9111 078-651-9112	652-0871	神戸市兵庫区浜山通 6-1-1
北 区				
(株)シモデン	下岸 功	078-594-2700 078-594-2622	651-1132	神戸市北区南五葉 5-3-3
長田区				
秋山電工	秋山 幸三	078-731-4790 078-731-4790	653-0054	神戸市長田区長楽町 3-8-14
柴崎電機工業(株)	柴崎 章裕	078-575-5111 078-575-5115	653-0015	神戸市長田区菅原通 3-207-1
扇港電気工業(株)	北口 嘉一	078-691-4141 078-611-6525	653-0805	神戸市長田区片山町 2-18-22
日幸電気工業(株)	小塩 祥延	078-731-7308 078-733-3146	653-0054	神戸市長田区長楽町 2-1-14
(株)野崎電気工業所	野崎 猛	078-691-4457 078-641-0002	653-0882	神戸市長田区長田天神町 5-7-5
早水電機工業(株)	早水 勝徳	078-731-9301 078-733-2314	653-0052	神戸市長田区海運町 2-5-11
(株)兵庫蓄電池	西岡 康裕	078-731-1934 078-731-1967	653-0043	神戸市長田区駒ヶ林町 6-10-7
松本電工(株)	松本 一宏	078-641-7011 078-641-7015	653-0867	神戸市長田区高東町 3-4-13

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
須磨区				
旭電気工業(株)	金藤 泰祥	078-732-4855 078-732-4870	654-0036	神戸市須磨区南町 1-3-24
富士電設工業(株)	柏原 良行	078-731-3095 078-733-6027	654-0044	神戸市須磨区稲葉町 2-2-11
船木電気工業(株)	船木 靖夫	078-792-1111 078-792-4444	654-0103	神戸市須磨区白川台 3-38-2
矢野電気工事(株)	吉野 光治	078-731-5357 078-731-6330	654-0024	神戸市須磨区大田町 4-2-22
西 区				
黒住電気工事(株)	黒住 浩	078-974-4458 078-974-4633	651-2117	神戸市西区北別府 4-2118-5
新電機工業(株)	小塩 健治	078-927-7747 078-927-7757	651-2143	神戸市西区丸塚 1-25-7
(有)高原電工	原 昇	078-922-0315 078-962-5641	651-2146	神戸市西区宮下 2-5-10
山口電気工業(株)	山口 忠男	078-927-7959 078-922-2831	651-2131	神戸市西区持子 3-52-2



三菱電機
Changes for the Better



明日へエネルギー・マネジメント

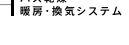
家庭から宇宙まで、エコチェンジ。 

電気をつくって、しっかり節電。
ずっと続く快適な生活を選びたい。

住宅用太陽光発電システム
(ダイヤモンドソーラー)



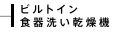
バス乾燥・
暖房・換気システム



ルームエアコン(霧ヶ峰)



ビルトイン
食器洗い乾燥機



IHクッキングヒーター



自然冷媒CO₂
ヒートポンプ給湯機
(三菱エコキュート)



ヒートポンプ式
温床暖房システム
(エコヌクール)



だから私は、三菱のスマート電化。

(お問い合わせ)
三菱電機住環境システムズ株式会社
関西支社 電材住設家電商品営業部 TEL:06-6338-8091
www.MitsubishiElectric.co.jp/smart-denka

あしたを、暮らしやすく。
SMART QUALITY

 **三菱電機株式会社**

検索 

【販売店様向け】 オール電化ビジネスサポートWeb

販売店様に有用な情報や、利用価値の高い販促ツールなどを幅広く収録し、ご提供しています。ご利用には登録が必要です(無料)。

オール電化ビジネスサポート

検索 

阪神南地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
尼崎市				
尼崎電機(株)	宮井 正昭	06-6411-5550 06-6411-6131	660-0843	尼崎市東海岸町 1-46
栄興電機工業(株)	小坂 圭一	06-6491-5301 06-6493-1051	661-0971	尼崎市瓦宮 1-9-15
(株)小川電設	小川 元	06-6419-7877 06-6419-8601	660-0893	尼崎市西難波町 2-19-21
共栄電器工業(株)	柳楽 信義	06-6481-8807 06-6482-7172	660-0815	尼崎市杭瀬北新町 1-16-1
四国電設工業(株)	堀口 繁	06-6417-2181 06-6419-3158	660-0052	尼崎市七松町 3-16-8
(株)大同電機製作所	池田 雄二	06-6471-5591 06-6476-3015	660-0824	尼崎市東本町 3-1
大日通信工業(株)	吉森 紀一	06-6489-2421 06-6483-2420	660-0805	尼崎市西長洲町 2-6-23
(株)電工舎	岩倉 正保	06-6427-1921 06-6427-1930	661-0012	尼崎市南塚口町 5-10-13
(株)ニューテック	山中 隆夫	06-6418-2415 06-6418-3487	660-0095	尼崎市大浜町 2-12
平尾電工(株)	平尾 秀樹	06-6419-5678 06-6419-8877	660-0055	尼崎市稲葉元町 2-4-9
山口電気工事(株)	山口 節夫	06-6416-7441 06-6416-7444	660-0064	尼崎市稲葉荘 1-13-5
西宮市				
(株)江見電気工業所	江見 一三	0798-52-4337 0798-52-6329	662-0884	西宮市上ヶ原十番町 6-32
(株)しんこう	竹内 秀夫	0798-37-1333 0798-37-1334	662-0856	西宮市城ヶ堀町 2-22
本多電気(株)	本多 範幸	0798-40-3005 0798-40-3007	663-8156	西宮市甲子園網引町 8-19
(株)山日電気	庄治 成貞	078-904-2104 078-903-2162	651-1421	西宮市山口町上山口 1-12-19
山本電工(株)	山本甲子生	0798-22-6034 0798-22-6038	662-0928	西宮市石在町11-10
吉川電気工業(株)	吉川 茂樹	0798-26-6538 0798-26-3173	662-0951	西宮市川西町15-5
ワタナベ忠電(株)	渡辺 忠行	0798-35-0660 0798-35-8925	662-0947	西宮市宮前町 6-12

阪神北地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
伊丹市				
伊丹産業電気工事(株)	東仲 淳隆	072-785-1200 072-777-2199	664-0836	伊丹市北本町 2 - 259
奥本電気(株)	奥本 正敏	072-781-2475 072-781-0165	664-0027	伊丹市池尻 3 - 340
庄野電気工事(株)	庄野 隆二	072-782-1375 072-770-4409	664-0012	伊丹市緑ヶ丘 1 - 324
摂丹電気工事(株)	吉沢 静也	072-782-2433 072-770-7510	664-0846	伊丹市伊丹 4 - 6 - 7
つかさ電機	政 康夫	072-770-5840 072-782-7348	664-0028	伊丹市西野 6 - 28 - 1
野澤電気工事(株)	野澤 幹夫	072-775-3712 072-772-0905	664-0852	伊丹市南本町 5 - 1 - 16
(株)山富電設	山村 信介	072-783-2991 072-770-6447	664-0007	伊丹市北野 5 - 6 - 12
宝塚市				
(株)宝塚電業社	北川 洋司	0797-72-2286 0797-73-7708	665-0033	宝塚市伊子志 3 - 2 - 28
三田市				
内田電工(株)	内田 知洋	079-563-2384 079-563-6323	669-1528	三田市駅前町19-14
(株)長谷川電工社	長谷川 実	079-562-2971 079-564-2324	669-1513	三田市三輪 4 - 2 - 34
(株)みたか	宮崎 薫	079-567-1448 079-567-2008	669-1311	三田市加茂656-1



Creating for the Future

さらに安心・安全な暮らしの中に。

本社事務所 〒105-6012 東京都港区虎ノ門4-3-1(城山トラストタワー) 産業電線営業統括部 ☎ (03)5404-6973

関西支店 中部支店 北海道支店 東北支店 中国支店 九州支店

昭和電線ケーブルシステム株式会社 www.swcc.co.jp/

東播磨地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
明石市				
しなのや電機(株)	藤田 義明	078-936-2567 078-934-2655	674-0051	明石市大久保町大窪247
新興電機工業(株)	吉田庄太郎	078-923-5858 078-923-8887	673-0023	明石市西新町 3-11-12
(株)橋電機	橋 勉	078-946-0525 078-947-4617	674-0065	明石市大久保町西島750-2
(有)中村電設興業	田中 敏勝	078-912-1355 078-912-1356	673-0882	明石市相生町 2-11-20
(株)宮野電気商会	宮野 隆	078-925-3224 078-925-3227	673-0028	明石市硯町 1-7-23
加古川市				
岡田電工(株)	岡田 亮一	079-431-0055 079-431-0069	675-0051	加古川市東神吉町升田844
協永電機(株)	長永 光記	079-424-4394 079-425-1217	675-0062	加古川市加古川町美乃利472
(株)サンデン	三好 元旦	079-425-1155 079-425-6218	675-0031	加古川市加古川町北在家2723 センタービル 5 F
高橋電気(株)	高橋 弘樹	079-424-6719 079-424-5943	675-0061	加古川市加古川町大野989-3
建部工業(株)	建部 正人	079-435-1261 079-435-8597	675-0131	加古川市別府町新野辺新堀通1274-1
寺坂電機(株)	寺坂 孝博	079-421-3388 079-447-5388	675-0054	加古川市米田町平津671-1
(株)ほうらい電気	蓬萊 昭治	079-435-0112 079-435-5971	675-0113	加古川市平岡町中野684-6
(株)山口電機	山口 雅也	079-431-1322 079-431-1999	675-0053	加古川市米田町船頭523-1
(株)陵南	高橋 良之	079-424-8610 079-424-8611	675-0068	加古川市加古川町中津566-1
高砂市				
(株)籠谷	栗原 直樹	079-442-2407 079-442-2473	676-0005	高砂市荒井町御旅 2-1-17
(株)協和電気商会	脇谷 政孝	079-442-1081 079-442-4532	676-0005	高砂市荒井町御旅 2-2-6
東播電設工業(株)	覚野 成広	079-443-5111 079-443-2036	676-0005	高砂市荒井町御旅 1-3-14

北播磨地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
西脇市				
エーナガ電気工業(株)	栄永 史朗	0795-22-2539 0795-22-0160	677-0054	西脇市野村町1795-403
オカモト電気(株)	岡本 隆史	0795-22-9212 0795-22-4965	677-0055	西脇市高松町467
三幸(株)	杉岡 輝保	0795-22-5600 0795-22-5602	677-0053	西脇市和布町273
西部電建(株)	金井 郁智	0795-22-2451 0795-22-2453	677-0015	西脇市西脇885-120
銭屋電機(株)	前川 康二	0795-22-2131 0795-22-2133	677-0015	西脇市西脇1033
三木市				
田中電機(株)	田中 真吾	0794-82-0589 0794-82-5431	673-0402	三木市加佐231-3
加西市				
小東電気(株)	小東敬三郎	0790-42-0469 0790-42-5453	675-2312	加西市北条町北条137-18
(株)西村電気工事	西村 栄俊	0790-42-3611 0790-42-2254	675-2323	加西市北条町西南377
橋爪電機(株)	橋爪 義明	0790-49-0109 0790-49-1707	675-2102	加西市中野町1635-5
加東市				
(有)オオハタ電機	大畑 康洋	0795-45-1515 0795-45-1516	673-1401	加東市上鴨川208-29
金川電業(株)	金川 次男	0795-48-4310 0795-48-4843	679-0211	加東市上滝野2038
ヒカリ電業(株)	石井 為記	0795-42-0560 0795-42-5869	673-1445	加東市大門294-3
(株)福田電気商会	福田 歩	0795-48-3162 0795-48-3425	679-0213	加東市光明寺46
多可郡				
中町電業(株)	梅田 雅広	0795-32-2245 0795-32-3192	679-1113	多可郡多可町中区中村町23

中播磨地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
姫路市				
イトデン(株)	伊藤 敏夫	079-292-6247 079-294-7258	670-0996	姫路市土山2-13-4
(株)北山工商	北山 茂	079-261-2245 079-261-3716	679-4201	姫路市林田町久保184-7
近畿興業(株)	井上 裕一	079-239-1961 079-239-8352	672-8094	姫路市飾磨区鎌倉町57-1
広陽電業(株)	森井 重成	079-274-0078 079-272-2057	671-1145	姫路市大津区平松56-4
坂元電気(株)	坂元 宣之	079-223-1841 079-223-1843	670-0935	姫路市北条口2-2
西部電気建設(株) 姫路支店	阿曾 康彦	079-224-3512 079-288-1914	670-0804	姫路市保城981-1
西部電工(株)	小山 恵生	079-239-3456 079-239-1168	671-1124	姫路市広畑区鶴町2-31
大拓電気(株)	小林 勝士	079-268-2221 079-268-2227	671-2221	姫路市青山北3-250-1
大日電機(株)	松永 浩	079-237-0014 079-236-6544	671-1141	姫路市大津区西土井289-19
中央電工(株)	中谷 勉	079-253-1991 079-252-6575	671-0218	姫路市飾東町庄61-3
(株)塚本電気設備	塚本 栄	079-253-3133 079-253-0676	671-0232	姫路市御国野町御着721-6
寺前電機(株)	久後 弘毅	079-282-3455 079-282-3453	670-0953	姫路市三条町1-78
東京電機工業(株)	諏訪 芳一	079-272-0272 079-274-0272	671-1234	姫路市網干区新在家355-2
東和電気工事(株)	三和 敬典	079-234-1020 079-234-2920	670-0974	姫路市飯田2-51-1
中島電機(株)	中島 功	079-245-2281 079-245-2087	672-8023	姫路市白浜町丙466-1
日新電工(株)	木村 淳三	079-222-0191 079-222-0180	670-0836	姫路市神屋町2-59-2
播州電業(株)	宗接 和人	079-266-3068 079-266-7093	671-2214	姫路市西夢前台3-26
姫高電機(株)	井手 政秋	079-298-7000 079-293-1220	670-0974	姫路市飯田491-12
星屋電工(株)	丸尾 富保	079-273-4621 079-273-4624	671-1133	姫路市大津区吉美216-2
ミナト電機工業(株)	高島 國昭	079-235-8444 079-235-7180	672-8076	姫路市飾磨区入船町2-4
神崎郡				
福崎電業(株)	駒田 和幸	0790-22-1080 0790-22-2622	679-2205	神崎郡福崎町東田原1201-1

西播磨地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
相生市				
神榮電機設備工業(株)	神谷 栄幸	0791-22-5496 0791-22-5487	678-0031	相生市旭1-17-13
和工電気設備工事(株)	中安 良介	0791-23-0252 0791-23-3347	678-0063	相生市佐方1-175-2
たつの市				
(株)志水電気	志水 秀作	0791-75-1298 0791-75-3446	679-4324	たつの市新宮町鯨崎155

高い表現力・整理力で
御社オリジナルの営業支援コンテンツを作成。
スマサポで営業が変わる



いつでも、どこでも、だれでも増客・増収に結びつく営業活動が可能に。



スマサポ 検索

動画は今、営業に欠かせないツールになりました。
そんな動画を簡単に、低価格で撮影できます。

After



いつでも、どこでも、気楽で気軽。簡単に撮影・収録・配信が可能。



スマスタ 神戸 検索

会社案内・ポスターなどのデザイン、
ホームページ制作など広報物の企画・制作は
トライスにお任せください。

お客さまとのコミュニケーションを通じて
「何が必要なのか」「何を生み出すのか」「何を伝えるのか」
情報の問題提起からその必要性・方向性・創造・伝達まで
総合的にご提案いたします。



トライスはお客様とユーザーのコミュニケーションを繋ぐ情報加工コンサルティングです。

株式会社 トライス 〒650-0016 神戸市中央区橋通1丁目1-9 TEL.078-341-2241 FAX.078-371-3876

トライス 神戸 検索

但馬地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
豊岡市				
白菱電気設備(株)	田中 良彦	0796-23-0195 0796-24-0905	668-0013	豊岡市中陰399-12
(有)日詰電気商会	日詰 克則	0796-22-3229 0796-22-3125	668-0032	豊岡市千代田町2-21
藤井電気(株)	藤井 久雄	0796-22-5123 0796-24-2650	668-0063	豊岡市正法寺614-1
朝来市				
田辺電気(株)	田辺 秀夫	079-672-3355 079-672-5059	669-5203	朝来市和田山町寺谷724-6
藤井電機(株)	藤井 洋平	079-676-2068 079-676-3948	669-5198	朝来市山東町末才705-1
美方郡				
山陰道路(株)	株本 尚夫	0796-82-1118 0796-82-3338	669-6747	美方郡新温泉町三谷132
(有)松本電気商会	松本 洋二	0796-82-1800 0796-82-3877	669-6702	美方郡新温泉町浜坂229-1

引込口カバー



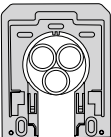
**電力線用
HGC-DJ**



**通信用
HGC-CJ**

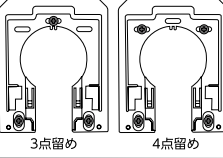
最大適合ケーブル		
電力線用	VVR ケーブル	38mm ² ×3C
	CVT ケーブル	38mm ²
通信用	VVF ケーブル	2.0×3C
	同軸ケーブル	S-7C-FB
	CVT ケーブル	14mm ²

大口径入線口



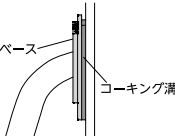
複数の通信線を
まとめて入線

配線を気にしない取付ねじ



3点留め 4点留め

コーキング溝



目立たない
コーキング

仕上がりも綺麗 美観重視

外壁から壁内への
ケーブル引込みに



日動電工株式会社

電材営業部

〒530-0043

大阪市北区天満1丁目25番17号

丹波地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
篠山市				
(株)協栄電興	石田 壽和	079-552-5048 079-552-0662	669-2436	篠山市池上266
丹波市				
オーケイ電設(株)	荻野 啓一	0795-82-3750 0795-82-3691	669-3631	丹波市氷上町賀茂81
(株)酒井電気建設	酒井 信行	0795-82-3191 0795-82-3511	669-3464	丹波市氷上町石生1763-8
中佐治電工(株)	足立 和隆	0795-88-0028 0795-88-0423	669-3834	丹波市青垣町中佐治646

淡路地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
洲本市				
(株)国益電業社	向山 和義	0799-22-2401 0799-24-5285	656-0012	洲本市宇山3-4-12
(株)谷電気	谷 政智	0799-22-4697 0799-24-4615	656-0031	洲本市千草乙147
南あわじ市				
第一電工(株)	森 美耶子	0799-52-3623 0799-52-3625	656-0514	南あわじ市賀集812

大阪地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
大阪市				
日興電気工業(株)	大畑 秀樹	06-6362-9291 06-6362-6009	530-0045	大阪市北区天神西町3-18

賛 助 会 員 名 簿

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
アイホン株式会社 神戸営業所	方岡 康彦	078-577-4891 078-577-4001	652-0802	神戸市兵庫区水木通 4 - 1 - 25
因幡電機産業株式会社 近畿電設 事業部	南野 五郎	06-6781-1831 06-6781-1837	577-0066	東大阪市高井田本通 3 - 7 - 20
株式会社 S D S 姫路支店	野田 良一	079-235-7555 079-234-3675	672-8071	姫路市飾磨区構 4 - 216
カナフレックスコーポレーション 株式会社 神戸営業所	森川 益光	078-360-6173 078-360-6176	650-0044	神戸市中央区東川崎町 1 - 3 - 3
ダイキンHVACソリューション 近畿株式会社 神戸オフィス	竹下 洋文	078-262-8611 078-262-8620	651-0083	神戸市中央区浜辺通 2 - 1 - 17 三宮国際ビル別館 2 F
株式会社たけでん 第四統括部	吉岡 輝昌	078-806-0330 078-806-0331	657-0852	神戸市灘区大石南町 1 - 4 - 24
T O A 株式会社 神戸営業所	伊藤 一郎	078-303-5625 078-303-5626	650-0046	神戸市中央区港島中町 7 - 2 - 1 本社ビル 3 F
東芝電材マーケティング 株式会社 西日本支社	山崎 正見	078-252-1233 078-252-1259	651-0087	神戸市中央区御幸通 3 - 1 - 14 三宮ビルⅥ
東芝ライテック株式会社 西日本支店	砂川 啓介	06-6130-2305 06-6130-1156	530-0017	大阪市北区角田町 8 - 1
日本電機産業株式会社	出水 康博	06-6346-5331 06-6341-5334	530-0003	大阪市北区堂島 1 - 3 - 18
日本電設資材株式会社 神戸支店	岡田 佳三	078-882-8701 078-882-8700	657-0852	神戸市灘区大石南町 3 - 8 - 15
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 神戸電材営業所、姫路電材営業所	前田 哲	078-333-1006 078-333-1030	650-0031	神戸市中央区東町126 住友生命神戸シルクセンタービル 4 F
福西電機株式会社 兵庫電材事業部	田中 浩一	078-682-7411 078-682-7419	652-0833	神戸市兵庫区島上町 1 - 4 - 18
株式会社ベストインシュアランス	橘 英嗣	078-332-7171 078-332-6887	650-0033	神戸市中央区江戸町94- 2 ファーストプレイスユニオンビル 5 F
三菱電機住環境システムズ 株式会社 関西支社姫路支店	江上 義一	079-221-8860 079-221-8861	670-0965	姫路市東延末 3 - 50

編 集 後 記

昨年5月16日生田神社会館において、第59回総会に引き続き、協会設立30周年記念事業を開催し、祝典には兵庫県の吉本副知事様をはじめ多数の来賓にお越しいただき、盛大にお祝いの会を催すことができました。30周年記念事業特別委員会委員長を仰せつかった身として、改めて会員各位をはじめ関係の方々に心から御礼を申し上げる次第であります。

さて、この30周年事業をどのように後世に語り継いでいくか、様々に思いを巡らし、総務委員会で検討しました。そして今号の会報を30周年特別号として、その特集ページを組むという企画をまとめ、理事会での承認をいただき、発行させていただいたところです。

会報の表紙写真は、兵庫シリーズの第5弾として、そして電気の輝きをイメージしていただこうと神戸市の象徴的な夜景を配しました。この会報が協会史をひも解く一つの資料として、今後活用されていくことを願うものであります。

一口に30年といっても、その間、決して順風満帆であったわけではなく、大手会員の退会に象徴されますように、協会の今後を左右する厳しい局面にも遭遇しました。しかし一貫して言える事は、会員の

知恵と努力で当協会が育まれ、そして社会インフラである電気の安心・安全な利用に、協会の活動がいささかなりとも貢献してきたといえることではないでしょうか。

4月1日には、一般社団法人への移行を予定しており、兵庫県電業協会は新たな一步を踏み出そうとしています。総務委員長の立場からは、この会報の充実をはじめ広報活動に一層意を用い、社会に向け電気設備の専門家集団の存在感を高めていきたいと念じております。

年末挙行された第46回衆議院議員選挙を経て、新しい国政執行体制が動き始めました。社会に充満する閉塞感が打ち破られ、日本経済が力強さを取り戻し、電業協会の会員がそれに大いに参画していける、そんな時代の始まりを期待しております。

最後になりましたが、会報の発行に当たり、ご多忙の中ご寄稿賜りました官公庁の皆様をはじめ関係各位、ご協力をいただいた賛助会員の皆様、ご協賛賜りました皆様には心から御礼申し上げますとともに、新しい年のますますのご発展、ご多幸を祈念いたしております。

30周年記念事業特別委員会委員長	大川 康 太 郎
総務委員会 委 員 長	大川 康 太 郎
副委員長	篠 原 潔
副委員長	田 中 良 彦
委 員	石 田 壽 和
委 員	井 上 裕 一
委 員	難 波 祐 一 郎
委 員	藤 井 洋 平

平成25年 1 月 1 日

第 32 号

社団法人 兵庫県電業協会

神戸市中央区琴緒町 5 - 5 - 13

協和ビル 4 階

電 話 (078) 222-0365

F A X (078) 222-0389

URL : <http://www.hyogodengyo.jp>

E-mail: office@hyogodengyo.jp

発行責任者 大川康太郎



企業と企業、 技術と技術をつなぐ 総合エレクトロニクス商社です。

人と人、技術と技術、企業と企業が
結びあうと、
素晴らしい明日が生まれる。
そんな明日をしっかりと
時代に根付かせることが、
私たちの使命だと考えています。



技術力

～メーカー1社では完結
できない事を可能にする



人材

～SEとの密な連携で
受注を促進



施工力

～腕が良いは当たり前
対応も良いが本当の施工力



ネットワーク

～人と人のネットワークから
誕生したコラボ商材



営業力

～企業を営業することで
広がっていく商談



信頼

～自分がされて嫌なことは
決してしない



情報力

～確かな情報が
お客様と仕入先をつばぐ



サポート力

～営業の先にいるユーザーを
見据えたサポートが身上

詳しくは、HPをご覧ください。

<http://www.fukunishi.com>

福西電機株式会社

本社

〒530-8484 大阪市北区与力町7-5

TEL 06-6881-2924 FAX 06-6881-2935

